

# 女性医師の勤務環境の 現況に関する調査報告書

平成 29 年 8 月

日本医師会男女共同参画委員会  
日本医師会女性医師支援センター



## はじめに

超高齢社会を迎え、医療ニーズは高まり、医師確保が喫緊の課題となっているなか、かつては10%未満であった女性医師の割合は、若い世代においては30%を超えて推移しています。女性医師とくに若い女性医師においては、妊娠出産と研修や専門医取得等の時期が重なることも多く、ワークライフバランスのための支援が求められています。

平成27(2015)年8月には、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)が国会で成立し、平成28(2016)年4月からは全面施行されております。さらに平成29(2017)年3月には働き方改革実現会議で「働き方改革実行計画」が決定されるなど、女性医師の活躍を支援する機運は高まっております。

しかしながら、医療を取り巻く厳しい状況において、医師の勤務環境の実態や女性医師の活躍の場の整備状況など、その現状を把握し、実効ある支援策につなげる努力が必要です。

日本医師会では平成18(2006)年11月より、厚生労働省の委託を受けて医師再就業支援事業を開始しました。平成19(2007)年1月にはその中核事業である「日本医師会女性医師バンク」を開設し10年が経過しました。この間全国各地で、各種の事業を展開してまいりましたが、平成20(2008)年12月-平成21(2009)年1月には女性医師の勤務環境等に関する大規模調査を初めて実施しました。

今般、前回調査時から8年の時を経て、再び、全国の病院勤務女性医師の現況を詳細かつ正確に把握する調査を実施しました。本調査の結果を十分に活用し、幅広い観点から女性医師支援をより実効あるものとし、ひいては医師の勤務環境の改善につながるよう努めてまいります。

最後に、ご多忙のなか、本調査の実施にあたりご協力いただいた関係者の皆様方、そしてご回答くださった女性医師の皆様方に心より御礼申し上げます。

## 日本医師会男女共同参画委員会

委員長	小笠原 真澄
副委員長	鹿島 直子
委員	伊藤 富士子
”	笠原 幹司
”	神崎 寛子
”	計田 香子
”	貞永 明美
”	篠原 裕希 (平成29年7月11日から)
”	島崎 美奈子
”	滝田 純子
”	藤根 美穂
”	藤巻 高光
”	細谷 紀子
”	増沢 成幸 (平成29年7月10日まで)

(委員：五十音順)

日本医師会 女性医師支援センター

日本医師会女性医師バンク  
アドバイザー

〃

〃

〃

〃

猪狩 和子

上田 真喜子

鹿島 直子 (再掲)

佐藤 薫

清水 美津子

(五十音順)



# 目 次

I. 調査の概要.....	1
1. 調査の目的 .....	1
2. 調査の対象 .....	1
3. 調査の方法 .....	1
4. 調査の内容 .....	1
5. 調査の時期 .....	1
6. 調査の実施体制.....	1
7. 報告書のとりまとめ.....	1
II. 結 果.....	2
(1) 各項目集計結果 .....	2
(2) 今回の調査への回答者の属性.....	3
2-1. 調査の対象と規模 .....	3
2-2. 年齢階級、診療科、勤務先機関規模の構成.....	3
2-3. 家族構成.....	5
2-3-1. 回答者の婚姻の状況 .....	5
2-3-2. 現在子育て中の割合 .....	5
(3) 働き方に関する分析.....	6
3-1. 年齢階級別にみた働き方.....	6
3-1-1. 勤務形態.....	6
3-1-2. 1 週間の実勤務時間.....	7
3-1-3. 宿日直、オンコールの状況.....	8
3-1-4. 年間有給休暇取得状況.....	9
3-1-5. 時短、非常勤の理由 .....	9
3-2. 診療科別にみた働き方 .....	10
3-2-1. 勤務形態.....	10
3-2-2. 1 週間の実勤務時間.....	10
3-2-3. 宿日直、オンコールの状況.....	11
3-2-4. 年間有給休暇取得状況.....	12
3-3. 勤務先機関規模別にみた働き方 .....	13
3-3-1. 勤務形態.....	13
3-3-2. 1 週間の実勤務時間.....	13
3-3-3. 宿日直、オンコールの状況.....	14
3-3-4. 年間有給休暇取得状況.....	15

(4) 子育てとの両立に関する分析.....	16
4-1. 子育て中の医師.....	16
4-2. 子育て状況別にみた子育て中の働き方.....	16
4-2-1. 子育て中の勤務形態.....	16
4-2-2. 子育て中の1週間の実勤務時間.....	17
4-2-3. 子育て中の宿日直、オンコールの状況.....	18
4-3. 両立の支援.....	19
4-3-1. 育児休業の取得.....	19
4-3-2. 「普段子どもの面倒をみている人」.....	19
4-3-3. 休職・離職の状況.....	20
4-3-4. 保育施設の状況.....	21
4-3-5. 子どもの緊急時の対応.....	22
4-3-6. 緊急呼び出し時、学会等への出張時の対応.....	23
4-3-7. 仕事を続ける上で必要と思う支援.....	24
(5) 介護との両立に関する分析.....	26
5-1. 介護の状況.....	26
5-1-1. 介護経験の有無.....	26
5-1-2. 介護休業の取得状況.....	26
(6) 女性医師の悩み.....	27
6-1. 女性医師の悩み.....	27
6-1-1. 年齢階級別にみた女性医師の悩み.....	27
6-1-1-1. 年齢階級別にみた家庭・育児に関する悩み.....	27
6-1-1-2. 年齢階級別にみた医師としての悩み.....	28
6-1-1-3. 年齢階級別にみた職場における女性医師としての悩み.....	28
6-1-2. 子育て状況別にみた女性医師の悩み.....	29
6-1-3. 診療科別にみた女性医師の悩み.....	29
(7) まとめ.....	30
<b>Ⅲ. 資料編.....</b>	<b>31</b>
i. 調査票.....	31
ii. 各項目集計結果および前回調査との比較.....	39
1. 各項目集計結果.....	39
2. 前回調査との比較.....	58
iii 関連資料.....	81



# I. 調査の概要

## 1. 調査の目的

病院に勤務している女性医師の働き方、子育てとの両立等に関する現状を把握する。

## 2. 調査の対象

病院に勤務する女性医師。

## 3. 調査の方法

全病院（8,475 施設）に対して、病院に勤務する女性医師に調査票の配布を依頼。病院からは、関係医療機関（診療所）に勤務する女性医師へも一部配布。無記名で委託先（中央調査社）へ直接返送してもらい回収した。

- ◆ 病院から医師への質問票配布数：30,323 枚
- ◆ 回収数： 10,612 枚
- ◆ 有効回答数： 10,373 枚

## 4. 調査の内容

使用した質問票は資料編 i に掲載した。

## 5. 調査の時期

平成 29（2017）年 2 月 20 日～3 月 31 日

## 6. 調査の実施体制

調査の実施と集計の業務は、日本医師会女性医師支援センターが一般社団法人中央調査社に委託し、分析は日本医師会総合政策研究機構（上家和子 主席研究員）が行った。

## 7. 報告書のとりまとめ

報告書のとりまとめは、日本医師会男女共同参画委員会と日本医師会女性医師支援センターが共同で行なった。

## Ⅱ. 結 果

本報告においては、まず、単純集計を行った後、回答者の『属性』について分析、次いで、『働き方』と『子育てとの両立』の観点からそれぞれ分析した。あわせて、項目は限られるが、『介護との両立』『女性医師の悩み』についても分析した。

なお、平成 20（2008）年度に実施した前回調査との詳細な比較分析は、本報告書とは別に報告書にまとめる予定である。

### （1）各項目集計結果

各設問への回答の集計結果は資料編 ii に掲載した。なお、平成 20（2008）年度に実施した前回調査の結果もあわせて掲載した。前回調査と比べ、対象の属性等には大きな変化はなかった。

## (2) 今回の調査への回答者の属性

### 2-1. 調査の対象と規模

厚生労働省が2年毎に実施している医師・歯科医師・薬剤師調査（以下、「三師調査」という。）によると、直近で公表されている平成26（2014）年（2014年12月31日現在）の調査では、女性医師数は63,504人、このうち、病院勤務者は41,919人であり、女性医師全体の66%を対象としたこととなっている。そして、今回の有効回答者数は10,373人で、これは病院勤務女性医師の25%にあたる。

前回平成21（2009）年の調査の有効回答者数は7,467人で、平成20（2008）年の三師調査における病院勤務女性医師33,369人の22%をカバーしていた。今回の調査は、前回の調査と同等か同等以上に病院勤務女性医師をカバーしたものとされている。

なお、前回の調査時（8年前）からの我が国の女性医師数（病院勤務とそれ以外の女性医師数）の推移を三師調査でみると、全国の女性医師数は、11,507人増加（うち、病院勤務の女性医師数は、8,550人増加／病院勤務でない女性医師数は、2,957人増加）している。

### 2-2. 年齢階級、診療科、勤務先機関規模の構成

回答者の年齢階級は、30歳代が約4割、次いで、40歳代が約3割であった。前回調査や直近公表の平成26（2014）年三師調査の年齢構成と比較すると29歳以下の割合が小さいが、各年齢階級の状況は把握できるとみることができる。

回答者の診療科の構成割合は「内科」が最も多く、約3割となっている。次いで、「小児科」、「産婦人科」がそれぞれ約1割となっている。三師調査の女性医師分と大きな差異は見られない。なお、研修医は調査時の在籍科に抛らず「研修医」として集計した。最も少数であった脳神経外科でも97人から回答を得ており、各診療科別の状況も把握できるとみることができる。

所属している医療機関の規模をみると、20歳代では8割、30歳代では7割、40歳代で半数以上が400床以上の大規模機関に勤務しており、年齢階級が上がるにつれて小規模機関に分散している。規模別で最も少なかった50床未満でも総数では152人から回答を得ており、各規模別の状況も把握できるとみることができる。

図 2-2-1 年齢階級別構成割合（今回調査、前回調査、各調査年に近い三師調査の比較）

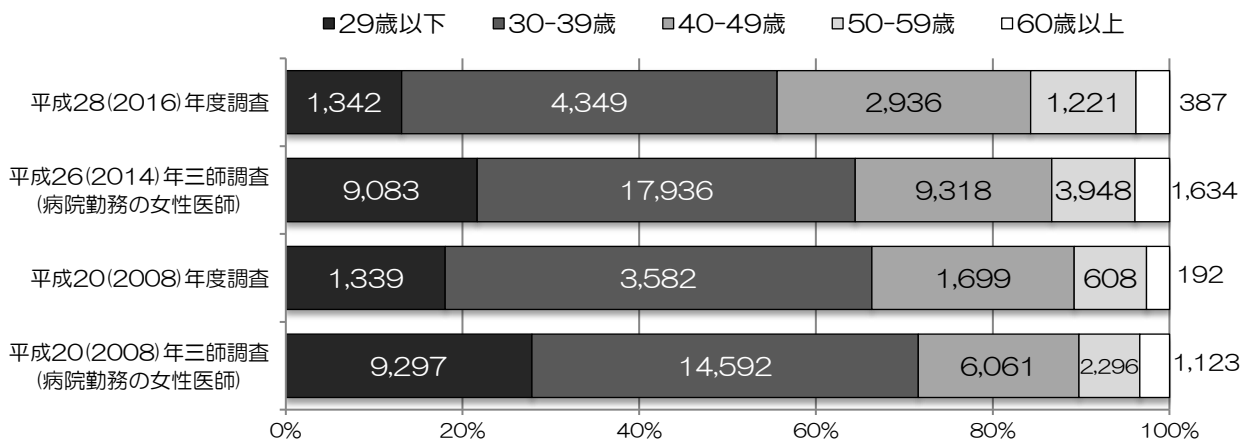


表 2-2-1 診療科（平成 26（2014）年三師調査女性医師・医師総数と比較）

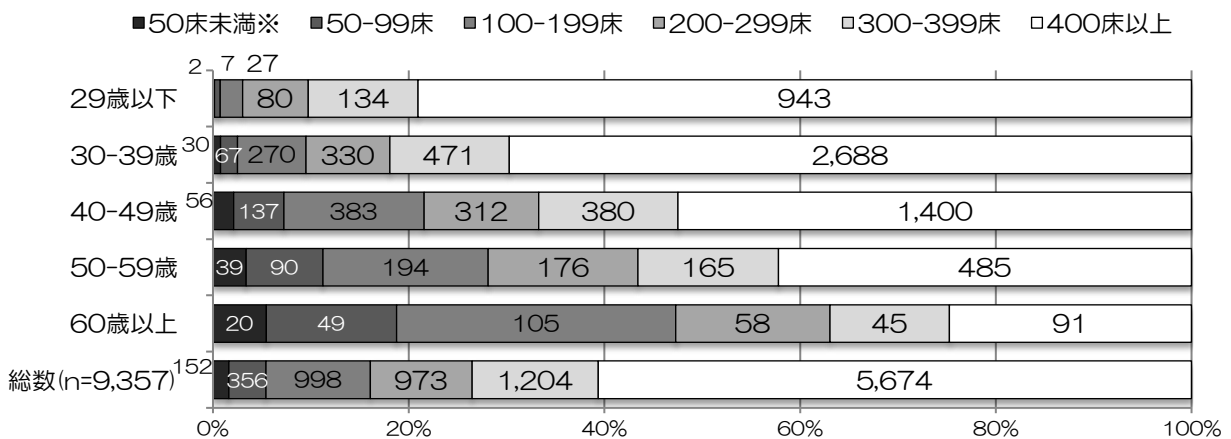
	調査回答者		三師調査女性医師		三師調査医師総数	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
総数	10,237	100.0%	41,919	100.0%	194,961	100.0%
内科	3,104	30.3%	12,306	29.4%	63,116	32.4%
精神科	546	5.3%	2,506	6.0%	11,413	5.9%
小児科	1,018	9.9%	3,584	8.5%	10,108	5.2%
放射線科	330	3.2%	1,320	3.1%	5,762	3.0%
病理・検査科	224	2.2%	554	1.3%	2,291	1.2%
リハビリ科	143	1.4%	478	1.1%	2,142	1.1%
外科	548	5.4%	2,008	4.8%	23,641	12.1%
整形・形成外科	369	3.6%	1,297	3.1%	15,091	7.7%
麻酔科	736	7.2%	3,104	7.4%	8,068	4.1%
産科婦人科	870	8.5%	3,071	7.3%	7,619	3.9%
脳神経外科	97	0.9%	342	0.8%	6,015	3.1%
泌尿器科	134	1.3%	324	0.8%	5,012	2.6%
眼科	396	3.9%	1,909	4.6%	4,693	2.4%
耳鼻咽喉科	299	2.9%	903	2.2%	3,741	1.9%
皮膚科	488	4.8%	1,901	4.5%	3,573	1.8%
救急科	116	1.1%	371	0.9%	2,996	1.5%
その他	81	0.8%	955	2.3%	4,359	2.2%
研修医	904	8.8%	4,986	11.9%	15,321	7.9%

診療科は下記に分類した。それぞれの診療科におけるカバー率※を併せて掲げる。

本調査における 診療科分類	三師調査における診療科分類および本調査での回答内容	各診療科 における カバー率※
内科	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科（胃腸内科）、腎臓内科、神経内科、糖尿病内科（代謝内科）、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科、心療内科、透析科、膠原病科、緩和ケア、総合診療科、家庭医療、腫瘍内科、脳卒中、在宅医療、漢方、和漢診療科、老年科	25.2%
精神科	精神科	21.8%
小児科	小児科、新生児科	28.4%
放射線科	放射線科	25.0%
病理・検査科	病理診断科、臨床検査科、健診科、人間ドック、遺伝子、超音波診断	40.4%
リハビリ科	リハビリテーション科	29.9%
外科	外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科（胃腸外科）、肛門外科、美容外科、小児外科	27.3%
整形・形成外科	整形外科、形成外科	28.5%
麻酔科	麻酔科、ペインクリニック	23.7%
産科婦人科	産婦人科、産科、婦人科	28.3%
脳神経外科	脳神経外科	28.4%
泌尿器科	泌尿器科	41.4%
眼科	眼科	20.7%
耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科、口腔外科	33.1%
皮膚科	皮膚科	25.7%
救急科	救急科、集中治療、ICU	31.3%
その他	上記または研修医以外の分野	8.4%
研修医	臨床研修医 本調査では、調査票の問 1-2 において「研修医」と回答した人、卒業後年数の設問において「研修医」と回答した人、現在の診療科の設問においてその他記述欄に「研修医」と記述した人は、診療科の回答内容にかかわらず、すべて「研修医」に分類した。	18.1%

※調査回答者数÷平成 26（2014）年三師調査における各診療科の病院勤務の女性医師数

図 2-2-2 年齢階級別勤務先機関規模別構成



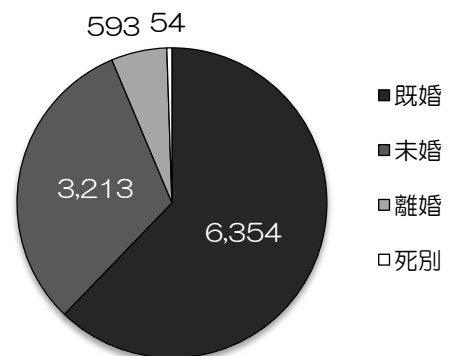
※20床未満の診療所勤務者 24 人からも回答があったので 50 床未満に含めて集計した。

### 2-3. 家族構成

#### 2-3-1. 回答者の婚姻の状況

今回の回答者では離婚や死別を除く既婚が 62%であった。前回調査では 55%であったが、前回調査よりも年齢構成が 30 歳代に集中するなど母集団が若干ずれているため、そのまま増減を論じることはできないが、婚姻の状況別に分析することは十分可能である。

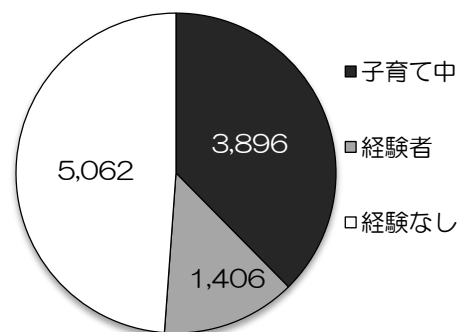
図 2-3-1 回答者の婚姻の状況



#### 2-3-2. 現在子育て中の割合

本調査では同居している子どもの年齢区分※について、中学生以上は成人まで含めて詳細区分を設定しなかったため小学生までの子どもがいる人を「子育て中」として分析することとした。また、多子の場合も現在の子育て環境として、末子の年齢区分によって分析することとした。小学生までの子どもと同居している子育て中の人 は 3,896 人 38% を占め、すでに末子が中学生以上となっている子育て経験者は、1,406 人 14% であった。

図 2-3-2 現在子育て中の割合※



※「乳児 (0 歳児)」「幼児 (未就学児)」「学童 (小学生)」「中学生以上」の 4 区分。

※同居している子どもの年齢区分が小学生までと回答した人を「子育て中」、同居している子どもの年齢区分が中学生以上、または、現在子どもと同居していないが出産経験があると回答した人を「経験者」、その他の人を「経験なし」とした。

### (3) 働き方に関する分析

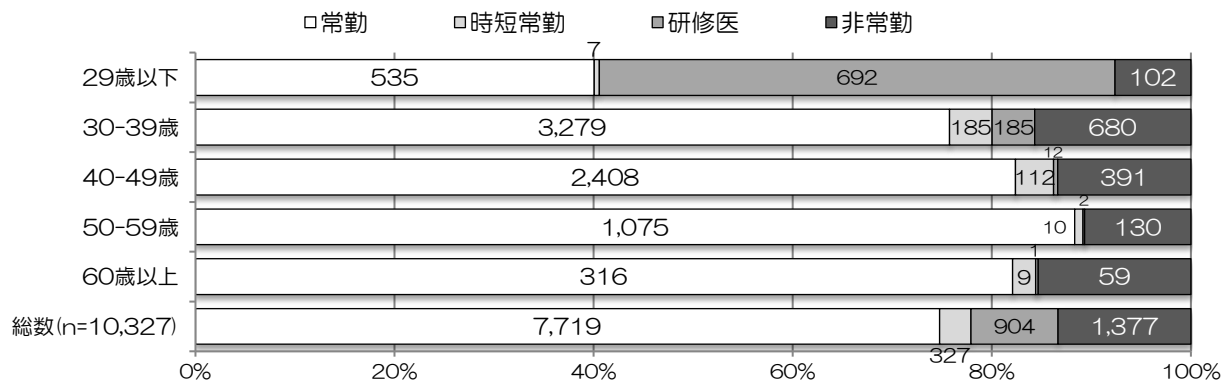
ここでは、働き方について、年齢階級別、診療科別、勤務先機関規模別に分析した。なお、子育てとの関連については(4)子育てとの両立に関する分析で分析した。

#### 3-1. 年齢階級別にみた働き方

##### 3-1-1. 勤務形態

勤務形態は、総数では常勤が75%、時短常勤が3.2%、研修医が8.8%、非常勤(嘱託・パート・その他)が13%であった。年齢階級別にみると、当然のことながら、20歳代では研修医が52%を占めていたが、その後、常勤の割合は50歳代まで年齢が上がるにつれて大きくなっている。時短常勤の割合は3.2%に過ぎないが、30歳代・40歳代で4.3%、3.8%と比較的高かった。

図 3-1-1 年齢階級別勤務形態構成割合

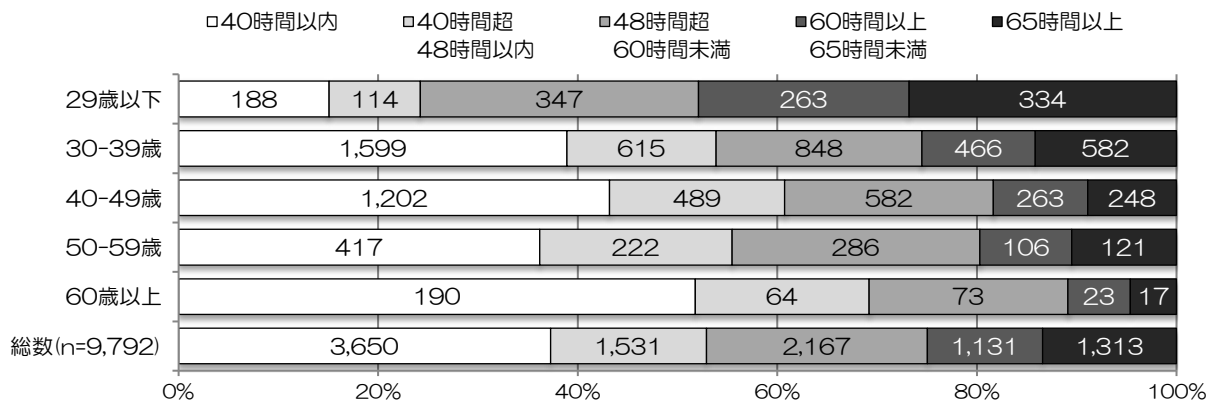


### 3-1-2. 1 週間の実勤務時間

総数では、1 週間の実勤務時間 40 時間以内が 3 分の 1、41-48 時間が 6 分の 1 であった。週 49-60 時間すなわち概ね月超過勤務 32-80 時間が 22%、61-65 時間すなわち概ね月超過勤務 80-100 時間が 12%、65 時間以上すなわち概ね月超過勤務 100 時間以上が 13%を占めた。厚生労働科学特別研究「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」（平成 28(2016)年度)によれば週 60 時間以上勤務は男性勤務医 27.7%に対し女性勤務医は 17.3%と報告されていたが、調査法の違いはあるものの、今回の調査でみるかぎり、女性勤務医の週 60 時間以上勤務は 25%に上っており、男性勤務医とほぼ同様の割合であった。

年齢階級別にみると、29 歳以下では週 48 時間を超えて勤務している人が 7 割を超えている。30 歳代以上では 48 時間以内勤務者が 5 割は超えているが、それでも 50 歳代までは月換算で 80 時間以上の超過勤務者と考えられる者が概ね 2 割以上となっている。

図 3-1-2 年齢階級別 1 週間の実勤務時間構成割合\*

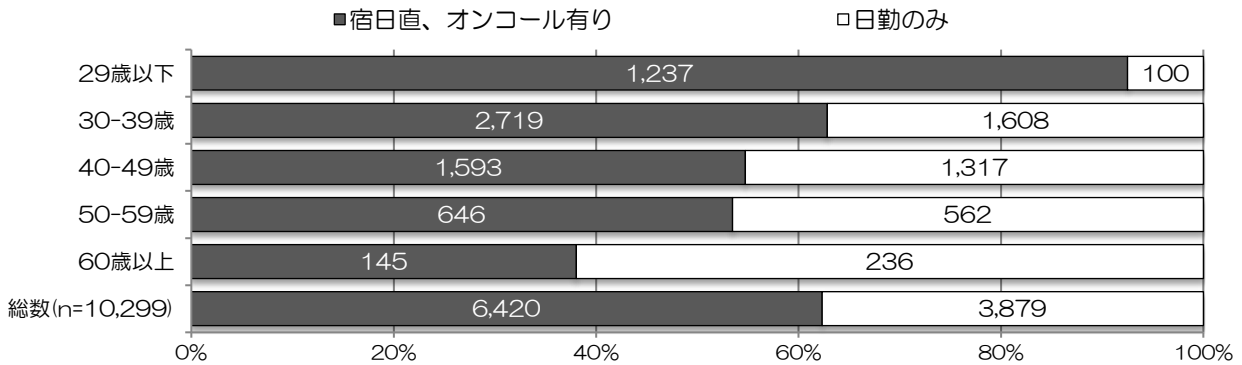


※回答者には複数箇所勤務している人も含まれるが、実勤務時間の数え方は特に定義せず、回答者に委ねた。  
また、オンコールなどを勤務時間に数えるかなども回答者に委ねた。

### 3-1-3. 宿日直、オンコールの状況

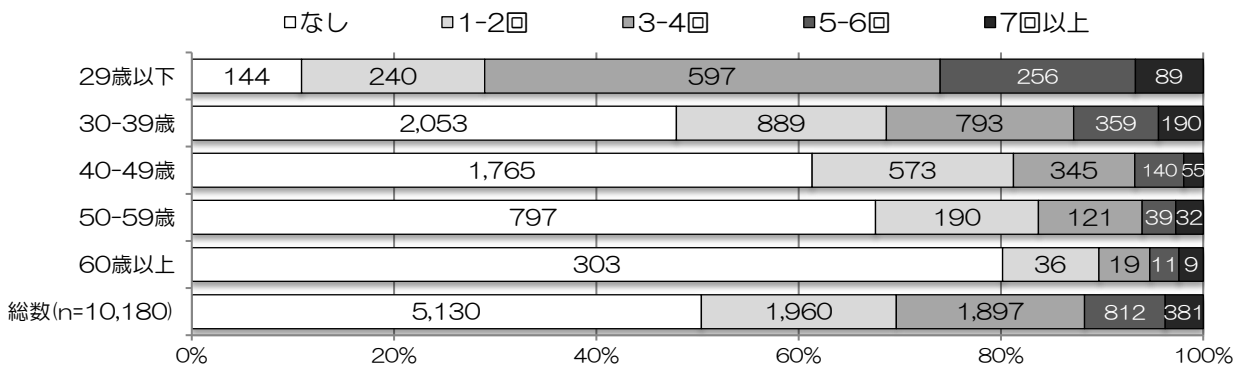
総数では、宿日直またはオンコール有は6割以上であった。年齢階級別にみると、29歳以下は研修医の場合が多いことから9割以上が宿日直またはオンコール有り、30歳代以降は年齢階級があがるほど、割合は下がっている。

図 3-1-3-1 宿日直、オンコールの状況



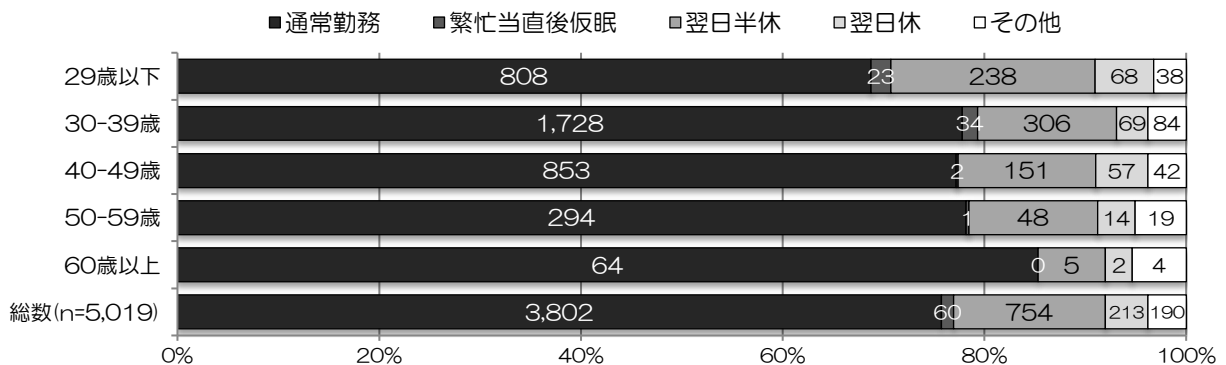
1か月の宿直回数は、1-2回が2割程度であったが、29歳以下では月5回以上が2割以上を占めた。一方、30歳代以上ではおよそ半数が宿直なしであったが、宿直のある人のなかでは、月3-4回またはそれ以上が半数以上を占めていた。

図 3-1-3-2 1か月の宿直回数



宿直翌日については、どの年齢階級でも、通常勤務が約7-9割を占めた。

図 3-1-3-3 宿直翌日の勤務※



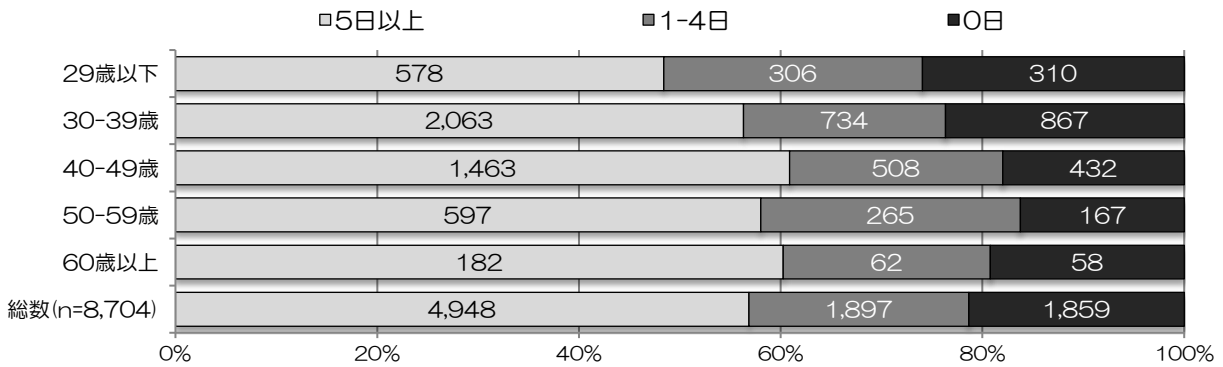
※1か月の宿直回数が1回以上の人にたずねた。



### 3-1-4. 年間有給休暇取得状況

年間の有給休暇の取得状況をみると、全く年休を取っていない人が全体で2割以上にのぼり、5日以上取得している人はいずれの年齢階級でもほぼ50-60%台にとどまっていた。なお、今回の調査では、法定ではない、いわゆる夏季休暇や代休等については、今回は調査項目としていない。

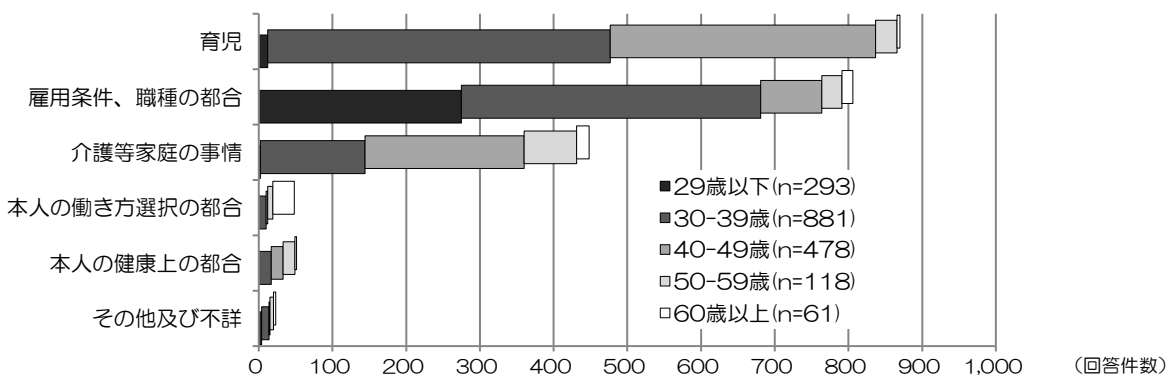
図 3-1-4 年間有給休暇取得日数



### 3-1-5. 時短、非常勤の理由

時短、非常勤勤務者が時短、非常勤勤務を選択した理由は、複数回答で、20歳代では雇用条件・職種の都合すなわち研修医であることを94%の人が上げたが、30歳代では雇用条件・職種の都合を上げたのは46%、育児が53%、さらに40歳代では育児が75%、次いで介護等家庭の事情が45%を占め、50歳代では介護・家庭の事情が60%に上った。一方、60歳以上では退職し始める世代であることを反映して本人の働き方選択が48%に上った。

図 3-1-5 年齢階級別にみた時短常勤、非常勤となっている理由（複数回答）※



※勤務形態が時短常勤または非常勤の人にたずねた。  
 選択肢回答および「その他」を選択した人の具体的な記入内容をもとに、上記のように分類した。  
 「他院でも勤務しているため」と回答した人は集計から除いた。

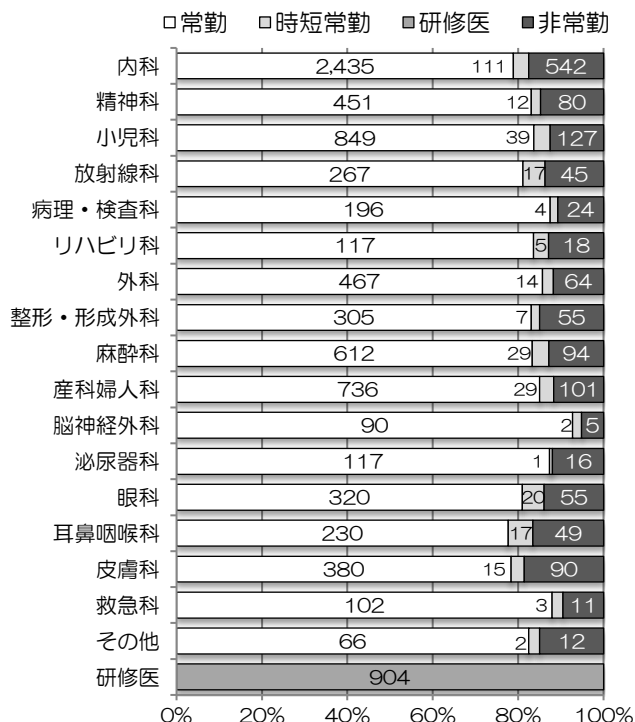
### 3-2. 診療科別にみた働き方

属性の項で前述したとおり、回答者の診療科の構成割合は「内科」が最も多く、次いで、「小児科」、「産婦人科」がそれぞれ約 1 割であったが、診療科は全域にわたっている。

#### 3-2-1. 勤務形態

診療科別に勤務形態をみると、診療科によって、非常勤の割合には差異がみられる。病理・検査科、外科、泌尿器科、救急科等では常勤の割合が 85% を超え、脳神経外科では 93% となっていた一方、眼科、放射線科は 81% 台、内科、耳鼻咽喉科、皮膚科では 80% 未満であった。

図 3-2-1 診療科別にみた勤務形態

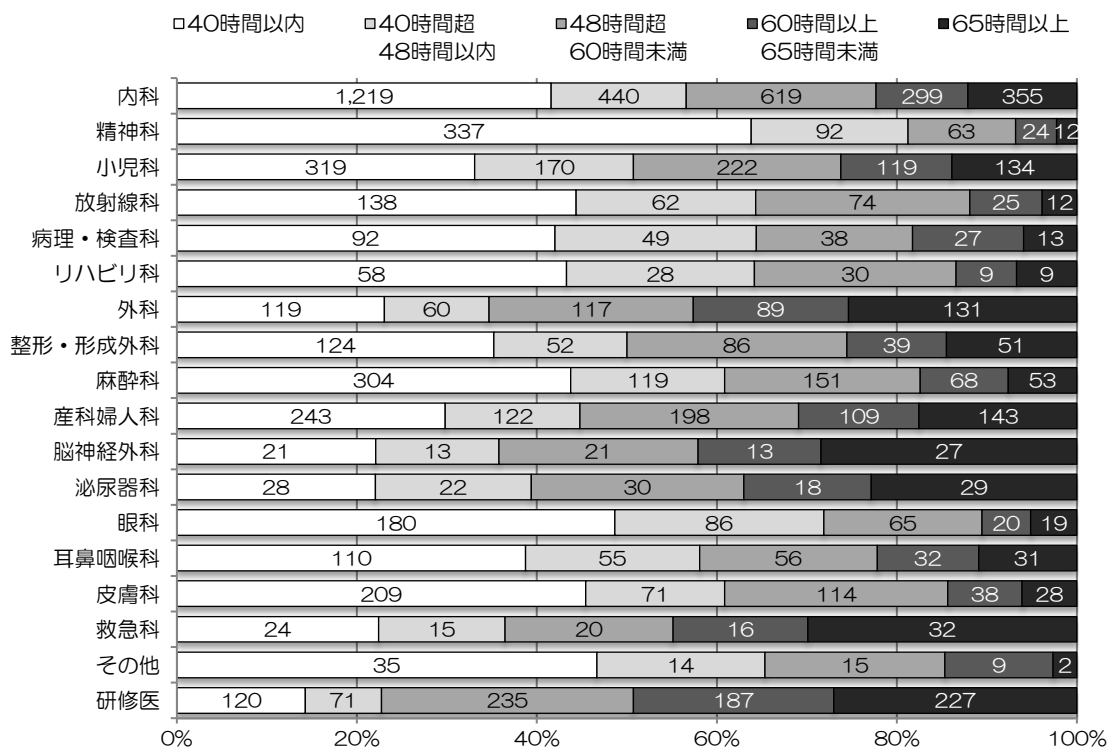


#### 3-2-2. 1 週間の実勤務時間

診療科別に 1 週間の実勤務時間をみると、診療科によって、差異がみられる。

週 48 時間以内に収まっている割合は、精神科のみ 80% を超えたが、眼科が 72%、病理・検査科、放射線科、リハビリ科、皮膚科、麻酔科で 60% 台、耳鼻咽喉科、内科、小児科で 50% 台、そのほかの科では半数に満たなかった。一方、週 65 時間を超える長時間労働となっていたのは、救急科 30%、脳神経外科 28%、研修医 27%、外科 25%、泌尿器科 23% などであった。

図 3-2-2 診療科別にみた 1 週間の実勤務時間数



### 3-2-3. 宿日直、オンコールの状況

宿日直、オンコールの状況も、当然のことながら、研修医では 91%が宿日直、オンコール有りであったが、産科婦人科、脳神経外科、救急科、泌尿器科、外科、小児科では 70%を超えていた一方、病理・検査科では 23%、放射線科 35%、リハビリ科 40%、眼科 45%、精神科、皮膚科 54%など診療科によって大きな差異があった。

また、1 か月の宿直回数も、産科婦人科では月 7 回以上が 15%にのぼり、月 5-6 回と合わせると 34%となっていたほか、救急科では月 7 回以上 13%、月 5-6 回と合わせると 38%にのぼっていた。このほか、月 5 回以上が 15%を超えていたのは、研修医、脳神経外科、小児科、麻酔科であった。一方で、宿直のない割合が 60%以上を占めていたのは、病理・検査科、眼科、放射線科、リハビリ科、皮膚科等であった。

図 3-2-3-1 診療科別にみた宿日直、オンコールの状況

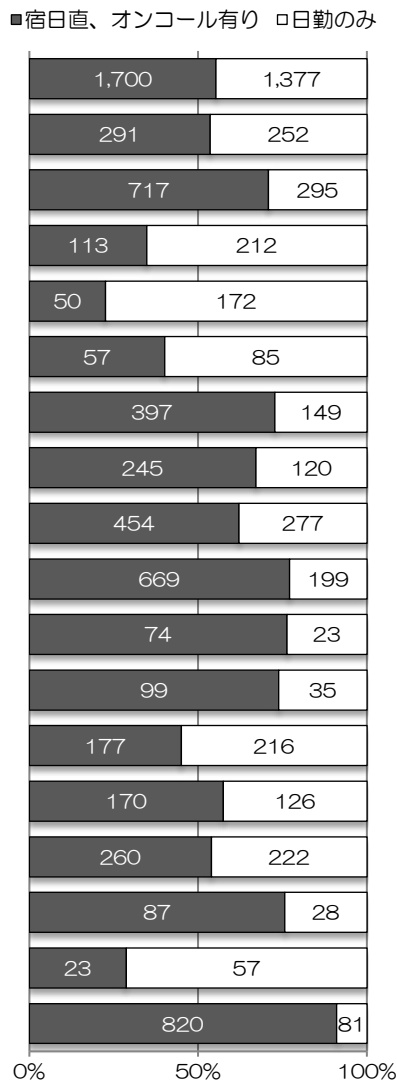
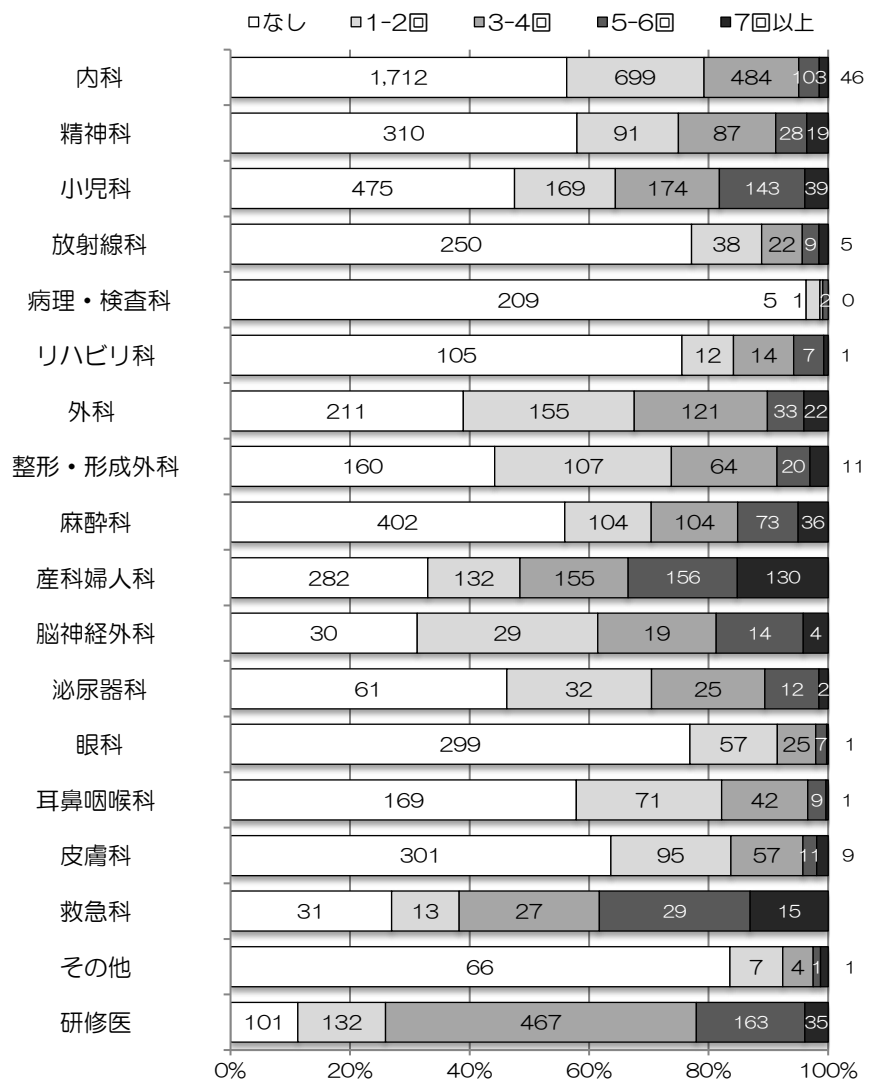
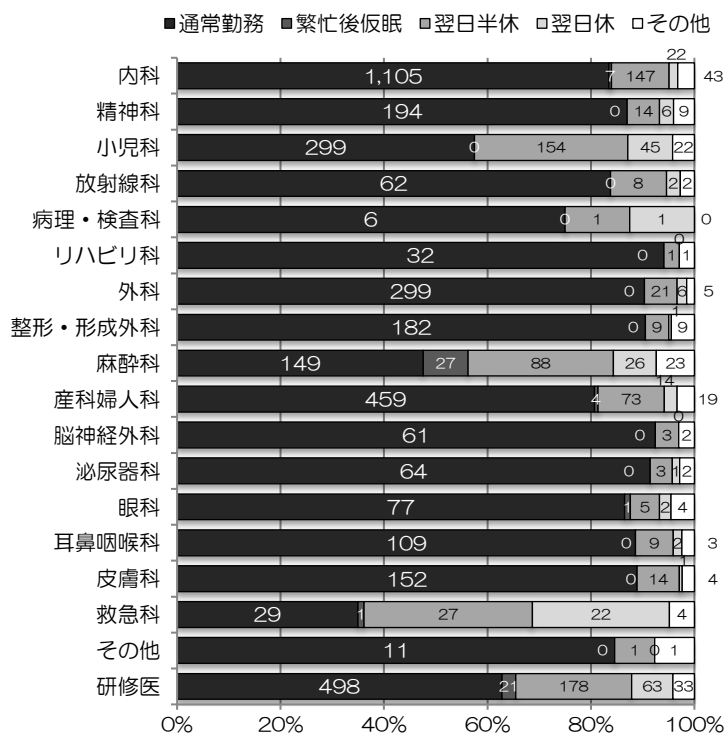


図 3-2-3-2 診療科別にみた 1 か月の宿直回数



宿直翌日については、救急科、麻酔科、小児科、研修医等では翌日半休等の対応がある程度あるが、他の多くの診療科ではほとんど対応されていない。

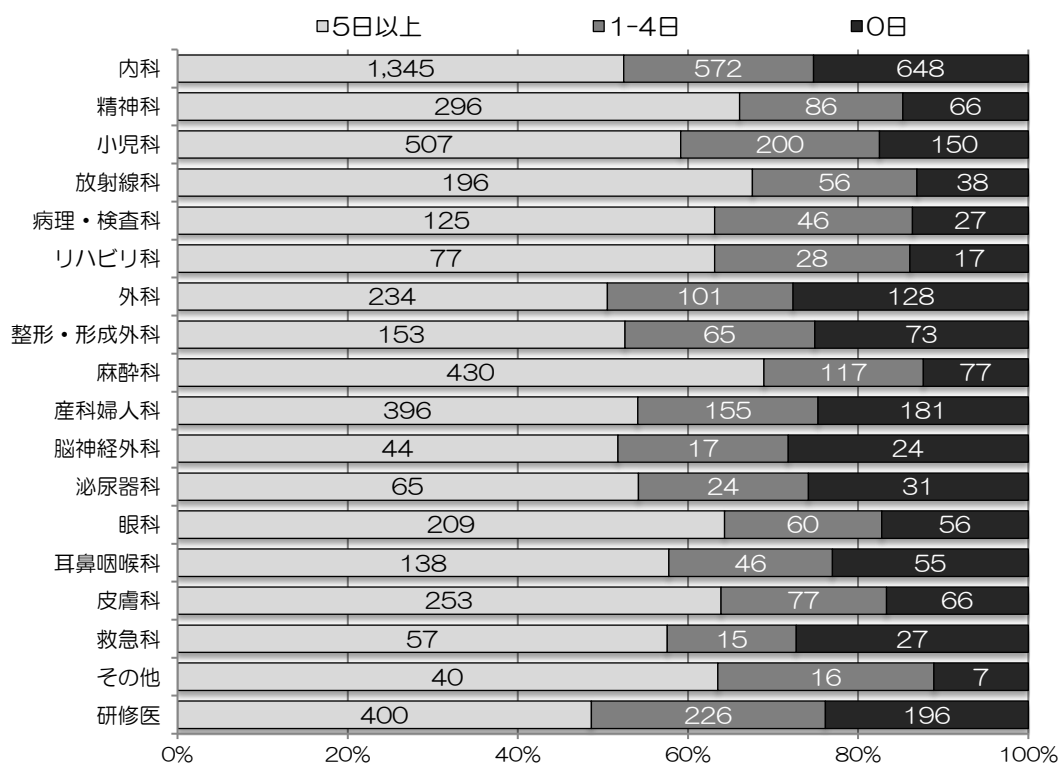
図 3-2-3-3 診療科別にみた宿直翌日の勤務体制



### 3-2-4. 年間有給休暇取得状況

年間有給休暇の取得状況も診療科によって差異があり、麻酔科、放射線科、精神科、眼科、皮膚科、病理・検査科、リハビリ科では年間5日以上取得できていた割合が60%を超えたが、小児科、耳鼻咽喉科、救急科、泌尿器科、産科婦人科、整形・形成外科、内科、脳神経外科、外科では50%台、研修医では49%にとどまった。

図 3-2-4 診療科別にみた年間有給休暇取得状況



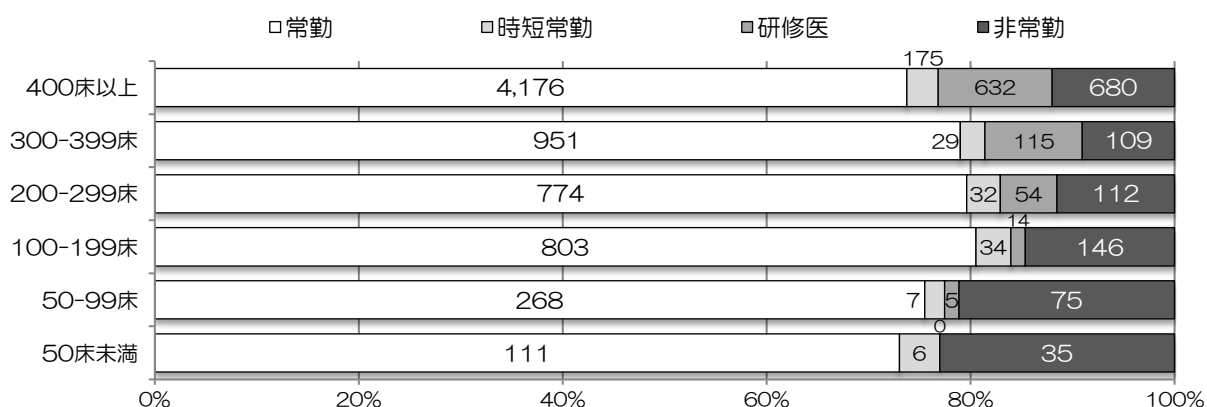
### 3-3. 勤務先機関規模別にみた働き方

#### 3-3-1. 勤務形態

勤務先機関規模別に勤務形態をみると、常勤の割合は100床以上400床未満で比較的高かった。時短常勤の割合は50床以上100床未満が最も低く2.0%、最も高かったのは50床未満の3.9%であった。非常勤の割合は、400床未満では病床が少ないほど高くなっていったが、一方で、400床以上でも12%にのぼった。

研修医の割合は200床以上300床未満で5.6%、300床以上400床未満で9.6%、400床以上で11.2%であった。

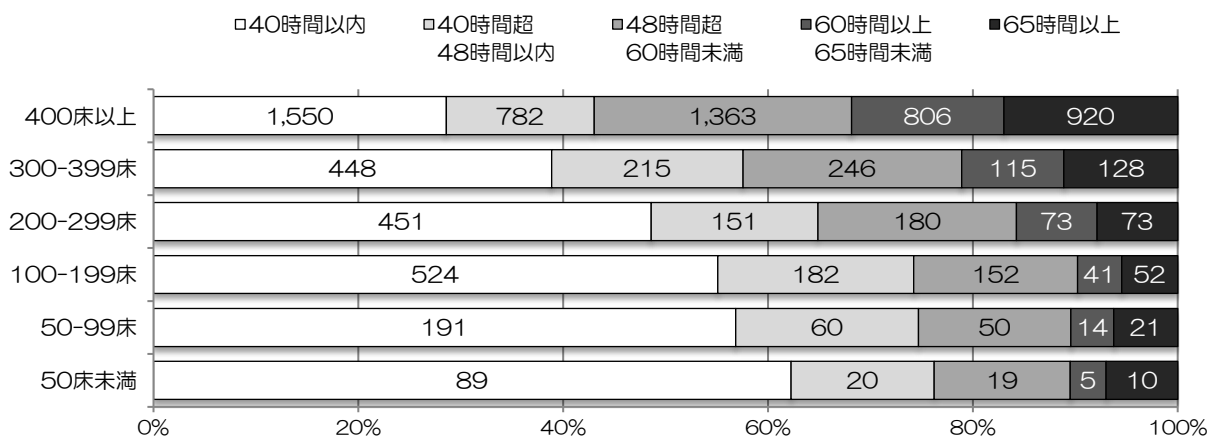
図 3-3-1 勤務先機関規模別にみた勤務形態



#### 3-3-2. 1週間の実勤務時間

勤務先機関規模別に1週間の実勤務時間をみると、週40時間以内、および48時間以内に収まっている割合は規模が大きくなるほど低くなった。一方、週60時間以上勤務している割合は200床以上から増え始め、規模が大きくなるほど高くなった。

図 3-3-2 勤務先機関規模別にみた1週間の実勤務時間



### 3-3-3. 宿日直、オンコールの状況

勤務先機関規模別に宿日直、オンコールをみると規模が大きくなるほど有りの割合が高くなったが200床未満でも規模にかかわらず、45-47%で宿日直、オンコール有りであった。

また、小規模機関では宿直を受けている人の割合は低いものの、宿直を受けている人では宿直回数が多い傾向がみられた。

宿直翌日の勤務状況をみると、規模が大きくなると翌日半休の取れる割合が上がっていた。

図 3-3-3-1 勤務先機関規模別にみた宿日直、オンコールの状況

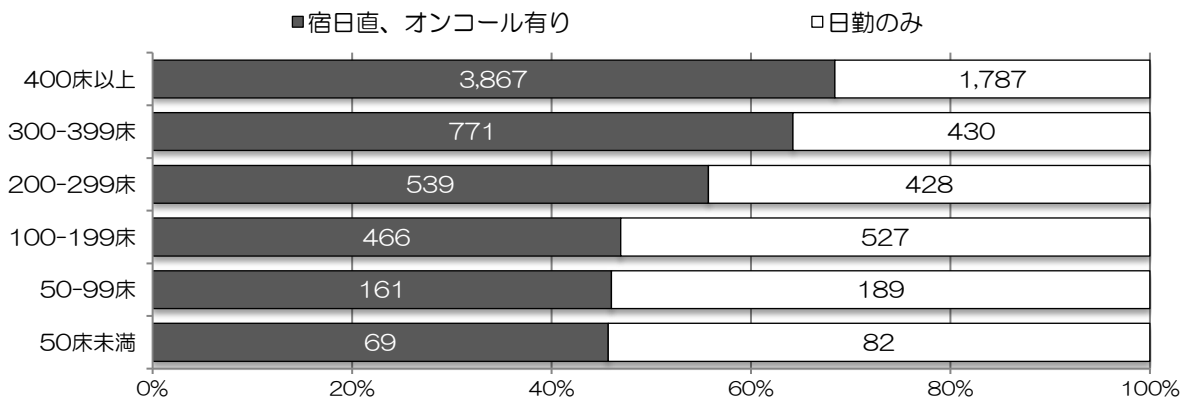


図 3-3-3-2 勤務先機関規模別にみた 1 か月の宿直回数

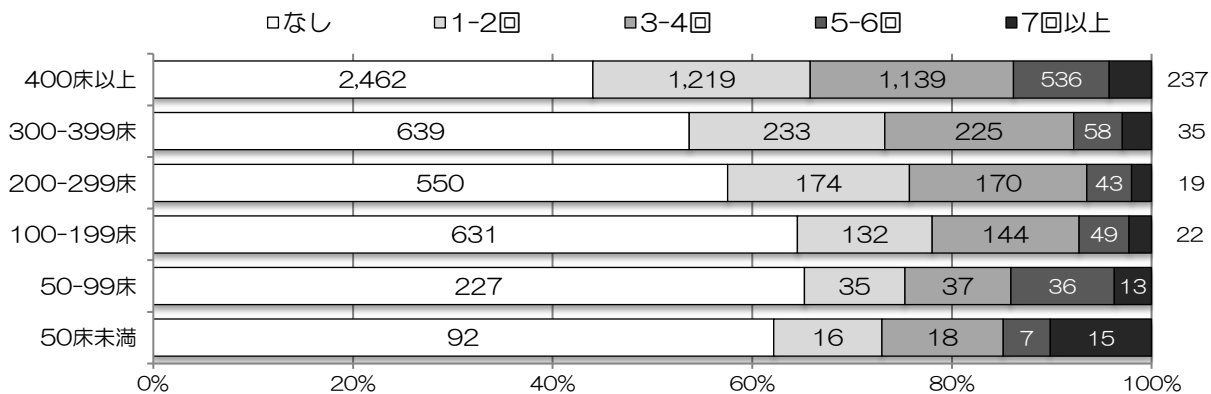
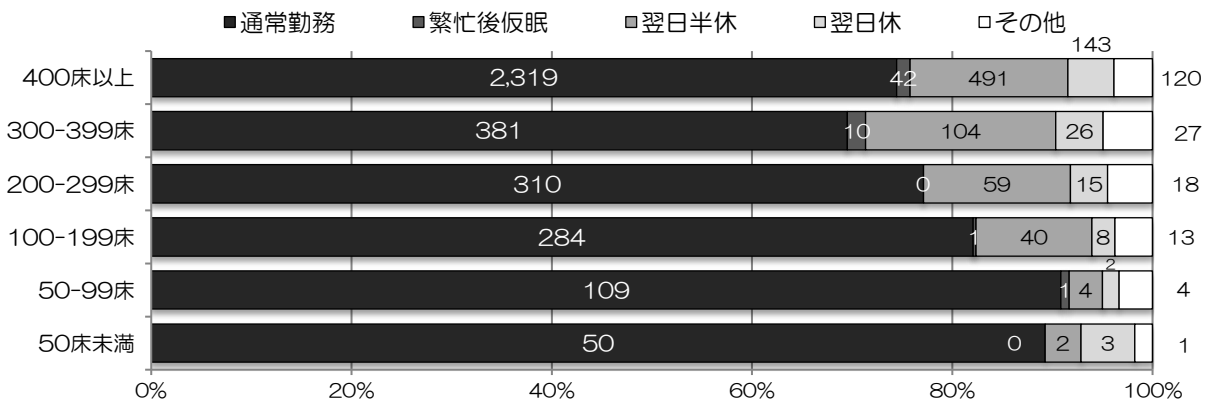


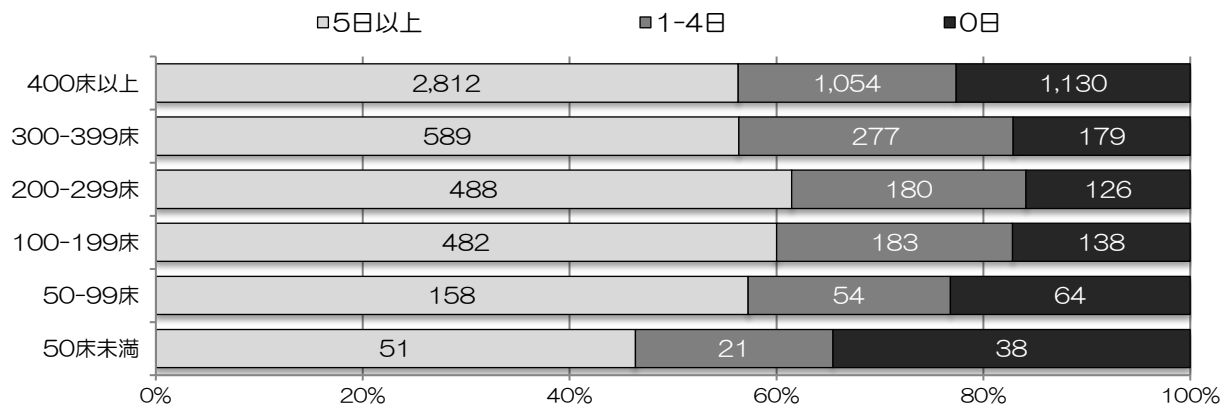
図 3-3-3-3 勤務先機関規模別にみた宿直翌日の勤務状況



### 3-3-4. 年間有給休暇取得状況

年間有給休暇が年間5日以上取得できていた割合が60%を超えていたのは、200床以上300床未満および100床以上200床未満の規模のみであった。

図 3-3-4 勤務先機関規模別にみた年間有給休暇取得状況



## (4) 子育てとの両立に関する分析

### 4-1. 子育て中の医師

属性の項で示したように、本調査では同居している子どもの年齢区分について、中学生以上は成人まで含めて詳細区分を設定しなかったため小学生までの子どもがいる人を「子育て中」とし、末子の年齢区分で「乳児」「幼児」「学童」に分けて分析した。

小学生までの子どもと同居していると回答した人は3,896人38%を占め、同居の末子の年齢区分をみると、乳児育児中が3.9%、幼児育児中が25%、学童育児中が8.8%であった。

子育て中の3,896人のうち、夫と同居していない人は492人13%であった。

末子が学童の場合、18%が夫のいない、または、同居していない家庭で子育てをしている。

なお、子育て経験者については、今回の調査では現在の状況を訊いており、子育て当時の状況を訊いていないため、今回の調査のなかで子育て環境の変化について比較することはできなかった。

図 4-1-1 現在子育て中の割合

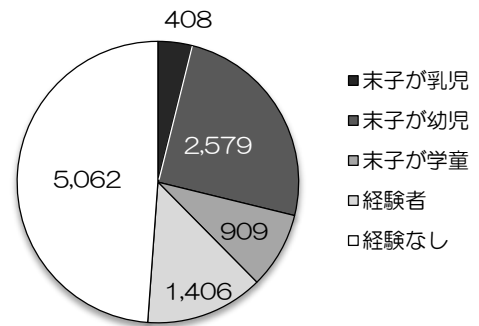
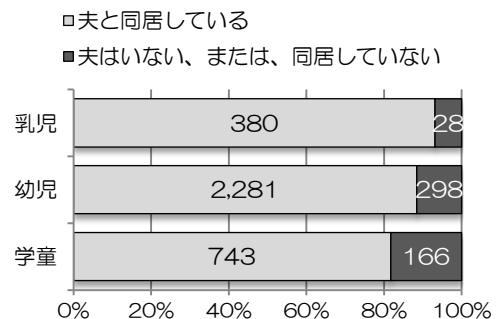


図 4-1-2 子育て中の夫の有無



### 4-2. 子育て状況別にみた子育て中の働き方

#### 4-2-1. 子育て中の勤務形態

勤務形態の概要は3-1-1に記載したが、ここでは子育ての状況別に勤務形態をみた。研修医を除いて子育て中の勤務形態をみると、必ずしも子どもが幼少なほど非常勤、時短勤務が多いとは限らない状況であった。

子育て状況、同居の夫の有無で分けて勤務形態をみたところ、乳児、幼児、学童いずれの子育て中も、さらに、子育て経験者、子育て経験なしにおいても、同居の夫がいるほうが常勤の割合が低くなっていた。

図 4-2-1-1 子育て中の勤務形態

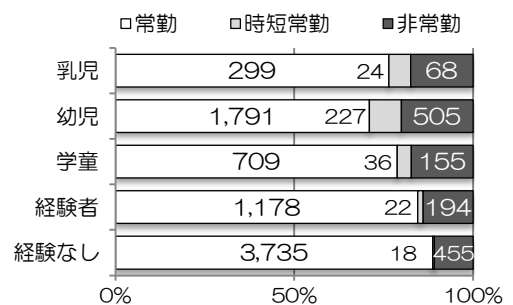


図 4-2-1-2 夫有無別\*子育て中の勤務形態



\*夫と同居している人を「夫同居」、夫はいない、または、同居していない人を「夫非同居」とした。

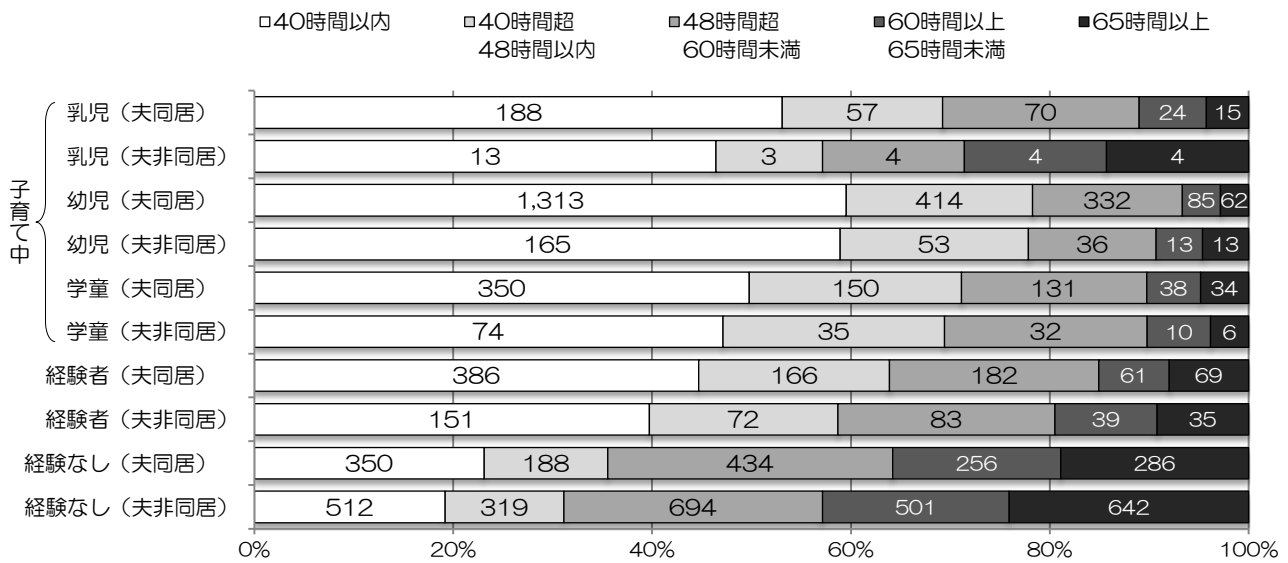


#### 4-2-2. 子育て中の 1 週間の実勤務時間

実勤務時間の概要は 3-1-2 に記載したが、ここでは子育ての状況別に実勤務時間をみた。子育て中の 1 週間の実勤務時間をみると、48 時間以内に収まっている人が概ね 60-70% 台で、子育て経験のない人では 48 時間超えが 70% 近くを占めているのに対し、明らかに短時間勤務の人が多い。一方で、一部の人は子育て中にも長時間勤務にあたっている。

子どもの年齢区分でみると、幼児の子育て中の人よりも実勤務時間の少ない人が多かった。乳児の子育て中であっても夫が同居していない場合、週 65 時間以上勤務している人が 28 人中 4 人もいたが、総数が少ないため、評価は困難である。

図 4-2-2 夫有無別にみた子育て中の 1 週間の実勤務時間



### 4-2-3. 子育て中の宿日直、オンコールの状況

宿日直、オンコールの状況の概要は 3-1-3 に記載したが、ここでは子育ての状況別に宿日直、オンコールの状況をみた。

子育て中の人では日勤のみのほうが多く、子育て経験者でも現在同居の夫がいる人では日勤のみのほうが多かった。

1か月の宿直回数をみると、子どもの年齢区分よりも、同居の夫の有無で、宿直回数に差があり、同居の夫がいると宿直回数が少ない傾向がみられた。少数ながら、子どもの年齢や夫の有無にかかわらず、1か月7回以上の宿直を引き受けている人もいる。

宿直翌日の勤務状況は、子育て中に宿直を引き受けている人が少数のため評価は困難であるが、子育て中か否かにかかわらず、全体の傾向と大きく変わらなかった。

図 4-2-3-1 夫有無別子育て中の宿日直、オンコールの状況

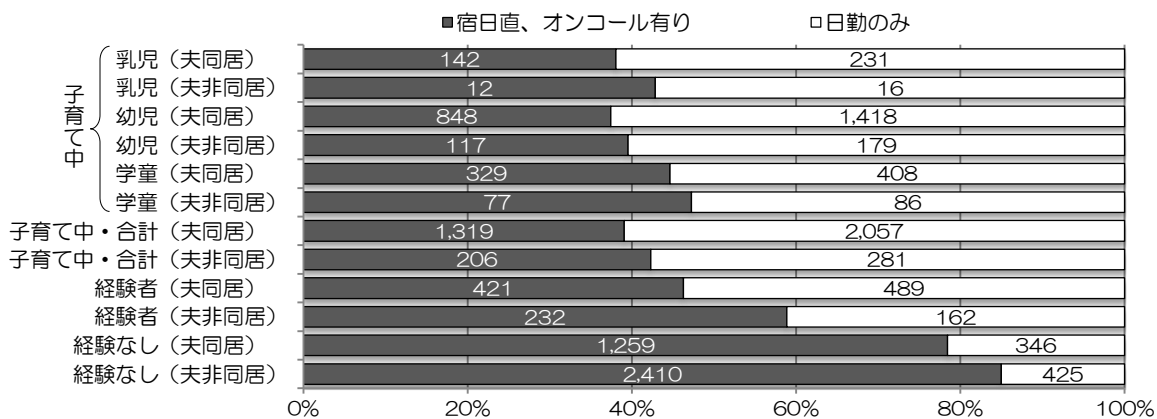


図 4-2-3-2 夫有無別子育て中の1か月の宿直回数

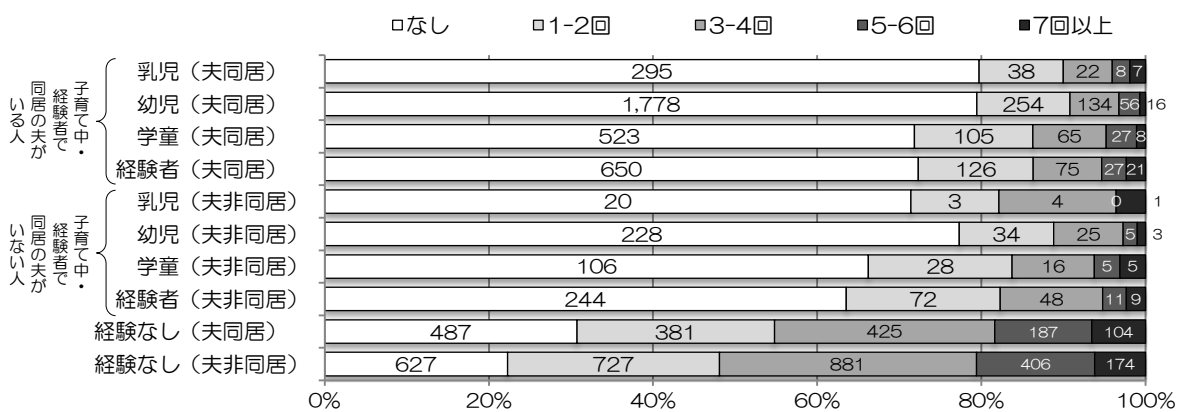
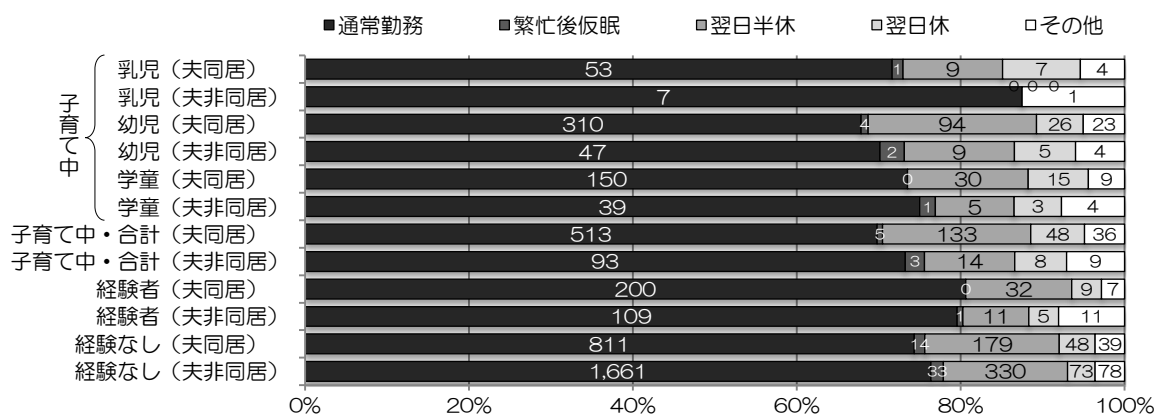


図 4-2-3-3 夫有無別子育て中の宿直翌日の勤務状況



#### 4-3. 両立の支援

##### 4-3-1. 育児休業の取得

育児休業の取得状況を見ると、子どもが小さいほど、すなわち、最近ほど、育児休業を取得している割合が高くなっていた。

一方、育児休業を取得しなかった人にその理由を複数回答で訊ねた結果をみると、「代替りの医師がない」が最も多く挙げられていたが、次いで「職場で取得しづらい雰囲気がある」が挙げられた。また、育児介護休業法は1991年に制定され、その後、改正の都度充実してきているが、現在でも「制度がなかった」との回答が300人近くから寄せられており、制度の周知・理解が進んでいないのではないかと考えられた。

##### 4-3-2. 「普段子どもの面倒をみている人」

「普段子どもの面倒をみている人は」と訊ねたところ、「本人のみ」か「本人と保育所等」との回答が最も多くなっている。夫も普段面倒を見ている<sup>\*</sup>と答えたのは1,243人で、乳幼児子育て中の回答者2,975人のうち、半数以下であった。

<sup>\*</sup>「本人と夫」+「本人と夫と保育所等」+「本人と夫と親」+「本人と夫と親と保育所等」の合計。

夫と同居している人について、夫の育児参加状況を見ると、「十分・おおむね十分」の割合は子どもが小さいほど大きく、「まったく協力しない」は子どもが大きいほど、つまり、以前の子育てほど割合が大きかった。

図 4-3-2-2 夫の育児参加

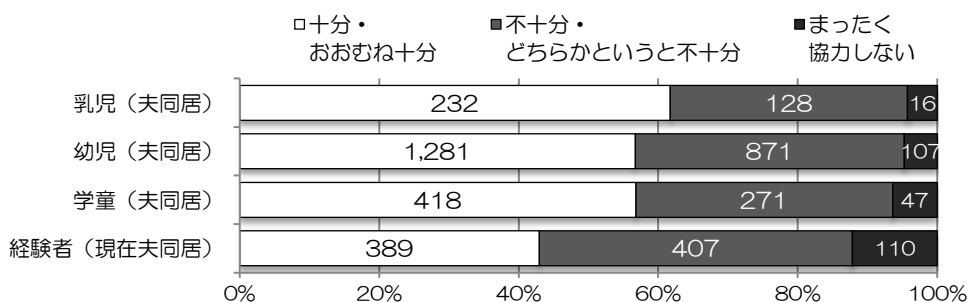


図 4-3-1-1 夫有無別子育て中の育児休業取得状況

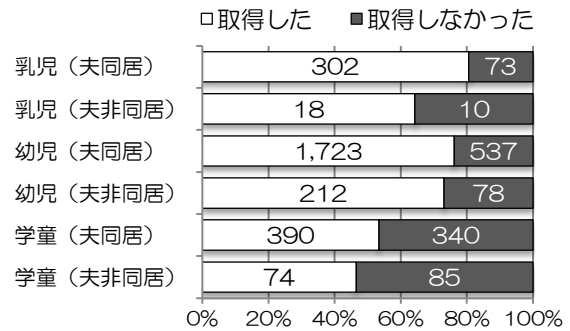
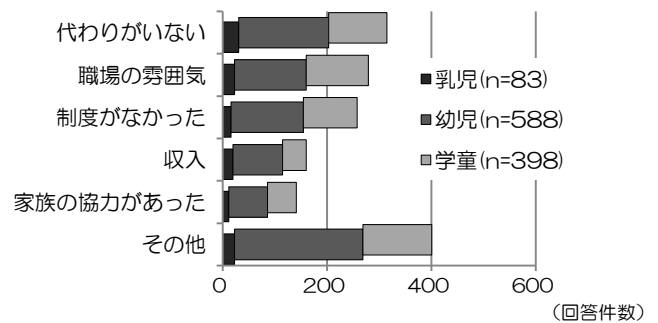


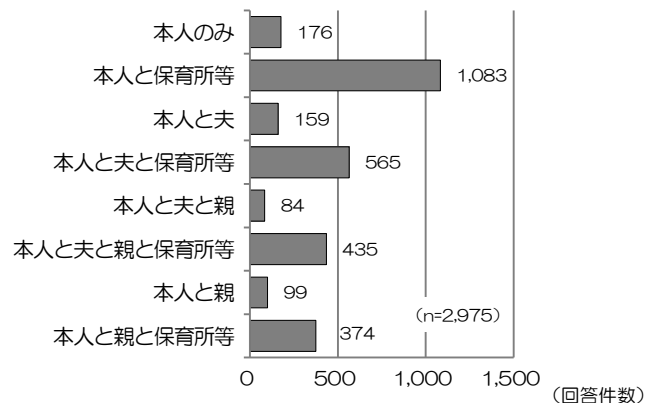
図 4-3-1-2 育児休業を取得しなかった理由<sup>\*</sup>

(複数回答)



<sup>\*</sup>現在子育て中の人のみで集計した。

図 4-3-2-1 普段子どもの面倒をみている人<sup>\*</sup>

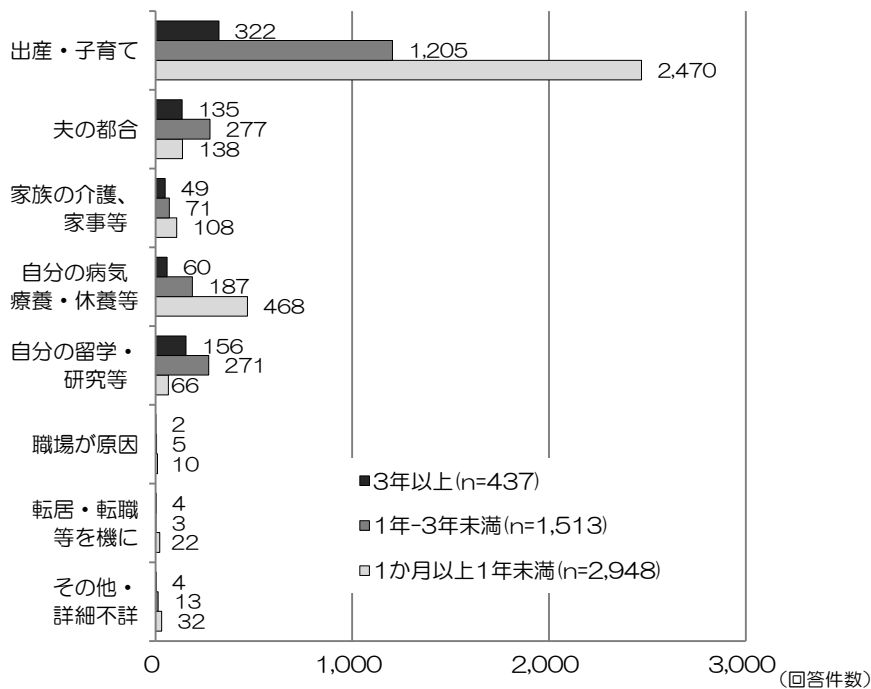


<sup>\*</sup>乳幼児子育て中の人のみで集計した。また、調査では面倒をみている人を複数回答で挙げてもらったが、ここでは上記のように分類した。

### 4-3-3. 休職・離職の状況

1か月以上仕事を中断したことがある人は4,905人（47%）あり、休職期間別に理由をみると、1年未満では出産・子育てが84%、次いで自分の病気療養・休養等が16%であった。1年以上3年未満では子育て等の80%に次いで夫の都合と自分の留学・研究等がそれぞれ18%、3年以上では総数が少ないが、子育て74%、自分の留学・研究等36%、夫の都合31%となっていた。

図 4-3-3 休職期間別にみた休職の理由※（複数回答）



※休職・離職経験がある人に理由と期間をたずね、理由については選択肢回答および「その他」を選択した人の具体的な記入内容をもとに、上記のように分類した。なお、選択肢回答の分類方法は以下のとおりとなっている。  
 自分の病気療養・休養等：選択肢「1.自分の病気療養」  
 自分の留学・研究等：選択肢「7.留学」  
 出産・子育て：選択肢「4.出産」「5.子育て」  
 夫の都合：選択肢「6.夫の転勤」  
 家族の介護、家事等：選択肢「2.家族の病気や介護」「3.家事」

#### 4-3-4. 保育施設の状況

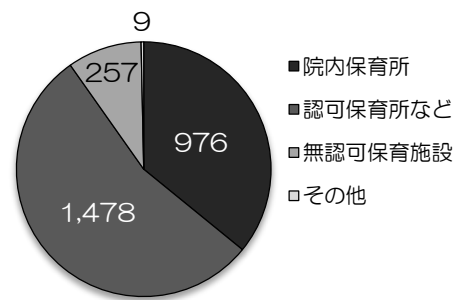
現在乳幼児を子育て中の人々が利用している保育施設は、54%が認可保育所または自治体認可保育所で、院内保育所の利用は36%であった。

本調査は個人を対象とした調査で施設調査は行っていないため、院内保育所の設置状況の推移を判断することはできないが、勤務先機関における院内保育所は、年齢区分が幼少なほど、設置割合は高くなっていった。また、病床規模別に院内保育所の設置割合をみると、大規模機関ほど設置割合は高い。

現在院内保育所のある病院に勤務しながら、利用していない理由は、利用制限、送迎の問題、保育内容などであった。

今回の調査では、病児保育については院内保育所ありと回答した人へのみ回答を求めたため、普及状況や体制の詳細は把握できなかったが、一定程度病児保育は設置されている。

図 4-3-4-1 利用している保育施設\*



\*乳幼児子育て中の人のみで集計した。

また、調査では保育施設を複数回答で挙げてもらったが、ここでは下記のとおり分類した。

院内保育所：院内保育所を利用している人

認可保育所など：院内保育所は利用していないが、認可保育所などを利用している人。

自治体独自基準の保育所や認定こども園、幼稚園（預かり保育）などを含めた。

無認可保育施設：院内保育所・認可保育所など以外の保育施設を利用している人。

図 4-3-4-2 院内保育所の設置・利用状況

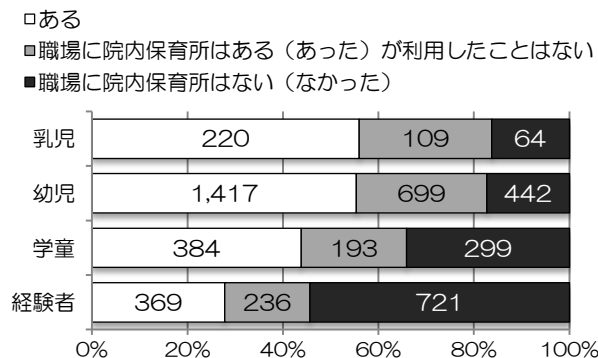
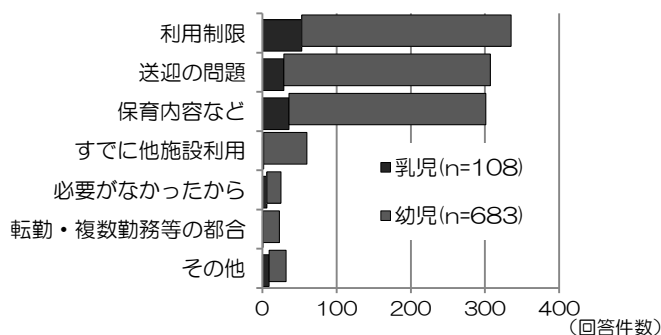
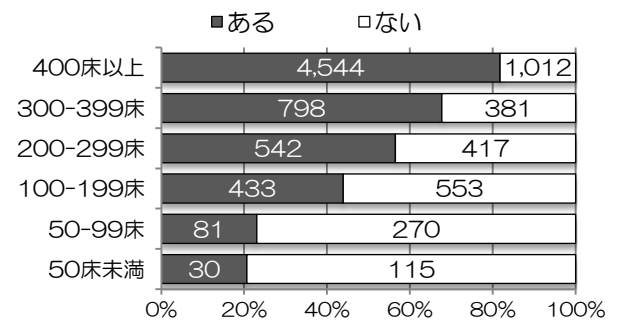


図 4-3-4-4 院内保育所を利用しなかった理由(複数回答)



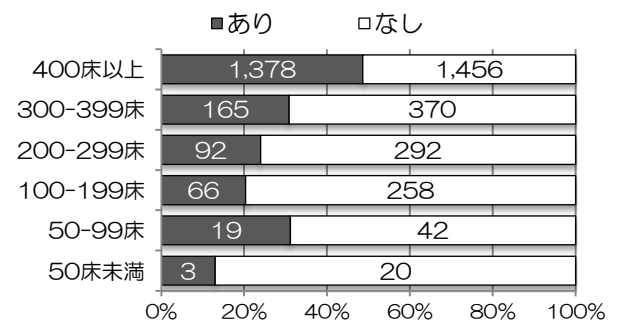
\*乳幼児子育て中の人のみで集計した。また、選択肢回答および「その他」を選択した人の具体的な記入内容をもとに、上記のように分類した。「利用制限」には選択肢「1.定員枠が少ない」、「2.保育時間と勤務時間が合わない」、「6.利用制限がある」、「送迎の問題」には「3.施設までの送迎の負担が大きい」、「保育内容など」には「4.施設の利用環境などのニーズに合わない」、「5.保育プログラムがニーズに合わない」などの理由を含めた。

図 4-3-4-3 病床規模別にみた院内保育所の設置状況\*



\*全員にたずねた。

図 4-3-4-5 病床規模別にみた病児保育の設置状況\*



\*院内保育所があると答えた 7,122 人にたずねた。

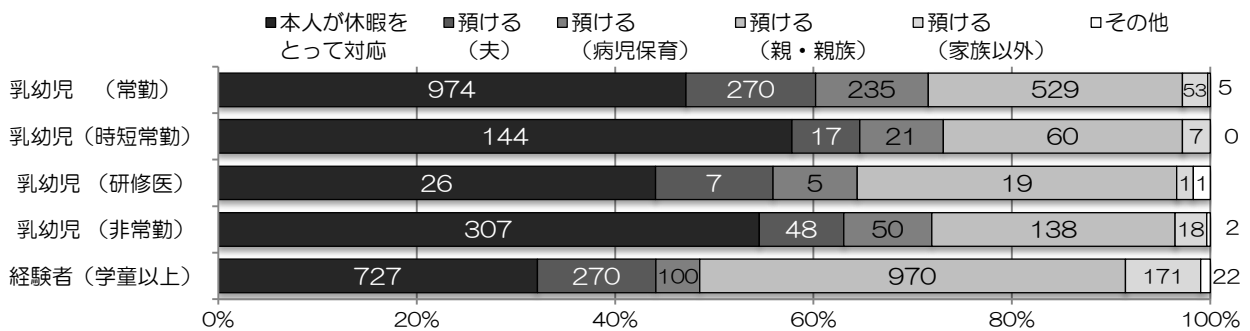
#### 4-3-5. 子どもの緊急時の対応

子どもの発熱などの緊急時の対応については、様々な条件が異なるため、勤務形態で分けて対応状況をみた。

本人が休暇をとるなどして対応した割合をみると、現在乳幼児子育て中の常勤者では 47%、時短常勤者、非常勤者ではそれぞれ 58%、55%であるのに対し、経験者では本人が休暇をとるなどで対応した割合は 32%であった。

預け先として最も多かったのは「親・親族」で、「夫」の2-3倍に上っている。とくに、経験者では、43%が親・親族に預けていた。

図 4-3-5 子どもの緊急時の対応※



※調査では対応や預け先を複数回答で挙げてもらったが、ここでは下記のように分類した。

本人が休暇をとって対応：欠勤、休暇、早退、遅刻などをして対応したと答えた人。

預ける(夫)：上記に当てはまらず、夫に預けたと答えた人。

預ける(病児保育)：上記に当てはまらず、病児保育に預けたと答えた人。

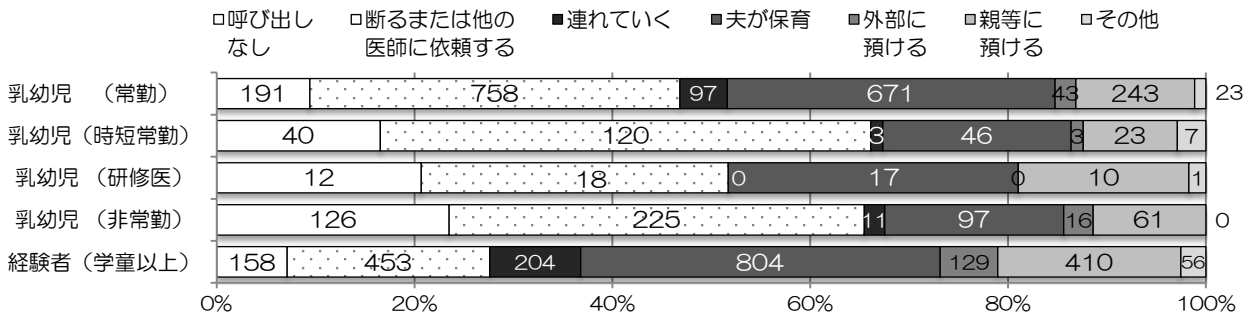
預ける(親・親族)：上記に当てはまらず、親・親族に預けたと答えた人。

預ける(家族以外)：上記に当てはまらず、その他の人や施設に預けた人。

#### 4-3-6. 緊急呼び出し時、学会等への出張時の対応

病院からの緊急呼び出しについても、対応は、勤務形態で異なるとともに、以前と現在でもかなり異なっている。「呼び出しなし」と「断るまたは他の医師に依頼する」をあわせると、現在乳幼児子育て中の常勤者では47%、時短常勤者では66%、非常勤者では65%、経験者では28%であった。緊急呼び出しに対応した人の預け先としては、いずれの場合も夫が最も多かった。

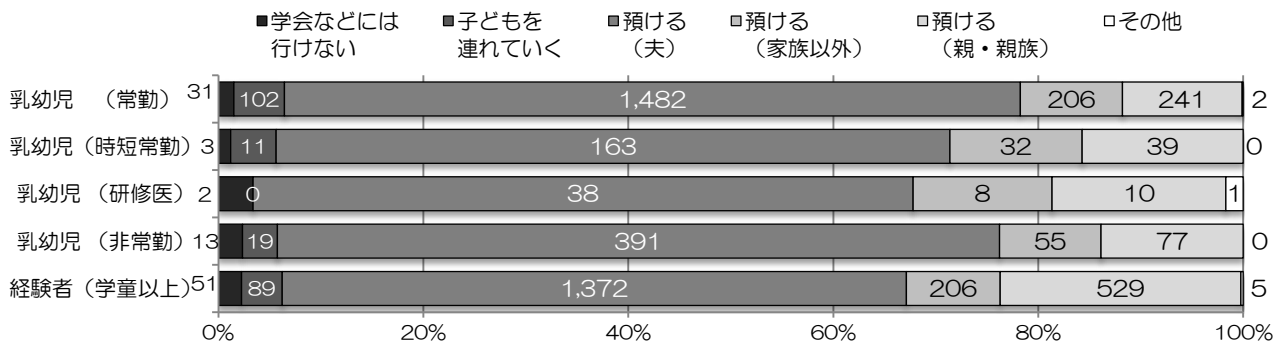
図 4-3-6-1 緊急呼び出し時の対応※



※調査では対応や預け先を複数回答で挙げてもらったが、ここでは下記のように分類した。  
 呼び出しなし：下記に当てはまらず、そもそも呼び出しはない（なかった）と答えた人。  
 断るまたは他の医師に依頼する：断るまたは他の医師に依頼すると答えた人。  
 子どもを連れていく：上項に当てはまらず、子どもを連れて緊急呼び出しに対応したと答えた人。  
 夫が保育：上2項に当てはまらず、夫に預けたと答えた人。  
 外部に預ける：上3項に当てはまらず、家族以外に預けたと答えた人。  
 親等に預ける：上4項に当てはまらず、親・親族に預けたと答えた人。

学会出張等については、子育てのために参加を断念したかどうかは直接訊いていないが、出張に「連れていく」は4%前後、預ける場合、預け先としては夫が現在乳幼児子育て中の人ではどの勤務形態でも64-72%を占め、経験者でも61%は夫に預けていた。

図 4-3-6-2 出張時の対応※

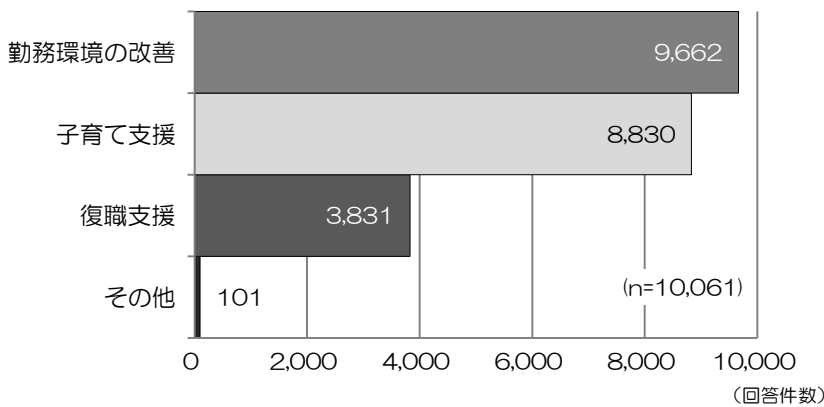


※調査では対応を複数回答で挙げてもらったが、ここでは下記のように分類した。  
 学会などには行けない：学会、出張、日直、当直には行けなかったと答えた人。  
 子どもを連れていく：上記に当てはまらず、学会、出張、日直、当直に子どもを連れていくと答えた人。  
 預ける（夫）：上記に当てはまらず、夫に預けたと答えた人。  
 預ける（家族以外）：上記に当てはまらず、家族以外に預けたと答えた人。  
 預ける（親・親族）：上記に当てはまらず、親・親族に預けたと答えた人。

#### 4-3-7. 仕事を続ける上で必要と思う支援

仕事を続ける上で必要と思う制度や仕組み・支援対策等について複数回答で訊ねた。選択肢を①勤務環境の改善 ②子育て支援 ③復職支援 に大きく分類してみると、勤務環境の改善を回答者の96%が挙げ、次いで子育てに関する支援88%、復職に関する支援は38%の人が挙げた。

図 4-3-7-1 仕事を続ける上で必要と思う支援\* (複数回答)



\*全員にたずね、選択肢回答および「その他」を選択した人の具体的な記入内容をもとに、左記のように分類した。なお、選択肢回答の分類方法は以下のとおりとなっている。

勤務環境の改善：「1.人員（医師）の増員」「2.複数主治医制度の導入など主治医制の見直し」「3.二交代制の勤務体制」「4.代替医師の配置」「5.宿直・日直の免除」「6.時間外勤務の免除」「7.短時間正社員制度の導入・拡充」「8.フレックス制度導入」「9.働きやすい部門への配置転換」「21.診療報酬引き上げ、医療費の増額」

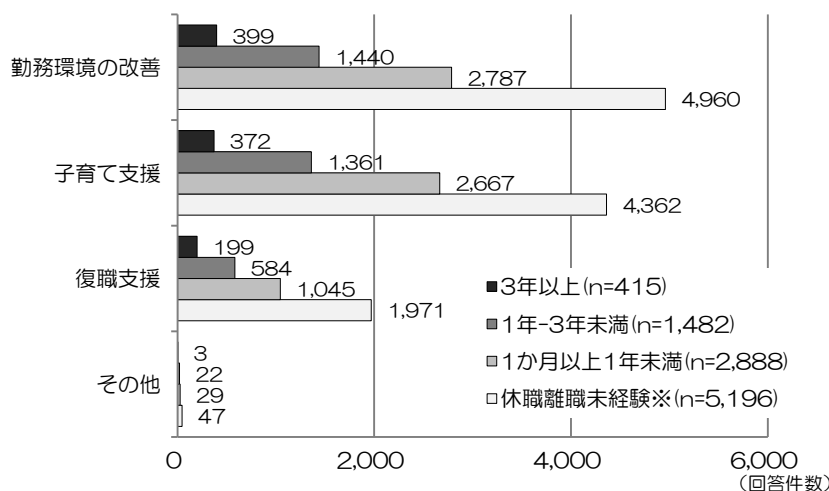
子育て支援：「10.託児所・保育園などの整備・拡充」「11.事業所内託児施設」「12.病児保育」「13.保育施設やベビーシッターの斡旋」「14.保育施設利用の際の保育料の助成」「15.ベビーシッター利用の際の費用補助」「16.放課後における学童施設充実」「17.男性の家事・育児などへの参加」「20.国の事業所への補助金制度整備・拡充」

復職支援：「18.在宅研修制度」「19.出産・育児休業取得者への職場復帰支援」

仕事を続ける上で必要と思う制度や仕組み・支援対策等について休職経験、休職期間別にみたところ、いずれの場合においても勤務環境の改善、子育て支援、次いで復職支援、であった。

ただし、今回の調査対象は病院に勤務している医師としたことから、現在休職中の潜在医師の声が反映できていないことに留意が必要である。

図 4-3-7-2 休職経験別にみた仕事を続ける上で必要と思う支援 (複数回答)



\*休職・離職の経験がないと回答した人、および、休職・離職の期間が1か月未満の人を「休職離職未経験」とした。



勤務環境の改善に関して詳細をみると、宿直・日直の免除、医師の増員を回答者の60%が、次いで時間外勤務の免除を51%が挙げた。子育てに関する支援では、病児保育を65%が、保育施設の充実を61%の人が挙げた。

図 4-3-7-3 勤務環境の改善に関して必要と思う支援（複数回答）

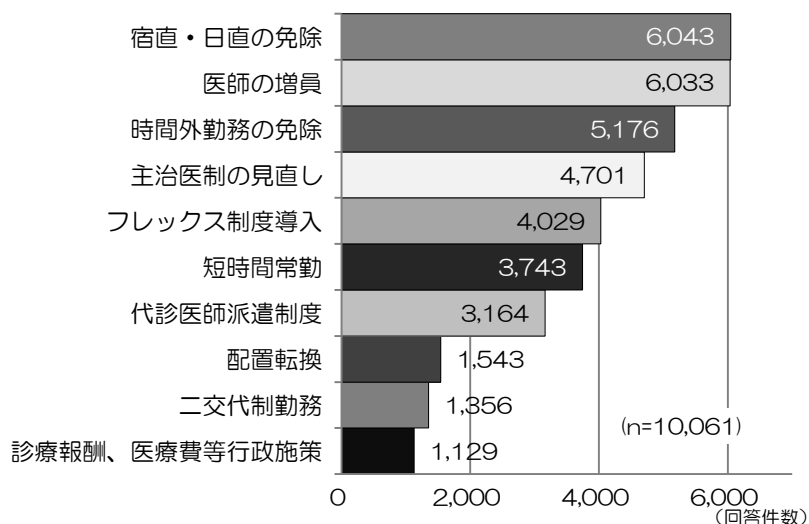


図 4-3-7-4 子育てに関して必要と思う支援（複数回答）

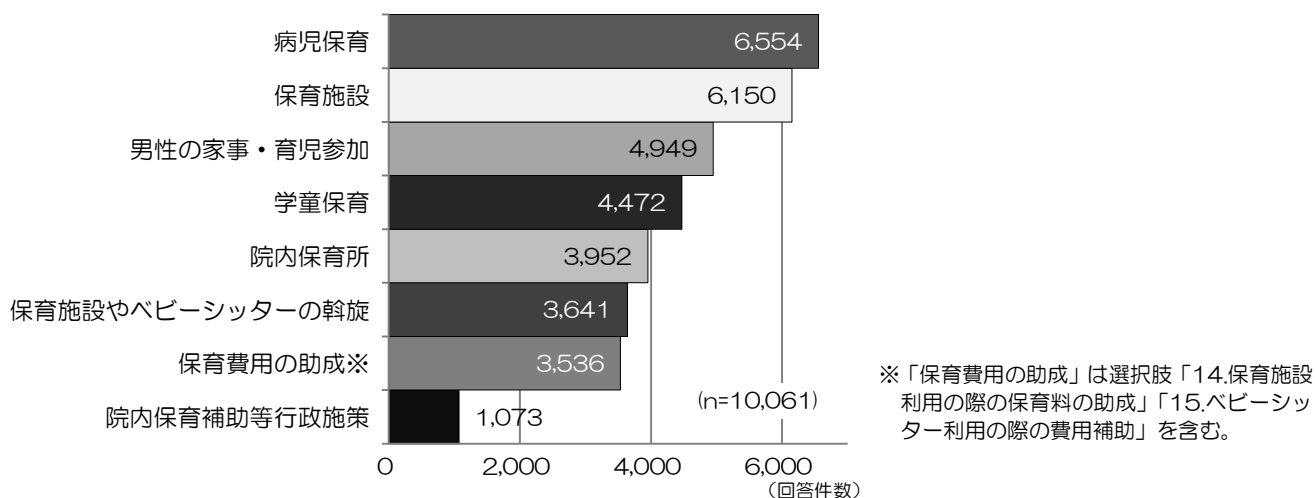
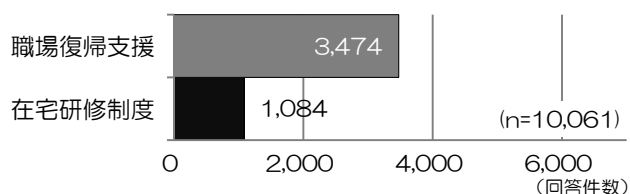


図 4-3-7-5 復職に関して必要と思う支援（複数回答）



## (5) 介護との両立に関する分析

### 5-1. 介護の状況

#### 5-1-1. 介護経験の有無

介護経験の有無を年齢階級別にみると、明らかに年齢が上がると介護経験の割合が増加している。

#### 5-1-2. 介護休業の取得状況

介護休業の取得者は今回の調査でも 190 人とまだ少ないが、医療機関の規模によって取得状況はあまり変わらなかった。

図 5-1-1 介護経験

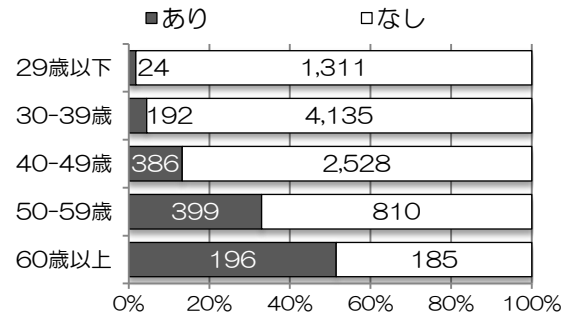
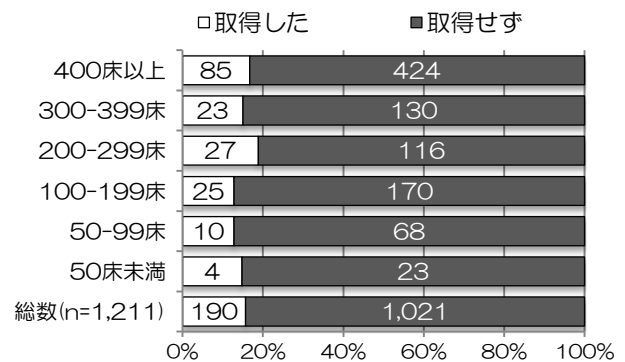


図 5-1-2 介護休業の取得状況\*



※介護経験があると答えた 1,226 人にたずねた。

## (6) 女性医師の悩み

### 6-1. 女性医師の悩み

#### 6-1-1. 年齢階級別にみた女性医師の悩み

女性医師としてどのような悩みがあるか複数回答で訊ねた。選択肢を①家庭・育児に関する悩み ②医師としての悩み ③職場における女性医師としての悩みに大きく分類してみると、表 6-1-1 のとおり、30 歳代 40 歳代で全体に数値が若干高いが、①家庭・育児と②医師としての悩みが大きい。一方で少数ながら自由記載として「悩みは性別に関係ない」と記入した人がどの年齢階級にもいた。

表 6-1-1 年齢階級別にみた女性医師の悩み※（複数回答）

	家庭・育児に関する悩み	医師としての悩み	職場における女性医師としての悩み	悩みは性別に関係ない
総数	71.1%	63.9%	36.3%	2.1%
29 歳以下	67.0%	56.0%	41.2%	1.6%
30-39 歳	<b>75.2%</b>	<b>66.6%</b>	34.9%	1.2%
40-49 歳	<b>71.5%</b>	<b>67.1%</b>	34.3%	2.7%
50-59 歳	61.6%	56.6%	41.1%	4.6%
60 歳以上	62.8%	55.6%	39.0%	3.9%

※全員にたずね、選択肢回答および「その他」を選択した人の具体的な記入内容をもとに、上記のように分類した。

なお、選択肢回答の分類方法は以下のとおりとなっている。

家庭・育児に関する悩み：「1.家事と仕事の両立」「7.配偶者の非協力・無理解」「8.配偶者の家族の無理解」

医師としての悩み：「2.プライベートな時間がない」「3.勉強する時間が少ない」

職場における女性医師としての悩み：「4.当直室・更衣室・休憩室などの施設環境の不備」「5.男性主導社会」「6.セクハラ」

#### 6-1-1-1. 年齢階級別にみた家庭・育児に関する悩み

家庭・育児に関する悩みの詳細をみると、「家事・育児・介護と仕事の両立」はすべての年齢階級で最も多かったが、30 歳代、40 歳代で特に多い。次いで多かったのは、1 割程度の人が挙げた「配偶者の非協力・無理解」で、年齢階級が上がるごとに増えている。また、配偶者に対しての 3 分の 1 程度ではあるが、「配偶者の家族の無理解」も同様に年齢階級が上がるが増えている。世代によって夫婦・家族の関係が変化していることが伺われる。

表 6-1-1-1 年齢階級別にみた家庭・育児に関する悩み※（複数回答）

	家事・育児・介護と仕事の両立	配偶者の非協力・無理解	配偶者の家族の無理解	結婚・出産・不妊治療
総数	68.9%	9.4%	3.2%	1.7%
29 歳以下	64.9%	4.0%	1.6%	2.1%
30-39 歳	<b>73.1%</b>	8.2%	2.7%	2.6%
40-49 歳	<b>69.6%</b>	<b>11.3%</b>	<b>3.7%</b>	0.9%
50-59 歳	58.2%	<b>12.8%</b>	<b>4.7%</b>	0.3%
60 歳以上	59.8%	<b>15.7%</b>	<b>6.6%</b>	0.3%

※選択肢回答および「その他」を選択した人の具体的な記入内容をもとに、上記のように分類した。

「結婚・出産・不妊治療」は「その他」の記入内容から取り上げた。

### 6-1-1-2. 年齢階級別にみた医師としての悩み

医師としての悩みの詳細をみると、最も多かったのは「キャリア形成・スキルアップ」で、とくに30歳代、40歳代で多かった。同様に多かったのは、「プライベートな時間がない」で、これもとくに30歳代、40歳代で多かった。キャリア形成の段階にあって最も多忙な世代にあることの反映と考えられる。

表 6-1-1-2 年齢階級別にみた医師としての悩み※（複数回答）

	キャリア形成・ スキルアップ	プライベートな 時間がない	業務量・体力面・ 評価等	患者に関して
総数	45.9%	41.4%	2.9%	0.2%
29歳以下	36.7%	39.4%	1.2%	<b>0.5%</b>
30-39歳	<b>48.1%</b>	<b>44.0%</b>	2.9%	0.2%
40-49歳	<b>49.2%</b>	<b>41.9%</b>	<b>3.6%</b>	0.2%
50-59歳	40.6%	34.9%	<b>3.6%</b>	0.1%
60歳以上	40.2%	32.3%	2.1%	0.0%

※選択肢回答および「その他」を選択した人の具体的な記入内容をもとに、上記のように分類した。  
「キャリア形成・スキルアップ」は、「3.勉強する時間が少ない」を含む。  
「業務量・体力面・評価等」および「患者に関して」は「その他」の記入内容から取り上げた。

### 6-1-1-3. 年齢階級別にみた職場における女性医師としての悩み

職場における女性医師としての悩みの詳細をみると、世代によって、内容が異なっている。20歳代では施設環境の不備が多かったが年齢階級が上がるにつれて少なくなっている。一方、男性主導社会等を上げたのは60歳代を筆頭に、年齢階級が上がるほど増えていた。

男女共同参画が社会として進んでいることを現しているのか、同世代における男女共同参画の現状が世代によって異なっていることを現しているのか、いずれにしても世代によって明らかに悩みの構成が変化している。

表 6-1-1-3 年齢階級別にみた職場における女性医師としての悩み※（複数回答）

	男性主導社会・ セクハラ等	休憩室など 施設環境不備	職場の無理解・ 人間関係
総数	23.6%	18.4%	1.5%
29歳以下	19.1%	<b>28.8%</b>	1.1%
30-39歳	21.9%	18.8%	1.4%
40-49歳	24.1%	15.7%	1.5%
50-59歳	<b>32.4%</b>	14.8%	1.8%
60歳以上	<b>30.2%</b>	11.5%	<b>2.7%</b>

※選択肢回答および「その他」を選択した人の具体的な記入内容をもとに、上記のように分類した。  
「男性主導社会・セクハラ等」は、「5.男性主導社会」「6.セクハラ」を含む。  
「職場の無理解・人間関係」は、「その他」の記入内容から取り上げた。

### 6-1-2. 子育て状況別にみた女性医師の悩み

子育ての最中の人と、経験者、未経験者では育児と仕事の両立という課題の大きさは異なるが、配偶者や配偶者の家族への不満や悩みは子育て中かどうかよりも世代によって異なっているように見受けられる。

表 6-1-2 子育て状況別にみた家庭・育児に関する悩み（複数回答）

	家事・育児・介護 と仕事の両立	配偶者の 非協力・無理解	配偶者の家族の 無理解	結婚・出産・ 不妊治療
子育て中	<b>90.6%</b>	13.9%	4.2%	0.6%
子育て経験者	<b>71.1%</b>	<b>18.1%</b>	<b>6.9%</b>	0.4%
子育て未経験者	<b>49.9%</b>	3.0%	1.3%	2.9%

### 6-1-3. 診療科別にみた女性医師の悩み

働き方についての分析でも診療科によってさまざまな差異があったが、女性医師としての悩みにも診療科によって、若干異なっているように見受けられる。

表 6-1-3 診療科別にみた女性医師の悩み（複数回答）

	家庭・育児に関 する悩み	職場における 女性医師とし ての悩み	医師としての 悩み	悩みは性別に 関係ない
内科	<b>71.3%</b>	37.6%	67.2%	2.2%
精神科	<b>70.6%</b>	35.3%	56.9%	3.3%
小児科	<b>76.0%</b>	30.7%	66.5%	1.6%
放射線科	<b>72.0%</b>	38.2%	66.1%	3.0%
病理・検査科	<b>72.0%</b>	28.5%	64.7%	4.3%
リハビリ科	69.1%	40.4%	58.1%	2.9%
外科	61.0%	44.7%	66.8%	3.7%
整形・形成外科	64.8%	42.9%	60.4%	3.0%
麻酔科	<b>74.6%</b>	32.7%	60.8%	2.1%
産科婦人科	<b>71.8%</b>	29.7%	67.8%	1.6%
脳神経外科	58.4%	<b>48.3%</b>	55.1%	3.4%
泌尿器科	63.2%	<b>46.2%</b>	60.7%	2.6%
眼科	<b>75.9%</b>	34.0%	61.8%	1.7%
耳鼻咽喉科	<b>73.1%</b>	32.6%	64.5%	2.5%
皮膚科	<b>75.6%</b>	34.2%	63.8%	0.4%
救急科	62.9%	<b>45.7%</b>	60.0%	1.9%
その他	<b>76.0%</b>	44.0%	52.0%	0.0%
研修医	68.4%	40.5%	55.6%	1.8%

## (7) まとめ

今回の調査は、病院に勤務している女性医師のほぼ4分の1から回答を得ることができ、年齢階級別、診療科別、勤務先機関規模別、子どもの年齢期別子育て状況等も分析することができた。

年齢のみならず、診療科目によっても勤務の状況に大きなばらつきがみられた。診療内容がそれぞれ異なるため、当然の結果であるが、いずれにしても、専門性が高く、かつ、法的に応召義務のある医師職の勤務状況を一般の労働者の基準だけで評価することはできない。国を挙げて働き方改革を目指しているなか、医師、とくに専門領域によっては緊急対応や長時間対応の避けられない医師に対して、多様な、かつ、効果的な支援策が必要である。

特に、女性医師においては出産というライフイベントと研修医、さらには専門医取得のための研修時期との重なりが想定されるなかで、ワークライフバランス確保のための社会的支援は極めて重要であり、効果ある対策かどうかの事業評価は欠かせない。今回の調査からは、勤務先機関の男女共同参画や育児支援への意識は高まっているように見える。一方、極めて個人的な領域ではあるが、家庭内での男女共同参画は以前よりは進んでいるものの、まだまだ女性医師だけへの負荷が大きいのではないかと感じる。こういったなかでも出産、育児と医師業務を両立させている女性医師は増えている。出産、育児を応援するのみならず、医師業務との両立、医師としてのキャリア形成確保のための支援も重要である。

今回の調査は、前回8年前の調査との比較のため、前回調査に倣い、病院勤務医のみを対象として、病院を通じて調査票を配布した。このため、基礎医学系・医療行政・診療所医師・産業医等の状況は把握できていない。これら、病院以外で働く女性医師は女性医師全体の34%（厚生労働省三師調査）に上っており、女性医師の働く分野や働き方の多様性を踏まえると、これらの医師の勤務環境についても把握していく必要がある。多様な働き方をしている女性医師の状況も把握するなどにより、幅広い選択肢をもつ支援策の展開が望まれる。また、休職中のいわゆる潜在医師についても、把握は困難ながら当事者の意見を集めていく努力も必要であり、一時職場を離れたり、減速したりしていた医師の職場復帰においては、個別性に十分対応した支援が望まれる。

なお、本報告書とは別に、8年前の調査と、子どもの年齢区分を揃えるなどして、詳細な比較分析を行い、8年間での社会の状況変化の影響評価や支援の効果評価に資するよう、別途、報告する予定である。

本調査で明らかになった実態から、各地で様々に実施されている育児・介護支援、医療勤務環境改善、職場復帰支援等の事業を評価すること等によって、効果の高い支援策が展開されていくことを期待する。

女性医師の勤務環境の現況に関する調査  
調 査 票

全国の女性勤務医の皆様へ

平成 29 年 2 月 日本医師会

「女性医師の勤務環境の現況に関する調査」ご協力をお願い

医師の勤務環境の改善を目指して

日本医師会では、平成 18 年度から厚生労働省委託により女性医師支援センター事業（旧：医師再就業支援事業）を実施し、女性医師の勤務支援を通じて、医師全体の勤務環境の改善を図ることを目指して参りました。

今後、更に女性医師の勤務継続および復職支援を有効なものにするためには、全国の病院に勤務する女性医師の現況を詳細かつ正確に把握することが非常に重要であると考え、平成 20 年度に実施しました同様のアンケート調査をベースに再度「女性医師の勤務環境の現況に関する調査」を実施することといたしました。

是非、ご協力下さいますようお願い致します。

日 本 医 師 会  
会 長 横 倉 義 武  
日本医師会女性医師支援センター  
センター長 今村 聡

恐れ入りますが、平成 29 年 3 月 31 日（金）までにご回答いただきますようお願いいたします。

【お問合せ先】一般社団法人中央調査社 日本医師会女性医師現況調査担当  
電話：（平日 9:00 ～ 18:00）  
E-mail：

■ 平成 29 年 1 月末現在の状況でご回答ください。  
該当する番号に○をつけるか、具体的な数字をご記入ください。

年 齢	1. 29 歳以下	3. 40～49 歳	5. 60～69 歳
	2. 30～39 歳	4. 50～59 歳	6. 70 歳以上
卒業後年数	1. 研修医	3. 5～10 年未満	5. 15～20 年未満
	2. 5 年未満	4. 10～15 年未満	6. 20～25 年未満
結婚について	1. 未 婚	2. 既 婚	3. 離 婚
配偶者は医師ですか(でしたか)?	1. 医 師      2. 医師以外		
同居している家族	1. 配偶者・パートナー      4. 子ども      7. 0 歳児      人 2. 親（義理を含む）      人      1. 未就学児      人 3. 同居人      人      ウ. 小学生      人 (兄弟・姉妹を含む)      人      エ. 中学生以上      人 5. 同居人はいない      人		
現在の専門は何ですか?	1. 内科      6. 麻酔科      11. 脳神経外科 2. 外科      7. 眼科      12. 整形外科 3. 小児科      8. 皮膚科      13. 精神科 4. 産婦人科      9. 耳鼻咽喉科      14. 放射線科 5. 救急      10. 泌尿器科      15. その他(具体的に: )		
これまでに専門科目を変更しましたことがありますか?	1. はい	2. いいえ	(次ページへ)

変更した方は、その理由を教えてください。

問1-1. 病院の開設主体をお答えください。

1. 国 → (ア) 国立大学法人 1. 国立大学以外の法人)  
 2. 公的医療機関 → (イ) 市町村 オ. 厚生連  
 3. 社会保険関係団体 6. 学校法人  
 4. 公益法人 7. 社会福祉法人 10. その他の法人  
 5. 医療法人 8. 医療生協 11. 個人

問1-2. 勤務先(場所)での役割は次のどれにあたりますか？

1. 院長 3. 部長 5. 医長 7. 研修医  
 2. 副院長 4. 科長 6. 医員 8. その他(具体的に: )

問1-3. 勤務先の病院の総病床数はおよそ何床ですか？

(千) (百) (十) (一) 床

問1-4. 勤務先の病院は救急告示をしていますか(救急指定病院ですか)？

1. はい 2. いいえ

問1-5. 勤務形態は次のどれですか？

1. 常勤 2. 非常勤(嘱託・パート・その他) 3. 短時間正職員

問1-6. 勤務形態が常勤以外の方にお伺いします。その理由は何ですか？(複数回答可)

1. 育児 3. 介護 5. その他(具体的に: )  
 2. 家庭 4. 雇用条件

問1-7. 勤務形態が常勤以外の方にお伺いします。将来希望する勤務形態は次のどれになりますか？

1. 常勤 2. 非常勤(嘱託・パート・その他) 3. 短時間正職員 4. 仕事をしない  
 その理由( )

【すべての方にお伺いします。】

問1-8. お勤めの病院での勤務年数は何年ですか？

年 月

問1-9. 一週間の契約勤務時間は、何時間ですか？

時間 分

問1-10. 一週間の実勤務時間は、平均で何時間ですか？

時間 分

【すべての方にお伺いします。】

問1-11. どのような勤務状況ですか？

1. 日勤のみ 2. 日勤と時間外勤務(宿直、日直、オンコール)  
 (問1-15へ)

問1-12. 宿直について、1か月平均の宿直回数は何回ありますか？

1. なし 2. 1~2回 3. 3~4回 4. 5~6回 5. 7~9回 6. 10回以上

問1-13. 宿直の翌日はどのようになっていますか？

1. 翌日は半日休める 4. 翌日は通常勤務している  
 2. 翌日は休める 5. その他  
 3. 特に忙しかった当直のみ仮眠できる (具体的に: )

問1-14. 日直について、1か月平均の日直回数は何回ありますか？

1. なし 2. 1~2回 3. 3~4回 4. 5~6回 5. 7~9回 6. 10回以上

【すべての方にお伺いします。】

問1-15. 月のお休みは何日ありますか？

1. 4週4休 3. 4週6休 5. 4週8休(週休2日制)  
 2. 4週5休 4. 4週7休 6. その他(具体的に: )

問1-16. 「問1-15」で回答された休日を、実際に消化できますか？

1. 完全消化 3. 時々返上 5. その他  
 2. ほぼ消化 4. ほとんど返上 (具体的に: )

問1-17. 年次有給休暇は何日でどのくらい消化していますか？

(ア) 年次有給休暇日数 日間  
 (イ) 年間消化日数 日間

問1-18. 仕事を中断(休職)、離職したことがありますか？

1. はい 2. いいえ (次ページへ)

問1-19. 仕事を中断(休職)、離職したことがある方にお伺いします。その理由を教えてください。(複数回答可)

1. 自分の病気療養 4. 出産 7. 留学  
 2. 家族の病気や介護 5. 子育て 8. その他  
 3. 家事 6. 夫の転勤に伴う (具体的に: )

問1-20. 仕事を中断(休職)、離職したことがある方にお伺いします。期間はどのくらいですか？

1. 1か月未満 3. 6か月~1年未満 5. 2年~3年未満  
 2. 1~6か月未満 4. 1年~2年未満 6. 3年以上



【すべての方にお伺いします。】

問2-1. 女性医師として、どのような悩みをお持ちですか？(複数回答可)

1. 家事と仕事の両立	6. セクハラ
2. プライベートな時間がない	7. 配偶者の非協力・無理解
3. 勉強する時間が少ない	8. 配偶者の家族の無理解
4. 当直室・更衣室・休憩室などの施設環境の不備 (具体的に: )	9. その他 (具体的に: )
5. 男性主導社会	

問2-2. 同性の医師に対して不満を感じることはありませんか？

1. ある	2. ない
あると答えた理由は？ ( )	

問2-3. 男性の医師に対して不満を感じることはありませんか？

1. ある	2. ない
あると答えた理由は？ ( )	

問2-4. 職場では女性医師の妊娠・出産・育児・その他に対し、仕事と家庭生活を両立させるための就業環境や規則などが整備されていますか？

1. 整備されている	2. 整備されていない	3. 分からない
あると答えた理由は？ ( )		

問2-5. 問2-4で、「1. 整備されている」と回答された方にお伺いします。

それは、どのような整備内容ですか？(複数回答可)

1. 休暇の際には代診医師を確保
2. 事業所内託児施設
3. 給与面で優遇(託児施設など費用手当等の支給)
4. 勤務時間の短縮、残業、当直等の免除
5. X線被曝の回避
6. 法定外の産前・産後の休暇 ……※1
7. 法定外の育児休業 ……※2
8. ささまざまな規則が定められている
9. その他(具体的に: )

※1 法定:(産前)出産予定日の6週間前から、(産後)出産後8週間

※2 法定(原則):1年間(1歳未満の子)

【すべての方にお伺いします。】

問2-6. 職場に保育所または託児所がありますか？

1. ある	2. ない
あると答えた理由は？ (問2-12へ)	

問2-7. 平日の保育時間帯を教えてください。(24時間制でご記入ください)

時	分	時	分

\*曜日によって保育時間帯が異なる場合は、最も長い保育実施曜日の時間帯を記入してください。

問2-8. 24時間対応はありますか？

1. あり	2. なし
-------	-------

問2-9. 土日祝祭日の保育の実施状況を教えてください。

1. 土曜日のみ実施	4. 平日のみ実施(土日祝祭日は実施していない)
2. 土日も実施	5. その他( )
3. 土日祝祭日すべての実施	

問2-10. 病児保育はありますか？

1. あり(定員 名)	2. なし
-------------	-------

問2-11. 一時(緊急時)保育はありますか？

1. あり(定員 名)	2. なし
-------------	-------

【すべての方にお伺いします。】

問2-12. 代替医師制度はありますか？

1. ある	2. ない	3. 分からない
-------	-------	----------

問2-13. 職場環境は子育てに協力的ですか？

1. はい	2. いいえ	3. どちらとも言えない
-------	--------	--------------

問2-14. 妊娠・育児中に、勤務時間の軽減は必要だと思いますか？

1. 思う	2. 思わない	3. どちらとも言えない
-------	---------	--------------

問2-15. 仕事を続ける上で、必要と思う制度や仕組み・支援対策はどのようなことですか？(複数回答可)

1. 人員(医師)の増員
13. 保育施設やベビーシッターの斡旋
2. 専業主治医制度の導入など主治医制の見直し
14. 保育施設利用の際の保育料の助成
3. 二交代制の勤務体制
15. ベビーシッター利用の際の費用補助
4. 代替医師の配置(代診医師派遣制度の導入)
16. 放課後における学童施設充実
5. 宿直・日直の免除
17. 男性の家事・育児などへの参加
6. 時間外勤務の免除
18. 在宅研修制度
7. 短時間正社員制度の導入・拡充
19. 出産・育児休業取得者への職場復帰支援
8. フレックス制度導入
20. 国の事業所への補助金制度整備・拡充
9. 働きやすい部門への配置転換
21. 診療報酬引き上げ、医療費の増額
10. 託児所・保育園などの整備・拡充
22. その他
11. 事業所内託児施設
- (具体的に: )
12. 病児保育

問3-1. お宅主に「食事調理」を担当している人はどなたですか？(複数回答可)

1. 自分
2. 配偶者
3. 親
4. 兄弟・親戚
5. 子ども
6. その他( )

問3-2. お宅主に「食事の後片づけ」を担当している人はどなたですか？(複数回答可)

1. 自分
2. 配偶者
3. 親
4. 兄弟・親戚
5. 子ども
6. その他( )

問3-3. お宅主に「掃除」を担当している人はどなたですか？(複数回答可)

1. 自分
2. 配偶者
3. 親
4. 兄弟・親戚
5. 子ども
6. その他( )

問3-4. お宅主に「洗濯」を担当している人はどなたですか？(複数回答可)

1. 自分
2. 配偶者
3. 親
4. 兄弟・親戚
5. 子ども
6. その他( )

問3-5. 配偶者のいる(いた)方へお聞きします。配偶者の家事・育児への協力は十分ですか(でしたか)？

1. 十分、おおむね十分
2. 不十分、どちらかというと不十分
3. まったく協力しない

【すべての方にお伺いします。】

問4-1. 出産経験はありますか？

1. はい
  2. いいえ
- (10ページ 問5-1へ)

問4-2. 産前・産後休暇(産前6週間産後8週間)を取得しましたか？

1. した
2. しなかった

問4-3. 取得した方の取得状況についてお伺いします。

1. 完全に取得した
2. 一部取得した

問4-4. 産前・産後休業中の身分保障はありましたか？

1. ある
2. ない
3. 分からない

問4-5. 産前・産後休業中に給与は支給されましたか？

1. はい
2. いいえ

問4-6. 取得しなかった方は、その理由をお答えください。(複数回答可)

1. 職場で取得づらい雰囲気があるため
5. 収入がなくなる(少なくなる)ため
2. 代わりの医師がいないため
6. その他
3. 家族の協力があつたため
- (具体的に: )
4. 制度がなかったため

問4-7. 取得しなかった方は、勤務をどのようにされましたか？

1. 現在の職場を継続した
4. その他
2. 一時休職した
- (具体的に: )
3. 退職した

問4-8. 育児休業を取得しましたか？

1. はい
  2. いいえ
- (期間: ) (次ページ 問4-11へ)

問4-9. 育児休業中の身分保障はありましたか？

1. ある
2. ない
3. 分からない

問4-10. 育児休業中に給与は支給されましたか？

1. はい
  2. いいえ
- (次ページ 問4-13へ)

【育児休業を取得しなかつた方にお伺いします。】

問4-11. 取得しなかつた方は、その理由をお答えください。(複数回答可)

1. 職場で取得しづらい雰囲気があるため
2. 代わりの医師がいらないため
3. 家族の協力があつたため
4. 制度がなかつたため
5. 収入がなくなる(少なくなる)ため
6. その他  
(具体的に: )

問4-12. 取得しなかつた方は、勤務をどのようにされましたか？

1. 現在の職場を継続した
2. 一時的に退職した
3. 退職した
4. その他  
(具体的に: )

【すべての出産経験がある方にお伺いします。】

問4-13. 普段、お子さんは、どなたが面倒を見ていますか(見ていますか)(見えていませんか)(複数回答可)

1. 自分
2. 配偶者
3. 親・親族
4. 友人・知人
5. ベビーシッター
6. お手伝いさん
7. 保育所又は託児所  
(具体的に: )
9. 学校
10. その他  
(具体的に: )

問4-14. 保育施設をご利用の方は次のうちのどの施設を利用していますか？(複数回答可)

1. 認可保育所
2. 自治体独自の認可保育所
3. 無認可保育施設
4. 院内保育所
5. その他  
(具体的に: )

問4-15. 院内保育所を利用したことがありますか？

1. ある
  2. 職場に院内保育所はある(あつた)が  
利用したことはない
  3. 職場に院内保育所は  
ない(なかつた)
- (問4-17へ)

問4-16. 院内保育所があるのに院内保育所を利用しない(しなかつた)理由について教えてください。(複数回答可)

1. 定員枠が少ない
2. 保育時間と勤務時間が合わない
3. 施設までの送迎の負担が大きい
4. 施設環境などのニーズに合わない(屋内スペースや園庭が狭いなど)
5. 保育プログラムがニーズに合わない
6. 利用制限がある(具体的に: )
7. その他(具体的に: )

問4-17. 病気や予定外の保育が必要な時はどうなっていますか(どうなさいましたか)？(複数回答可)

1. 預ける  
ア. 配偶者  
イ. 親・親族  
ウ. 友人・知人  
エ. ベビーシッター  
オ. その他  
(具体的に: )
2. 欠勤
3. その他(具体的に: )

問4-18. 緊急呼び出しの時はどうなっていますか(どうなさいましたか)？(複数回答可)

1. 預ける  
ア. 配偶者  
イ. 親・親族  
ウ. 友人・知人  
エ. ベビーシッター  
オ. その他  
(具体的に: )
2. 行けないので他の医師に依頼する
3. 断る
4. その他(具体的に: )

問4-19. 学会、出張、日直、当直の時は誰がお子さんをみてくれますか(みてくれましたか)？(複数回答可)

1. 配偶者
2. 親・親族
3. 友人・知人
4. 保育園・託児所
5. ベビーシッター
6. その他(具体的に: )

問4-20. 学童保育を利用していますか？

1. 利用している
2. 利用していない

問4-21. 施設や学校の行事への参加はしましたか？

- (1) あなたご自身は参加しましたか？  
1. いつも・ほとんど参加
- (2) 配偶者の方は参加しましたか？  
1. いつも・ほとんど参加
- (3) 親(祖父母)は参加しましたか？  
1. いつも・ほとんど参加
2. ときどき参加
3. 不参加・欠席

問4-22. 子育て中の働き方はどうされましたか(していますか)？(複数回答可)

1. 変化なし(通常勤務)
2. 休職・辞職
3. 研究生・見学生・大学院
4. 時間短縮勤務  
(1日 ) 時間勤務
5. 日数減  
(週 ) 日勤務
6. 業務内容軽減(例: 当直免除)
7. その他  
( )

問4-23. 子育て中にあなたが希望した(する)働き方はどのようなものでしたか(ですか)？(複数回答可)

1. 変化なし(通常勤務)
2. 休職・辞職
3. 研究生・見学生・大学院
4. 時間短縮勤務  
(1日 ) 時間勤務
5. 日数減  
(週 ) 日勤務
6. 業務内容軽減(例: 当直免除)
7. その他  
( )

【すべての方にお伺いします。】

問5-1. 介護経験はありますか？

1. はい	2. いいえ
-------	--------

→ (問5-6へ)

問5-2. 身の回りの世話(介護)は主に誰がされています(されていませんか)？

1. 主に自分	2. 自分以外の身内	3. それ以外の他人、施設など
---------	------------	-----------------

問5-3. 介護の際、休暇を取得したことがありますか？

1. 取得した	2. 取得しなかった
---------	------------

問5-4. 介護休業中の身分保障はありますか(ありましたか)？

1. ある	2. ない	3. 分からない
-------	-------	----------

問5-5. 介護休業中に給与は支給されましたか？

1. はい	2. いいえ
-------	--------

【すべての方にお伺いします。】

問5-6. 仕事と介護の両立を図る支援対策は？(複数回答可)

1. 老人保健施設・特別養護老人ホームなど 介護施設の増設・増床	8. 短時間正社員制度の導入・拡充
2. 人員(医師)の増員	9. フレックス制度導入
3. 複数主治医制度の導入など主治医制の 見直し	10. 働きやすい部門への配置転換
4. 交代制の勤務体制	11. 介護休暇取得者の職場復帰支援
5. 代替医師の配置(代診医師派遣制度の 導入)	12. 家政婦など利用者に対する費用の助成
6. 宿直・日直の免除	13. 在宅研修制度
7. 時間外勤務の免除	14. 介護報酬の引き上げ、社会保障費の増額
	15. その他 (具体的に: )

【すべての方にお伺いします。】

問6-1. 日本医師会女性医師バンクを知っていますか？

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問6-2. 日本医師会女性医師バンクは求職、求人も手数料無料であることを知っていますか？

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問6-3. 日本医師会女性医師バンクに登録していますか？

1. している	2. していない
---------	----------

→ (次ページへ)

問6-4. 問6-3で「2. していない」と回答した方は、状況に応じて日本医師会女性医師バンクに登録することを考えられますか？

1. はい	2. いいえ
-------	--------

→ (次ページへ)

問6-5. 問6-4で「2. いいえ」と回答した方は、その理由をお答えください。

( )

→ 次ページへお進みください。



■ 最後に、どんなことでも結構ですので、ご提案・ご意見があれば、ご記入ください。

## 「女性医師の勤務環境の現況に関する調査」 要綱

日本医師会女性医師支援センター

1. 調査目的  
今後の女性医師支援策をより実効あるものとするため、病院に勤務する女性医師の勤務環境の現況を詳細かつ正確に把握し、検討のための基礎資料とします。
2. 調査対象：国内の全病院（約 8,500 施設）に勤務する女性医師（約 42,000 人）
3. 調査実施時期：平成 29 年 2 月下旬～平成 29 年 3 月
4. 調査方法  
全国の病院に依頼し、病院に勤務する女性医師に調査票を配布していただきます。調査票にご回答いただき、返信用封筒で「9. 送付先」まで返送していただきます。
5. 調査内容  
平成 20 年度に調査を実施した際の調査項目をベースにした調査票による、女性医師の勤務環境の現況調査
6. 締め切り  
平成 29 年 3 月 31 日（金） ※返信用封筒を調査票と共に配布します。
7. 調査の担当  
日本医師会女性医師支援センターが一般社団法人中央調査社に委託し、お問合せへの対応から集計までを担当します。分析は一般社団法人中央調査社の協力を受け、日本医師会が担当します。
8. 秘密保持について  
お送りいただいた情報は、統計的に処理し、個別のデータを公表することは一切ございません。
9. 送付先  
〒104-8790 東京都中央区銀座6-16-12  
一般社団法人中央調査社管理部 気付 日本医師会女性医師支援センター

\*ご協力、ありがとうございます。  
アンケートの回答は個人を特定できない形で集計し、統計資料を作成する目的以外には使用いたしません。また、自由記載についても同様と統計資料を作成する目的以外には使用せず、秘密厳守といたします。

ii. 各項目集計結果および前回調査との比較

1. 各項目集計結果

各調査項目について、以下の通り集計した。なお、表中の「総数」「該当者」は各設問の回答者数を示しており、特に断りのない限り、無回答を除いた数値となっている。

1-1. 回答者の属性

【年齢】

	回答件数	%
29歳以下	1,342	13.1
30～39歳	4,349	42.5
40～49歳	2,936	28.7
50～59歳	1,221	11.9
60歳以上	387	3.8
総数	10,235	100.0

(無回答を除く／「60歳以上」は選択肢「60～69歳」と「70歳以上」の小計)

【卒業後年数】

	回答件数	%
研修医	678	6.6
5年未満	623	6.1
5～10年未満	2,481	24.3
10～15年未満	2,115	20.7
15～20年未満	1,726	16.9
20～25年未満	1,232	12.1
25年以上	1,367	13.4
総数	10,222	100.0

(無回答を除く)

【結婚】

	回答件数	%
未婚	3,213	31.5
既婚	6,354	62.2
離婚	593	5.8
死別	54	0.5
総数	10,214	100.0

(無回答を除く)

【配偶者の職業】

	回答件数	%
医師	4,510	64.8
医師以外	2,448	35.2
該当者	6,958	100.0

(無回答を除く)

【同居している家族(同居家族構成)】

(複数回答)

	回答件数	%
配偶者・パートナー	5,934	82.2
親(義理を含む)	1,052	14.6
同居人(兄弟・姉妹を含む)	292	4.0
子ども	4,731	65.6
総数	7,216	100.0

(無回答および「同居人はいない」を除く)

【同居している子どもの年齢区分】

(複数回答)

	回答件数	%
0歳児	408	8.6
未就学児	2,767	58.5
小学生	1,698	35.9
中学生以上	1,276	27.0
該当者	4,729	100.0

(無回答を除く／Ⅱ章「結果」では分析のため、末子の年齢区分で集計したが、ここでは複数回答項目として集計した。)

【同居している子どもの人数】

(複数回答)

	回答件数	%
1人	2,112	44.7
2人	1,921	40.6
3人	609	12.9
4人	70	1.5
5人以上	14	0.3
該当者	4,726	100.0

(無回答を除く)

【現在の専門科目】

(複数回答)

	回答件数	%
内科	3,083	30.5
小児科	1,060	10.5
産婦人科	910	9.0
麻酔科	753	7.5
精神科	571	5.7
皮膚科	507	5.0
外科	495	4.9
眼科	415	4.1
整形外科	381	3.8
放射線科	348	3.4
耳鼻咽喉科	293	2.9
泌尿器科	136	1.3
救急	119	1.2
脳神経外科	104	1.0
その他	1,141	11.3
総数	10,098	100.0

(無回答を除く／Ⅱ章「結果」では分析のため再分類をしたが、ここでは調査票の回答どおりの集計結果を載せた。)

【現在の専門科目】

「その他」の具体的な回答内容

回答件数	内容	回答件数	内容
267	臨床研修医	5	血液内科
146	リハビリテーション科	5	腫瘍内科
144	病理診断科	5	公衆衛生
70	健診科、人間ドック	4	呼吸器内科
69	神経内科	4	糖尿病内科、代謝内科
59	緩和ケア	4	感染症内科
29	乳腺外科	4	予防医学
27	心臓血管外科	3	肛門外科
23	小児外科	3	医学教育
21	循環器内科	3	産業保健
19	臨床検査科	3	遺伝子
19	産業医	3	漢方、和漢診療科
18	口腔外科	3	老年科
18	集中治療、ICU	2	アレルギー科
16	心療内科	2	脳卒中
16	総合診療科	2	解剖学
13	腎臓内科、透析科	2	法医学
12	家庭医療	2	超音波診断
11	呼吸器外科	2	在宅医療
10	新生児科	1	消化器外科、胃腸外科
9	リウマチ科、膠原病科	7	なし・未定
8	消化器内科、胃腸内科	25	その他
8	ペインクリニック		

【専門科目の変更経験の有無】

	回答件数	%
はい	926	9.3
いいえ	9,068	90.7
総数	9,994	100.0

(無回答を除く)

【専門科目を変更した理由】

(自由回答)

回答件数	内容
301	自身の希望・関心・興味
187	働きやすさを考えて、多忙だから、継続困難だから、本人の治療のため
158	医局や勤務先の事情で、ニーズに合わせて
152	妊娠、出産、育児
49	家庭
46	結婚
37	適性を考えて
9	ハラスメントやいじめ
7	介護
58	その他

1-2. 女性医師の勤務実態

【勤務先の所在地域】

	回答件数	%
北海道	418	4.0
東北	632	6.1
関東	1,928	18.6
甲信越	389	3.8
東京	1,603	15.5
北陸	277	2.7
東海	1,055	10.2
近畿	1,701	16.4
中国	670	6.5
四国	421	4.1
九州	1,264	12.2
総数	10,358	100.0

(地域不明を除く)

問1-1. 勤務先の開設主体

	回答件数	%
国	1,940	19.1
公的医療機関	3,503	34.5
社会保険関係団体	62	0.6
公益法人	231	2.3
医療法人	1,700	16.7
学校法人	1,420	14.0
社会福祉法人	351	3.5
医療生協	103	1.0
会社	154	1.5
その他の法人	409	4.0
個人	290	2.9
総数	10,163	100.0

(無回答を除く)

問1-1. 勤務先の開設主体(「国」の内訳)

	回答件数	%
国立大学法人	1,320	68.6
国立大学以外の法人	603	31.4
該当者	1,923	100.0

(無回答を除く)

問1-1. 勤務先の開設主体

(「公的医療機関」の内訳)

	回答件数	%
公立大学法人	395	11.3
都道府県	748	21.4
市町村	1,110	31.8
日赤・済生会	520	14.9
厚生連	277	7.9
その他の公的医療機関	441	12.6
該当者	3,491	100.0

(無回答を除く)

問1-2. 勤務先での役職

	回答件数	%
院長	56	0.5
副院長	160	1.6
部長	942	9.2
科長	252	2.5
医長	1,584	15.4
医員	5,021	49.0
研修医	893	8.7
その他	1,348	13.1
総数	10,256	100.0

(無回答を除く)

問1-2. 勤務先での役職

「その他」の具体的な回答内容

回答件数	内容	回答件数	内容
310	助教	18	助手
221	非常勤	17	研究員、フェロー
122	副部長	16	施設長、センター長
114	講師	14	教員
110	レジデント、後期研修医	11	役職なし
92	大学院生、大学生	10	スタッフ、アシスタント
54	准教授	9	主任医長、病棟医長
34	副医長	7	副科長
27	パート、アルバイト	6	医局長
22	嘱託医	6	副センター長
21	役員、理事、顧問	1	副医局長
20	教授	61	その他



問1-3. 勤務先の病床規模(総病床数)

	回答件数	%
100床未満	508	5.4
100~299床	1,971	21.1
300~499床	2,344	25.1
500~699床	2,002	21.4
700~899床	1,195	12.8
900床以上	1,337	14.3
総数	9,357	100.0

(無回答を除く/Ⅱ章「結果」での集計とは、区切りが異なっている。)

問1-4. 勤務先での

救急告示の有無

	回答件数	%
はい	8,428	83.3
いいえ	1,693	16.7
総数	10,121	100.0

(無回答を除く)

問1-5. 勤務形態

	回答件数	%
常勤	8,333	80.9
非常勤(嘱託・パート・その他)	1,642	15.9
短時間正職員	331	3.2
総数	10,306	100.0

(無回答を除く/Ⅱ章「結果」では分析のため再分類したが、ここでは調査票の回答どおりの集計結果を載せた。)

問1-6. 勤務形態が常勤以外の理由

(複数回答)

	回答件数	%
育児	883	46.4
雇用条件	552	29.0
家庭	407	21.4
介護	66	3.5
その他	474	24.9
該当者	1,901	100.0

(無回答を除く/Ⅱ章「結果」では分析のため再分類したが、ここでは調査票の回答どおりの集計結果を載せた。)

問1-6. 勤務形態が常勤以外の理由

「その他」の具体的な回答内容

回答件数	内容
128	大学院生だから、研究を主としているから
98	研修医・後期研修医だから
62	医局・勤務先の都合(枠がないなど)
61	働きやすさを考えて、多忙だから、継続困難だから、本人の治療のため
50	他院・他職種でも勤務しているため
27	年齢のため、定年後再雇用のため
13	家庭の事情で
9	不妊治療のため
3	ない、わからない
16	その他

問1-7. 将来希望する勤務形態

	回答件数	%
常勤	883	48.8
非常勤(嘱託・パート・その他)	535	29.6
短時間正職員	356	19.7
仕事をしない	36	2.0
該当者	1,810	100.0

(無回答を除く)

問1-7. 将来その勤務形態を希望する理由

(自由回答)

常勤希望者の希望理由

回答件数	内容
78	給与・ボーナスの面でよいから
61	福利厚生・退職金・有給休暇・産休・育休の面でよいから
49	もっと働きたいから、子育てが落ち着けば時間ができるから
45	やりがいのある仕事ができるから、スキルアップやキャリアアップのため
31	雇用・仕事内容・生活が安定するから
21	現在も常勤並みに働いているから
30	その他

非常勤希望者の希望理由

回答件数	内容
55	働きやすさを考えて、本人の治療のため、時間の融通がきくから
44	妊娠・出産・育児のため
32	家庭のため
22	現状に満足しているから
12	他院でも勤務しているため
9	年齢のため
7	介護のため
18	その他

短時間正職員希望者の希望理由

回答件数	内容
42	妊娠・出産・育児のため
17	家庭のため
15	働きやすさを考えて、本人の治療のため・時間の融通がきくから
9	福利厚生でよいから
5	介護のため
5	給与・ボーナスの面でよいから
4	雇用・仕事内容・生活が安定するから
2	現状に満足しているから
8	その他

問1-8. 勤務年数

	回答件数	%
5年未満	5,847	57.3
5～9年	2,134	20.9
10～14年	1,198	11.7
15～19年	513	5.0
20年以上	517	5.0
総数	10,209	100.0

(無回答を除く)

問1-9. 一週間の契約勤務時間

	回答件数	%
10時間以下	692	7.4
11～30時間	1,108	11.9
31～40時間	5,487	58.7
41～50時間	1,795	19.2
51～70時間	242	2.6
71～90時間	15	0.2
91時間以上	7	0.1
総数	9,346	100.0

(無回答を除く)

問1-10. 一週間の実勤務時間

	回答件数	%
10時間以下	491	5.0
11～30時間	1,110	11.3
31～40時間	2,049	20.9
41～50時間	2,828	28.9
51～70時間	2,726	27.8
71～90時間	486	5.0
91時間以上	102	1.0
総数	9,792	100.0

(無回答を除く／Ⅱ章「結果」での集計とは、区切りが異なっている。)

問1-11. 勤務状況

	回答件数	%
日勤のみ	3,879	37.7
日勤と時間外勤務(宿直、日直、オンコール)	6,420	62.3
総数	10,299	100.0

(無回答を除く)

問1-12. 1カ月の宿直回数

	回答件数	%
なし	5,130	50.4
1～2回	1,960	19.3
3～4回	1,897	18.6
5～6回	812	8.0
7回以上	381	3.7
総数	10,180	100.0

(無回答を除く／「なし」には問1-11で「日勤のみ」と回答した人を含めており、「7回以上」は選択肢「7～9回」と「10回以上」の小計)

問1-13. 宿直翌日の勤務状況

	回答件数	%
翌日は半日休める	754	15.0
翌日は休める	213	4.2
特に忙しかった当直のみ仮眠できる	60	1.2
翌日は通常勤務している	3,802	75.8
その他	190	3.8
該当者	5,019	100.0

(無回答を除く)

問1-14. 1カ月の日直回数

	回答件数	%
なし	5,147	51.4
1～2回	4,197	41.9
3～4回	470	4.7
5回以上	209	2.1
総数	10,023	100.0

(無回答を除く／「なし」には問1-11で「日勤のみ」と回答した人を含めており、「5回以上」は選択肢「5～6回」、「7～9回」、「10回以上」の小計)

問1-15. 1か月の休日数

	回答件数	%
4週4休	1,393	13.6
4週5休	460	4.5
4週6休	1,623	15.8
4週7休	396	3.9
4週8休(週休2日制)	4,930	48.0
その他	1,459	14.2
総数	10,261	100.0

(無回答を除く)

問1-15. 1か月の休日数

「その他」の具体的な回答内容

回答件数	内容
106	休日はない・ほとんどない
63	休日はあるが当直・オンコール・回診などでつぶれることがある
320	4週1~3休
48	4週4~8休(小数点の回答や複数箇所勤務の合計など)
492	4週9~12休
177	4週13~16休
54	4週17~20休
23	4週21~24休
74	不定期、決まっていない
15	非常勤・パートのため休日はない
19	その他

問1-16. 月休の消化状況

	回答件数	%
完全消化	2,914	28.6
ほぼ消化	2,657	26.1
時々返上	3,254	32.0
ほとんど返上	1,022	10.0
その他	331	3.3
総数	10,178	100.0

(無回答を除く)

問1-17(ア). 年次有給休暇  
付与日数

	回答件数	%
0日	943	12.7
1~4日	223	3.0
5~9日	663	8.9
10~19日	2,252	30.3
20~29日	2,651	35.7
30~39日	187	2.5
40日以上	506	6.8
総数	7,425	100.0

(無回答を除く)

問1-17(イ). 年次有給休暇  
年間消化日数

	回答件数	%
0日	1,859	21.4
1~4日	1,897	21.8
5~9日	2,818	32.4
10~19日	1,912	22.0
20~29日	201	2.3
30~39日	10	0.1
40日以上	7	0.1
総数	8,704	100.0

(無回答を除く/II章「結果」での集計とは、区切りが異なっている。)

問1-18. 休職離職経験の有無

	回答件数	%
はい	5,086	49.3
いいえ	5,236	50.7
総数	10,322	100.0

(無回答を除く)

問1-19. 休職・離職の理由

(複数回答)

	回答件数	%
出産	3,905	77.0
子育て	2,411	47.6
自分の病気療養	776	15.3
夫の転勤に伴う	512	10.1
留学	447	8.8
家族の病気や介護	193	3.8
家事	57	1.1
その他	238	4.7
該当者	5,070	100.0

(無回答を除く)

問1-20. 休職・離職の期間

	回答件数	%
1カ月未満	140	2.8
1~6カ月未満	1,209	24.0
6カ月~1年未満	1,744	34.6
1年~2年未満	943	18.7
2年~3年未満	572	11.3
3年以上	437	8.7
該当者	5,045	100.0

(無回答を除く)

### 1-3. 女性医師の職場環境

#### 問2-1. 女性医師としての悩み

(複数回答)

	回答件数	%
家事と仕事の両立	6,501	68.3
勉強する時間が少ない	4,290	45.1
プライベートな時間がない	3,936	41.3
男性主導社会	1,931	20.3
当直室・更衣室・休憩室などの施設環境の不備	1,754	18.4
配偶者の非協力・無理解	888	9.3
セクハラ	559	5.9
配偶者の家族の無理解	307	3.2
その他	1,098	11.5
総数	9,522	100.0

(無回答を除く)

#### 問2-1. 女性医師としての悩み

「その他」の具体的な回答内容

回答件数	内容
203	悩みはない、女性としての悩みはない
191	業務量・勤務形態・評価・給与に関して
163	育児と仕事の両立について
153	職場の理解・同僚や人間関係に関して
137	キャリア形成・スキルアップに関して
113	ハラスメント・いやがらせ・女性蔑視
112	出産・妊活・不妊治療に関して
108	健康面・体力面に関して
59	結婚について
41	介護と仕事の両立について
24	患者に関して
20	家庭や家族に関して
2	その他

#### 問2-2. 同性医師

に対する不満

	回答件数	%
ある	2,476	24.4
ない	7,668	75.6
総数	10,144	100.0

(無回答を除く)

#### 問2-2. 同性の医師に対して不満を感じるがあると答えた理由

(自由回答)

回答件数	内容
754	業務の分担・時間・待遇などが不公平
513	助け合わない、勤務態度が不適切
303	短時間勤務や育児・介護との両立への非協力・無理解
211	権利や主張ばかり、周囲への感謝や気遣いが無い
115	常勤やフルタイムに復帰しない、辞める
91	ハラスメント、いやがらせ、高圧的
35	価値観や意見が合わない
34	産休や育休の長さや取り方
59	個人の問題で性別とは関係がない
99	その他

#### 問2-3. 男性医師

に対する不満

	回答件数	%
ある	2,946	29.3
ない	7,117	70.7
総数	10,063	100.0

(無回答を除く)

#### 問2-3. 男性の医師に対して不満を感じるがあると答えた理由

(自由回答)

回答件数	内容
1,036	女性全般への無理解、短時間勤務への非協力・無理解
539	ハラスメント、女性蔑視、男性中心的、高圧的
319	業務の分担・待遇・評価などが不公平
230	やる気がない、勤務態度が不適切
177	家事をせずに仕事中心、家事などを女性の役割と思っている
127	長時間労働・時間外勤務・休日出勤が習慣化している
80	個人の問題で性別とは関係がない
62	その他

#### 問2-4. 女性医師の仕事と家庭生活を

両立させるための就労環境や

規則の整備状況

	回答件数	%
整備されている	5,355	52.2
整備されていない	2,283	22.3
分からない	2,620	25.5
総数	10,258	100.0

(無回答を除く)

#### 問2-5. 女性医師の仕事と家庭生活を両立させるための

就労環境や規則として整備されている内容

(複数回答)

	回答件数	%
勤務時間の短縮、残業、当直等の免除	4,462	84.2
事業所内託児施設	3,204	60.5
X線被曝の回避	1,284	24.2
休暇の際には代診医師を確保	1,270	24.0
法定外の産前・産後の休暇	641	12.1
法定外の育児休業	494	9.3
さまざまな規則が定められている	303	5.7
給与面で優遇(託児施設など費用手当等の支給)	290	5.5
その他	342	6.5
該当者	5,298	100.0

(無回答を除く)

問2-6. 職場における

保育所・託児所の有無

	回答件数	%
ある	7,122	70.1
ない	3,033	29.9
総数	10,155	100.0

(無回答を除く)

問2-7. 平日保育時間帯(開始時間)

	回答件数	%
午前7時より前	20	0.6
午前7時00分～29分	515	15.4
午前7時30分～59分	1,012	30.2
午前8時00分～29分	1,017	30.3
午前8時30分～59分	361	10.8
午前9時以降	151	4.5
24時間保育	278	8.3
該当者	3,354	100.0

(無回答を除く)

問2-7. 平日保育時間帯(終了時間)

	回答件数	%
午後5時より前	105	3.2
午後5時00分～29分	269	8.1
午後5時30分～59分	259	7.8
午後6時00分～29分	765	23.1
午後6時30分～59分	340	10.3
午後7時00分～29分	609	18.4
午後7時30分～59分	109	3.3
午後8時00分～29分	351	10.6
午後8時30分～59分	22	0.7
午後9時以降	205	6.2
24時間保育	278	8.4
該当者	3,312	100.0

(無回答を除く)

問2-8. 職場の保育所・託児所の24時間対応の有無

	回答件数	%
あり	1,757	37.2
なし	2,961	62.8
該当者	4,718	100.0

(無回答を除く)

問2-9. 土日祝祭日の保育実施状況

	回答件数	%
土曜日のみ実施	1,500	38.0
土日も実施	327	8.3
土日祝祭日すべての実施	693	17.5
平日のみ実施(土日祝祭日は実施していない)	1,075	27.2
その他	354	9.0
該当者	3,949	100.0

(無回答を除く)

問2-9. 土日祝祭日の保育実施状況

「その他」の具体的な回答内容

回答件数	内容
161	毎週ではないが土日祝祭日にも実施
54	病院開院日に合わせて土日祝祭日にも実施
36	申込・必要に応じて土日祝祭日にも実施
21	土・祝日のみ実施(日曜のみ休み)
8	日曜のみ実施
8	年末年始以外すべて実施
40	わからない・知らない
21	その他

問2-10. 病児保育の有無

	回答件数	%
あり	1,898	41.8
なし	2,640	58.2
該当者	4,538	100.0

(無回答を除く)

問2-10. 病児保育の定員

	回答件数	%
5名未満	728	73.2
5～9名	221	22.2
10名以上	46	4.6
該当者	995	100.0

(無回答を除く)

問2-11. 一時[緊急時]保育の有無

	回答件数	%
あり	1,445	35.2
なし	2,661	64.8
該当者	4,106	100.0

(無回答を除く)

問2-11. 一時[緊急時]保育の定員

	回答件数	%
5名未満	84	44.9
5～9名	30	16.0
10名以上	73	39.0
該当者	187	100.0

(無回答を除く)

## 問2-12. 代替医師制度の有無

	回答件数	%
ある	1,035	10.1
ない	5,892	57.4
分からない	3,331	32.5
総数	10,258	100.0

(無回答を除く)

## 問2-13. 職場環境は子育てに協力的か

	回答件数	%
はい	5,254	51.4
いいえ	1,052	10.3
どちらとも言えない	3,919	38.3
総数	10,225	100.0

(無回答を除く)

問2-14. 妊娠・育児中における  
勤務時間軽減の必要性

	回答件数	%
思う	8,766	85.3
思わない	129	1.3
どちらとも言えない	1,381	13.4
総数	10,276	100.0

(無回答を除く)

## 問2-15. 仕事を続ける上で必要な制度や仕組み・支援対策

(複数回答)

	回答件数	%
病児保育	6,553	65.1
託児所・保育園などの整備・拡充	6,150	61.1
宿直・日直の免除	6,043	60.0
人員(医師)の増員	6,033	59.9
時間外勤務の免除	5,176	51.4
男性の家事・育児などへの参加	4,949	49.2
複数主治医制度の導入など主治医制の見直し	4,701	46.7
放課後における学童施設充実	4,468	44.4
フレックス制度導入	4,029	40.0
事業所内託児施設	3,950	39.2
短時間正社員制度の導入・拡充	3,743	37.2
保育施設やベビーシッターの斡旋	3,641	36.2
出産・育児休業取得者への職場復帰支援	3,474	34.5
代替医師の配置(代診医師派遣制度の導入)	3,164	31.4
ベビーシッター利用の際の費用補助	2,877	28.6
保育施設利用の際の保育料の助成	2,639	26.2
働きやすい部門への配置転換	1,543	15.3
二交代制の勤務体制	1,356	13.5
診療報酬引き上げ、医療費の増額	1,123	11.2
在宅研修制度	1,084	10.8
国の事業所への補助金制度整備・拡充	1,068	10.6
その他	451	4.5
総数	10,069	100.0

(無回答を除く)

## 1-4. 自宅での家事担当者

### 問3-1. 自宅での「食事調理」担当

(複数回答)

	回答者全体の集計		配偶者・パートナー と同居している人 のみの集計*	
	回答件数	%	回答件数	%
自分	9,184	89.5	5,361	90.8
配偶者	1,389	13.5	1,312	22.2
親	1,186	11.6	479	8.1
兄弟・親戚	70	0.7	13	0.2
子ども	66	0.6	43	0.7
その他	251	2.4	179	3.0
総数	10,265	100.0	5,902	100.0

(無回答を除く)

※同居している家族の設問で配偶者・パートナーを選択した人のみに絞って集計した。

### 問3-2. 自宅での「食事の後片づけ」担当

(複数回答)

	回答者全体の集計		配偶者・パートナー と同居している人 のみの集計*	
	回答件数	%	回答件数	%
自分	8,868	86.4	4,919	83.4
配偶者	2,743	26.7	2,582	43.8
親	879	8.6	294	5.0
兄弟・親戚	78	0.8	9	0.2
子ども	181	1.8	129	2.2
その他	134	1.3	81	1.4
総数	10,260	100.0	5,899	100.0

(無回答を除く)

※同居している家族の設問で配偶者・パートナーを選択した人のみに絞って集計した。

### 問3-3. 自宅での「掃除」担当

(複数回答)

	回答者全体の集計		配偶者・パートナー と同居している人 のみの集計*	
	回答件数	%	回答件数	%
自分	9,079	88.5	5,147	87.3
配偶者	2,074	20.2	1,968	33.4
親	833	8.1	259	4.4
兄弟・親戚	69	0.7	7	0.1
子ども	95	0.9	59	1.0
その他	502	4.9	380	6.4
総数	10,261	100.0	5,898	100.0

(無回答を除く)

※同居している家族の設問で配偶者・パートナーを選択した人のみに絞って集計した。

### 問3-4. 自宅での「洗濯」担当

(複数回答)

	回答者全体の集計		配偶者・パートナー と同居している人 のみの集計*	
	回答件数	%	回答件数	%
自分	9,039	88.1	5,142	87.2
配偶者	2,419	23.6	2,296	38.9
親	841	8.2	239	4.1
兄弟・親戚	68	0.7	5	0.1
子ども	124	1.2	82	1.4
その他	200	1.9	139	2.4
総数	10,262	100.0	5,899	100.0

(無回答を除く)

※同居している家族の設問で配偶者・パートナーを選択した人のみに絞って集計した。

### 問3-5. 配偶者の家事・育児への協力度

	回答件数	%
十分・おおむね十分	3,649	53.6
不十分、どちらかというと不十分	2,490	36.5
まったく協力しない	674	9.9
総数	6,813	100.0

(無回答を除く)

## 1-5. 出産・育児中の働き方

問4-1. 出産経験の有無

	回答件数	%
はい	5,289	51.1
いいえ	5,054	48.9
総数	10,343	100.0

(無回答を除く)

問4-2. 産前・産後休暇取得の有無

	回答件数	%
した	4,514	86.1
しなかった	726	13.9
該当者	5,240	100.0

(無回答を除く)

問4-3. 産前・産後休暇取得状況

	回答件数	%
完全に取得した	3,490	77.7
一部取得した	1,002	22.3
該当者	4,492	100.0

(無回答を除く)

問4-4. 産前・産後休暇中の身分保障

	回答件数	%
ある	3,341	74.7
ない	814	18.2
分からない	318	7.1
該当者	4,473	100.0

(無回答を除く)

問4-5. 産前・産後休暇中の給与支給

	回答件数	%
はい	2,959	66.8
いいえ	1,473	33.2
該当者	4,432	100.0

(無回答を除く)

問4-6. 産前・産後休暇を取得しなかった理由

(複数回答)

	回答件数	%
制度がなかったため	207	30.7
代わりの医師がいないため	134	19.9
職場で取得しづらい雰囲気があるため	122	18.1
家族の協力があつたため	38	5.6
収入がなくなる(少なくなる)ため	23	3.4
その他	336	49.8
該当者	675	100.0

(無回答を除く)

問4-6. 産前・産後休暇を取得しなかった理由

「その他」の具体的な回答内容

回答件数	内容
86	学生・大学院生・研修医・留学中だったから
59	そのとき仕事をしていなかったから
43	退職したから(退職理由の記載がないもの)
40	勤務先や制度の都合で(勤務期間の条件に適合しないなど)
32	非常勤・パートだったから
31	体調不良などで現職復帰が難しく退職したから
24	転居したから、家族の都合に合わせて退職したから
16	キャリアのため、勤務を希望したから
20	その他

問4-7. 産前・産後休暇を取得しなかった医師の勤務状況

	回答件数	%
現在の職場を継続した	124	18.5
一時休職した	97	14.5
退職した	337	50.3
その他	112	16.7
該当者	670	100.0

(無回答を除く)

問4-7. 産前・産後休暇を取得しなかった医師の勤務状況

「その他」の具体的な回答内容

回答件数	内容
25	そのとき仕事をしていなかった、就職を延期した
19	短い期間の休暇を取った、制度外で欠勤した
16	学生・大学院生・留学中だった
13	非常勤で勤務した、勤務軽減をした
13	休学・欠席した
12	学業や研究を継続した
3	勤務を継続した
3	転職・異動した
8	その他



【問4-1で出産経験があると答えた5,289人に】

問4-8. 育児休業取得の有無

	回答件数	%
はい	3,083	59.1
いいえ	2,131	40.9
該当者	5,214	100.0

(無回答を除く)

問4-8. 育児休業の取得期間

(自由回答)

回答件数	内容
40	1ヵ月未満
431	1～2ヵ月
517	3～4ヵ月
659	5～6ヵ月
1,228	7～12ヵ月
105	13ヵ月～1年6ヵ月
21	1年7ヵ月～2年
29	2年を超える期間
8	わからない・いろいろ
24	その他

問4-9. 育児休業中の身分保障

	回答件数	%
ある	2,220	72.4
ない	615	20.0
分からない	233	7.6
該当者	3,068	100.0

(無回答を除く)

問4-10. 育児休業中の  
給与支給

	回答件数	%
はい	1,625	53.4
いいえ	1,417	46.6
該当者	3,042	100.0

(無回答を除く)

問4-11. 育児休業を取得しなかった理由

(複数回答)

	回答件数	%
制度がなかったため	719	35.5
代わりの医師がいないため	591	29.2
職場で取得しづらい雰囲気があるため	457	22.6
家族の協力があつたため	293	14.5
収入がなくなる(少なくなる)ため	220	10.9
その他	627	31.0
該当者	2,024	100.0

(無回答を除く)

問4-11. 育児休業を取得しなかった理由

「その他」の具体的な回答内容

回答件数	内容
188	勤務を希望したから(キャリアのため・患者のためなど)
113	勤務先や制度の都合で(勤務期間の条件に適合しないなど)
79	学生・大学院生・研修医・留学中だったから
65	そのとき仕事をしていなかったから
58	退職したから(退職理由の記載がないもの)
31	非常勤・パートだったから
30	勤務継続できる職場環境・育児環境だったから
29	転居したから、家族の都合に合わせて退職したから
12	体調不良などで現職復帰が難しく退職したから
6	保育園に入れなくなるから
37	その他

問4-12. 育児休業を取得しなかった  
医師の勤務状況

	回答件数	%
現在の職場を継続した	1,096	55.2
一時休職した	168	8.5
退職した	510	25.7
その他	212	10.7
該当者	1,986	100.0

(無回答を除く)

問4-12. 育児休業を取得しなかった医師の勤務状況

「その他」の具体的な回答内容

回答件数	内容
64	非常勤で勤務した、勤務軽減をした
44	転職・異動した
38	勤務を継続した
21	学生・大学院生・留学中だった
17	そのとき仕事をしていなかった、就職を延期した
10	学業や研究を継続した
8	休学・欠席した
1	制度外で欠勤した
16	その他

【問4-1で出産経験があると答えた5,289人に】

問4-13. 普段子どもの面倒を見ている人  
(複数回答)

	回答件数	%
自分	3,958	75.2
保育所又は託児所	3,445	65.5
親・親族	2,117	40.2
配偶者	2,002	38.0
学校	1,451	27.6
幼稚園	682	13.0
ベビーシッター	588	11.2
お手伝いさん	234	4.4
友人・知人	69	1.3
その他	282	5.4
該当者	5,262	100.0

(無回答を除く/Ⅱ章「結果」では分析のため再分類したが、ここでは調査票の回答どおりの集計結果を載せた。)

問4-14. 利用している保育施設  
(複数回答)

	回答件数	%
認可保育所	2,720	62.3
院内保育所	1,400	32.0
無認可保育施設	744	17.0
自治体独自の認可保育所	303	6.9
その他	185	4.2
該当者	4,369	100.0

(無回答を除く/Ⅱ章「結果」では分析のため再分類したが、ここでは調査票の回答どおりの集計結果を載せた。)

問4-15. 院内保育所利用経験の有無

	回答件数	%
ある	2,390	46.4
職場に院内保育所はある(あった)が利用したことはない	1,237	24.0
職場に院内保育所はない(なかった)	1,526	29.6
該当者	5,153	100.0

(無回答を除く)

問4-16. 院内保育所を利用しない理由

(複数回答)

	回答件数	%
施設までの送迎の負担が大きい	385	32.0
施設的环境などのニーズに合わない(屋内スペースや園庭が狭いなど)	331	27.5
定員枠が少ない	259	21.5
利用制限がある	183	15.2
保育プログラムがニーズに合わない	176	14.6
保育時間と勤務時間が合わない	168	14.0
その他	363	30.1
該当者	1,204	100.0

(無回答を除く/Ⅱ章「結果」では分析のため再分類したが、ここでは調査票の回答どおりの集計結果を載せた。)

問4-16. 院内保育所を利用しない理由  
「利用制限がある」の具体的な回答内容

回答件数	内容
83	職種による制限
49	子どもの年齢による制限
18	雇用形態による制限 (正規・常勤職員のみなど)
36	その他

問4-16. 院内保育所を利用しない理由  
「その他」の具体的な回答内容

回答件数	内容
94	他の施設に入所できたから、すでに預けていたから
53	勤務先が家から遠いから、家の近くで預けたほうが便利だから
42	家族が子どもを見ていたから
40	院内保育所がよくなかった(給食がない・料金が高等)
29	入所できなかったから(定員・親の職種など)
24	必要がなかったから
21	転勤・転職のときに退園しなければならないから
20	年齢制限があるから、きょうだいで入所できないから
8	勤務形態に合わないから(複数箇所勤務・勤務時間など)
39	その他

【問4-1で出産経験があると答えた5,289人に】

問4-17. 病気や予定外の保育が必要な時の対応

(複数回答)

	回答件数	%
預ける	4,719	90.6
欠勤	2,164	41.5
その他	163	3.1
該当者	5,211	100.0

(無回答を除く/Ⅱ章「結果」では分析のため再分類したが、ここでは調査票の回答どおりの集計結果を載せた。)

問4-17. 病気や予定外の保育が必要な時の預け先

(複数回答)

	回答件数	%
親・親族	3,624	77.0
配偶者	1,270	27.0
ベビーシッター	934	19.8
友人・知人	145	3.1
その他	1,014	21.5
該当者	4,709	100.0

(無回答を除く)

問4-17. 病気や予定外の保育が必要な時の預け先「その他」の具体的な回答内容

回答件数	内容
835	病児保育、病後児保育
58	ファミリーサポート、地域の子育て支援
28	保育所、託児所
28	一時保育
28	家政婦、お手伝いさん、シッター
23	院内保育所
10	入院
8	職場につれていく
28	その他

問4-18. 緊急呼び出しの時の対応

(複数回答)

	回答件数	%
預ける	3,419	67.2
行けないので他の医師に依頼する	1,243	24.4
断る	479	9.4
その他	1,070	21.0
該当者	5,089	100.0

(無回答を除く/Ⅱ章「結果」では分析のため再分類したが、ここでは調査票の回答どおりの集計結果を載せた。)

問4-18. 緊急呼び出しの時の対応「その他」の具体的な回答内容

回答件数	内容
567	該当しない (子どもが小さいときはオンコールのない職についていたなど)
344	職場につれていく
82	留守番してもらう
16	電話のみで対応する
65	その他

問4-18. 緊急呼び出しの時の預け先

(複数回答)

	回答件数	%
配偶者	2,277	66.8
親・親族	2,173	63.7
ベビーシッター	323	9.5
友人・知人	111	3.3
その他	118	3.5
該当者	3,409	100.0

(無回答を除く)

問4-19. 学会、出張、日直、当直の時に子どもをみてくれる人

(複数回答)

	回答件数	%
親・親族	3,659	70.5
配偶者	3,578	68.9
保育園・託児所	1,464	28.2
ベビーシッター	550	10.6
友人・知人	106	2.0
その他	405	7.8
該当者	5,192	100.0

(無回答を除く/Ⅱ章「結果」では分析のため再分類したが、ここでは調査票の回答どおりの集計結果を載せた。)

問4-20. 学童保育の利用状況

	回答件数	%
利用している	1,947	39.0
利用していない	3,048	61.0
該当者	4,995	100.0

(無回答を除く)

問4-21. 施設や学校の行事への参加状況

		該当者	いつも・		
			ほとんど参加	ときどき参加	不参加・欠席
自分(回答者本人)	回答件数	5,063	2,165	2,597	301
	%	100.0	42.8	51.3	5.9
配偶者	回答件数	4,939	525	2,828	1,586
	%	100.0	10.6	57.3	32.1
親(児の祖父母)	回答件数	5,021	288	2,645	2,088
	%	100.0	5.7	52.7	41.6

(無回答を除く)

【問4-1で出産経験があると答えた5,289人に】

問4-22. 子育て中の実際の働き方

(複数回答)

	回答件数	%
業務内容軽減	2,204	42.2
変化なし(通常勤務)	1,503	28.8
時間短縮勤務	1,401	26.8
日数減	1,339	25.6
研究生・見学生・大学院	518	9.9
休職・辞職	383	7.3
その他	131	2.5
該当者	5,225	100.0

(無回答を除く)

問4-22. 子育て中の実際の働き方

「業務内容軽減」の具体的な回答内容

回答件数	内容
1,359	当直の免除・軽減
201	オンコール・呼び出しの免除・軽減
149	時間外勤務や早出・居残りの免除・軽減
56	主治医業務や病棟業務の免除・軽減
31	外来のみないし中心の勤務
28	非常勤・パートでの勤務
27	休日出勤の免除・軽減
23	日勤のみの勤務、夜勤の免除・軽減
21	当番の免除・軽減
19	部署・病院の変更
14	柔軟な勤務体系、休みの取りやすさ
45	その他

問4-22. 子育て中の実際の働き方

(時短勤務時の勤務時間数)

	回答件数	%
1日3時間以下	33	2.6
1日4時間	144	11.4
1日5時間	94	7.4
1日6時間	379	30.0
1日7時間	353	27.9
1日8時間	218	17.2
1日9時間	35	2.8
1日10時間以上	9	0.7
該当者	1,265	100.0

(無回答を除く)

問4-22. 子育て中の実際の働き方

(日数減時の勤務日数)

	回答件数	%
週1日	22	1.7
週2日	106	8.3
週3日	388	30.5
週4日	588	46.3
週5日	163	12.8
週6日	4	0.3
該当者	1,271	100.0

(無回答を除く)

問4-23. 子育て中の希望の働き方

(複数回答)

	回答件数	%
業務内容軽減	2,780	53.4
時間短縮勤務	2,309	44.4
日数減	1,900	36.5
変化なし(通常勤務)	867	16.7
研究生・見学生・大学院	336	6.5
休職・辞職	173	3.3
その他	128	2.5
該当者	5,206	100.0

(無回答を除く)

問4-23. 子育て中の希望の働き方

「業務内容軽減」の具体的な回答内容

回答件数	内容
1,220	当直の免除・軽減
212	時間外や早出・居残りの免除・軽減
176	オンコール・呼び出しの免除・軽減
45	主治医業務や病棟業務の免除・軽減
32	休日出勤の免除・軽減
21	外来のみないし中心の勤務
21	柔軟な勤務体系、休みの取りやすさ
20	当番の免除・軽減
17	日勤のみの勤務、夜勤の免除・軽減
7	部署・病院の変更
5	非常勤・パートでの勤務
48	その他

問4-23. 子育て中の希望の働き方

(時短勤務時の勤務時間数)

	回答件数	%
1日3時間以下	42	1.8
1日4時間	206	8.9
1日5時間	164	7.1
1日6時間	776	33.7
1日7時間	340	14.8
1日8時間	239	10.4
1日9時間	18	0.8
1日10時間以上	7	0.3
該当者	2,302	100.0

(無回答を除く)

問4-23. 子育て中の希望の働き方

(日数減時の勤務日数)

	回答件数	%
週1日	13	0.8
週2日	89	5.6
週3日	518	32.8
週4日	793	50.2
週5日	166	10.5
週6日	2	0.1
該当者	1,581	100.0

(無回答を除く)

## 1-6. 介護中の勤務環境

### 問5-1. 介護経験の有無

	回答件数	%
はい	1,226	11.9
いいえ	9,077	88.1
総数	10,303	100.0

(無回答を除く)

### 問5-2. 介護の際に

#### 身の回りの世話を主にしている人

	回答件数	%
主に自分	357	29.3
自分以外の身内	531	43.6
それ以外(他人、施設など)	330	27.1
該当者	1,218	100.0

(無回答を除く)

### 問5-3. 介護の際の休暇取得経験

	回答件数	%
取得した	190	15.7
取得しなかった	1,021	84.3
該当者	1,211	100.0

(無回答を除く)

### 問5-4. 介護休業中の身分保障

	回答件数	%
ある	259	24.1
ない	304	28.3
分からない	511	47.6
該当者	1,074	100.0

(無回答を除く)

### 問5-5. 介護休業中の給与支給

	回答件数	%
はい	264	38.2
いいえ	427	61.8
該当者	691	100.0

(無回答を除く)

### 問5-6. 仕事と介護の両立を図る支援対策

(複数回答)

	回答件数	%
老人保健施設・特別養護老人ホームなど介護施設の増設・増床	6,711	68.2
宿直・日直の免除	5,798	59.0
時間外勤務の免除	5,493	55.9
人員(医師)の増員	4,980	50.6
複数主治医制度の導入など主治医制の見直し	4,176	42.5
フレックス制度導入	4,162	42.3
短時間正社員制度の導入・拡充	3,734	38.0
家政婦など利用者に対する費用の助成	3,096	31.5
介護休暇取得者の職場復帰支援	2,980	30.3
代替医師の配置(代診医師派遣制度の導入)	2,839	28.9
働きやすい部門への配置転換	2,308	23.5
介護報酬の引き上げ、社会保障費の増額	1,350	13.7
二交代制の勤務体制	1,336	13.6
在宅研修制度	847	8.6
その他	185	1.9
総数	9,833	100.0

(無回答を除く)

# 1-7. 女性医師バンクについて

## 問6-1. 女性医師バンクの認知度

	回答件数	%
知っている	3,100	30.1
知らない	7,203	69.9
総数	10,303	100.0

(無回答を除く)

## 問6-2. 女性医師バンクが求職・求人ともに手数料無料であることの認知度

	回答件数	%
知っている	1,242	40.1
知らない	1,854	59.9
該当者	3,096	100.0

(無回答を除く)

## 問6-3. 女性医師バンクへの登録の有無

	回答件数	%
している	114	3.7
していない	2,983	96.3
該当者	3,097	100.0

(無回答を除く)

## 問6-4. 今後女性医師バンクへの登録を検討するか

	回答件数	%
はい	1,652	56.4
いいえ	1,277	43.6
該当者	2,929	100.0

(無回答を除く)

## 問6-5. 女性医師バンクへの登録を考えた理由

(自由回答)

回答件数	内容
297	現在に満足しているから、転職するつもりがないから
264	必要ないから、困っていないから
109	医局に所属しているため
100	年齢のため、引退を考えているため
92	自分で探すから、つてがあるから、他社でいいから
62	女性限定がよくないから、育児や介護をしていないから(済んでいるから)
58	希望に合わないから(専門・キャリア・条件など)、就職後が心配だから
52	よくわからないから、周りに利用している人がいないから
17	開業予定だから、家を手伝っているから
16	今後考える
15	地方では有効でないと思うから
10	役職についているから
10	面倒だから、時間がないから
9	これ以上仕事を増やせないから(協力できないから)
6	医師会員ではないから、医師会費が高いから
3	特にない、わからない
18	その他

1-8. 女性医師支援センターの講習会等について

問7-1. 女性医師支援センターが  
開催する講習会への参加経験の有無

	回答件数	%
はい	481	4.7
いいえ	9,740	95.3
総数	10,221	100.0

(無回答を除く)

問7-2. 参加した講習会の感想

		該当者	大変		普通	良く なかった
			良かった	良かった		
医学生・研修医等をサポートする会	回答件数	252	89	111	47	5
	%	100.0	35.3	44.0	18.7	2.0
2020.30推進懇話会	回答件数	67	10	31	23	3
	%	100.0	14.9	46.3	34.3	4.5
女性医師支援センターブロック別会議	回答件数	104	18	46	37	3
	%	100.0	17.3	44.2	35.6	2.9
大学医学部・医学会 女性医師支援担当者連絡会	回答件数	118	36	60	19	3
	%	100.0	30.5	50.8	16.1	2.5
女性医師の勤務環境の整備に関する 病院長、病院開設者・管理者等への講習会	回答件数	68	21	30	16	1
	%	100.0	30.9	44.1	23.5	1.5
女性医師支援事業連絡協議会	回答件数	67	25	20	18	4
	%	100.0	37.3	29.9	26.9	6.0

(無回答を除く)

問7-3. 講習会に参加していない理由

	回答件数	%
開催されているのは知っていたが 関心がなかった	1,530	16.2
開催されているのを知らなかった	7,537	79.7
その他	387	4.1
総数	9,454	100.0

(無回答を除く)

問7-4. 参加したい講習会等

(複数回答)

	人数
女性医師の勤務環境の整備に関する 病院長、病院開設者・管理者等への講習会	811
女性医師支援事業連絡協議会	733
女性医師支援センターブロック別会議	627
大学医学部・医学会 女性医師支援担当者連絡会	572
医学生・研修医等をサポートする会	392
2020.30推進懇話会	224

(無回答を除く)

問7-5. 開催を希望する講習会等のテーマ

(自由回答)

回答件数	内容
89	育児(との両立)
71	勤務環境、働きやすさ、ワークライフバランス
68	技術講習会、資格取得の機会
63	キャリアアップ、ライフプラン
46	性別や育児中かどうかに関限定されない問題意識の講習会
41	男性の意識、男性が受講する講習会
36	経験談、支援や取り組みの実例
31	就業支援、マッチング、職場復帰支援(技術講習を除く)
28	未婚または育児中でない女性医師への支援
28	管理職や病院向けのもの
25	介護(との両立)
17	意見交換会・交流会・相談窓口
14	ハラスメント
14	家事や家庭(との両立)
11	インターネット上で開催
5	男女平等、男女共同参画
29	講習会には行けない、行こうと思わない
41	特になし、わからない
62	その他

1-9. 医師会の活動について

問8-1. 医師会加入の有無

	回答件数	%
はい	4,151	40.6
いいえ	6,078	59.4
総数	10,229	100.0

(無回答を除く)

問8-2. 医師会加入状況

	回答件数	%
市区医師会まで	951	23.6
都道府県医師会まで	1,297	32.1
日本医師会まで	1,788	44.3
該当者	4,036	100.0

(無回答を除く)

問8-3. 医師会未加入の理由

(複数回答)

	回答件数	%
関心がない	2,464	43.0
開業医の団体と思うから	2,337	40.8
メリットがない	1,984	34.6
会費が高い	1,720	30.0
政治的圧力団体と思うから	226	3.9
その他	471	8.2
該当者	5,729	100.0

(無回答を除く)

問8-4. どんなことに取り組む医師会なら入会しようと思うか

(自由回答)

回答件数	内容
222	勤務医ないし医師全体のためになる取り組み
208	勤務環境改善や待遇改善の取り組み、ハラスメントへの対応
102	会費が安ければ
96	育児支援、介護支援、女性支援
87	勉強・研修の機会づくり、復職・キャリア支援(専門医取得支援を含む)
86	メリットがあれば、必要になれば、なんらかのサポートが得られるなら
80	入ろうと思わない、関心がない
74	そもそもどういう団体かがわからない
51	地域連携、地域での交流、地域格差の解消
43	転職支援、就業支援
36	勤務状況が変わったら入る、いつか入る
34	制度の適正化や改革(診療報酬や専門医制度など)
33	情報提供、情報交換や交流の機会
14	会員の福利厚生(保険・年金・身分保障など)
12	医療の質の向上、患者の立場に立った取り組み
10	若手が参加しやすい環境
9	訴訟のときに医師を守る活動
8	社会への啓発
41	特にない・わからない
66	その他

問8-5. 医師会の催しや活動への参加の有無

	回答件数	%
はい	2,925	28.6
いいえ	7,317	71.4
総数	10,242	100.0

(無回答を除く)

問8-6. 参加している催しや活動

(複数回答)

	回答件数	%
講演会	2,074	71.0
生涯教育	1,010	34.6
産業医	938	32.1
健診業務	327	11.2
委員会など	209	7.2
校医・園医	174	6.0
医師会役員	76	2.6
文化活動	72	2.5
その他	92	3.1
該当者	2,921	100.0

(無回答を除く)

問8-7. 医師会の催しや活動に参加していない理由

(複数回答)

	回答件数	%
時間がない	4,867	69.2
関心がない	3,171	45.1
メリットがない	1,192	16.9
なんとなく嫌だ	276	3.9
その他	501	7.1
該当者	7,034	100.0

(無回答を除く)

問8-8. 医師会の催しや活動への参加意向

	回答件数	%
はい	1,587	28.1
いいえ	4,065	71.9
該当者	5,652	100.0

(無回答を除く)



1-10. 提案・意見

【提案・意見】

(自由回答)

勤務環境に関する提案・意見

回答件数	内容
631	すべての医師が働きやすい環境づくりを望む (休業者や時短勤務者のカバーに回る医師の負担増への対応を望む、などを含む)
367	職場や医局・上司・同僚などの理解、およびそのための働きかけが重要 (現在理解がない、現在ハラスメントがある、などを含む)
314	キャリア形成機会・研修機会・復職支援の充実を望む (専門医制度の改善、e-learningや学会託児の推進、研修医・若手支援、などを含む)
253	業務量過多・長時間労働・人員不足の解消を望む
247	人事評価・給与体系・転勤・配置・昇進などに公平さを望む (産休等が実質取れない、大学病院の給与の改善、女性管理職が少ない、などを含む)
230	妊娠・出産・育児などとの両立支援や女性医師支援を望む
195	男性が積極的に家事・育児などに参加すること、そのための環境整備が重要 (家事・育児などを女性の役割と考えている意識が問題)
152	時短勤務者などとそうでない人の相互の理解や負担のわけあいが重要
149	休みの取りづらさの解消を望む (複数主治医制・シフト制・フレックス・代診の整備、などを含む)
129	保育所・院内保育の充実を望む (増設、サービス向上、入所しやすくしてほしい、などを含む)
115	当直・オンコール・救急外来のあり方が問題になっている (当直明け勤務の問題、担当できる人が少ない、などを含む)
105	病児保育の充実を望む、子どもが病気のときに困っている
76	医療界または社会全体の意識や働き方の改善が重要
69	介護(家族の病気や障がいを含む)との両立支援、介護施設の充実を望む
68	学童保育の充実を望む、小学校入学後の両立しづらさへの理解を望む
51	妊活や不妊治療への理解および支援の充実を望む
45	以前に比べて勤務環境はよくなってきている
42	地域格差の解消を望む
31	相談窓口や意見交換の場が欲しい
29	家事代行・家政婦・シッターの紹介や利用補助を望む
20	保険診療や医療費の制度改革を望む
131	その他

アンケートに関する提案・意見

回答件数	内容
69	男性にもアンケートを取るべき、女性のみアンケートを取ることへの疑問
60	簡単なアンケートにしてほしい、答えづらい箇所がある
38	アンケートの実効性や意義に疑問
26	調査結果の公表や送付を望む、有効活用を望む
37	その他のアンケートに関する提案・意見

医師会に関する提案・意見

回答件数	内容
57	女性医師バンクについて
59	講習会・催し・情報提供について
126	その他の医師会に関する提案・意見

## 2. 前回調査との比較

前回調査と比較できる調査項目について、以下の通り比較した。なお、表中の「n」は各設問の回答者数を示しており、特に断りのない限り、無回答を除いた数値となっている。

### 前回調査（2008年度調査）の設計

調査方法：今回調査と同様

調査期間：2008年12月～2009年1月

病院数：8,880施設

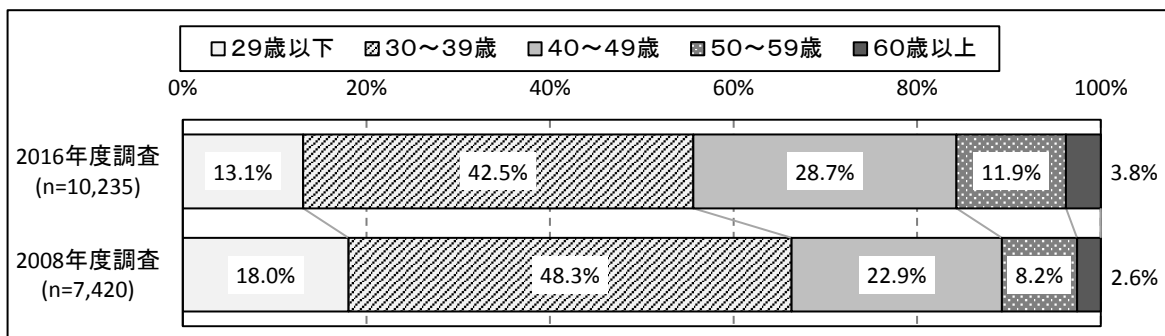
回収数：7,497件（回収率※ 49.9%）

有効回答数：7,467件（有効回答率※ 49.7%）

※回収率・有効回答率は、病院より連絡のあった配布数の合計15,010から算出した。

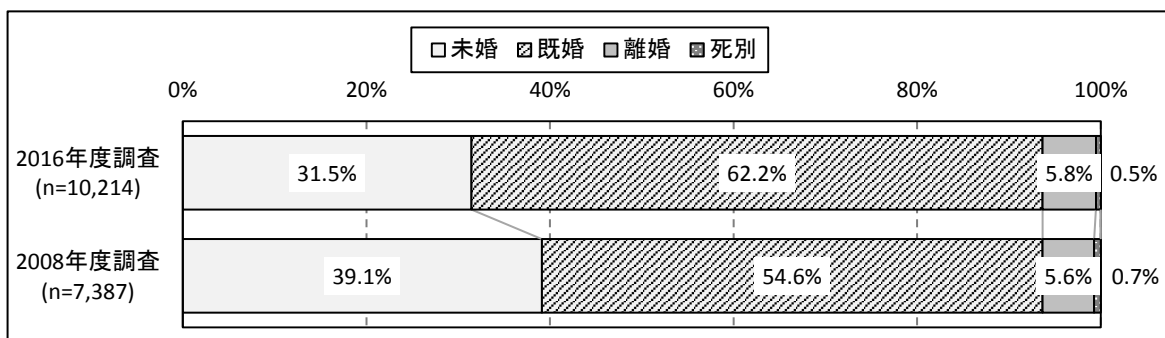
### 2-1. 回答者の属性

図1 年齢（前回比較）



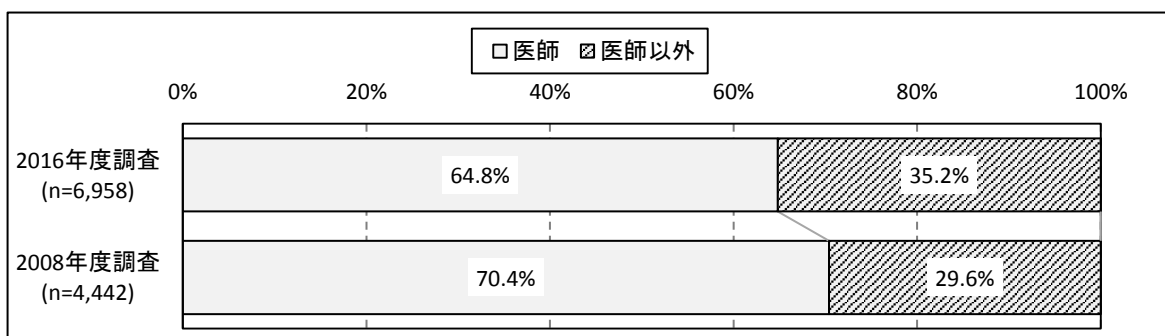
（無回答を除く）

図2 結婚（前回比較）



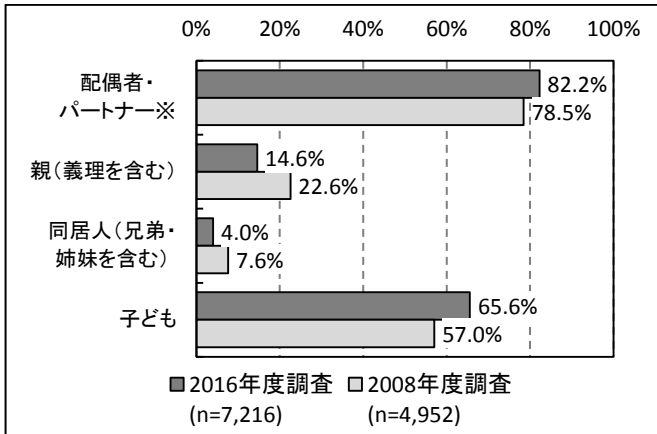
（無回答を除く）

図3 配偶者の職業（前回比較）【結婚について既婚・離婚・死別と答えた方に】



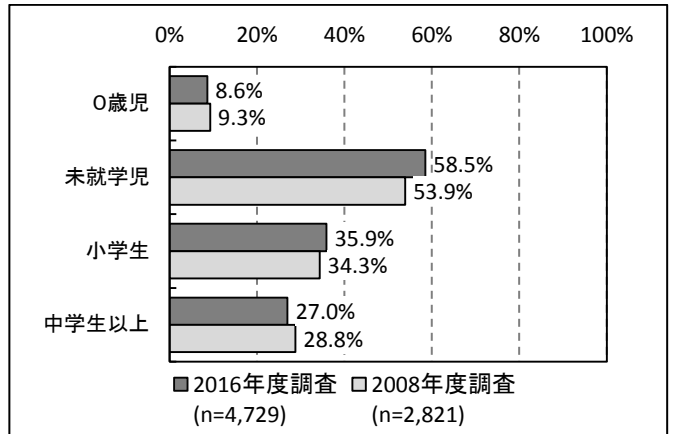
（無回答を除く）

図 4 同居家族構成（前回比較）【複数回答】



※ 2008年度調査は「配偶者」だった。  
(無回答および「同居人はいない」を除く)

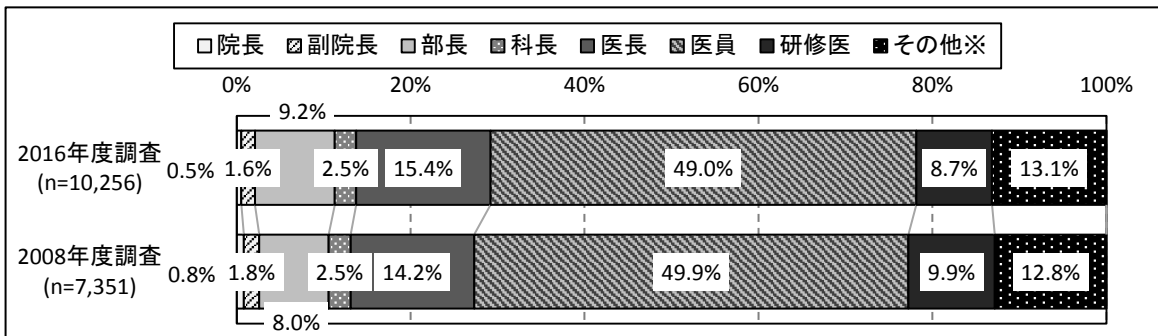
図 5 同居している子どもの年齢（前回比較）【複数回答】



(無回答を除く)

2-2. 女性医師の勤務実態

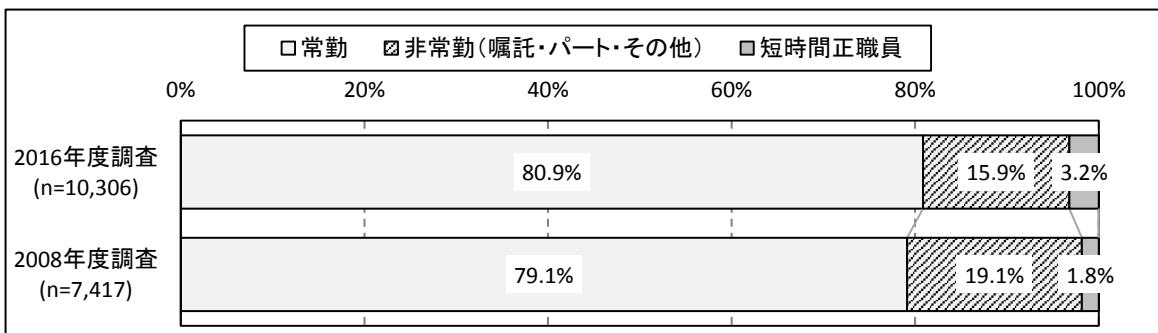
図 6 勤務先での役職（前回比較）



※その他の具体的な回答としては、「助教」(310件)、「非常勤」(221件)、「副部長」(122件)、「講師」(114件)、「レジデント・後期研修医」(110件)、「大学院生・大学生」(92件)などがあった。

(無回答を除く)

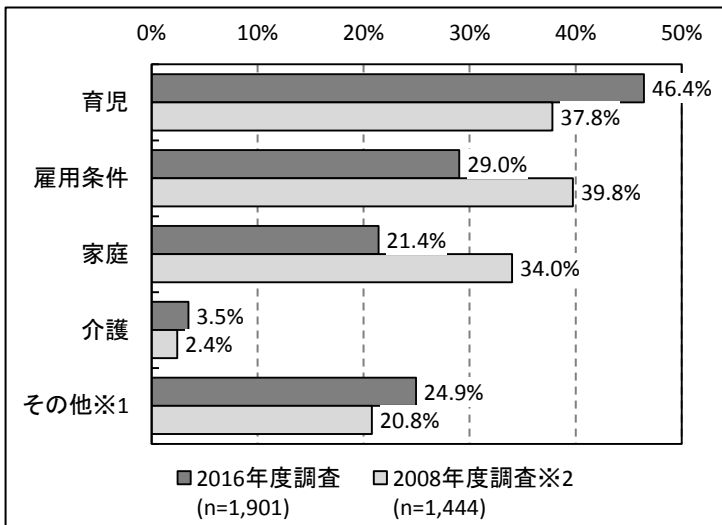
図 7 勤務形態（前回比較）



(無回答を除く)

図 8 勤務形態が常勤以外の理由（前回比較）

【複数回答／勤務形態について非常勤または短時間正職員と答えた方に】

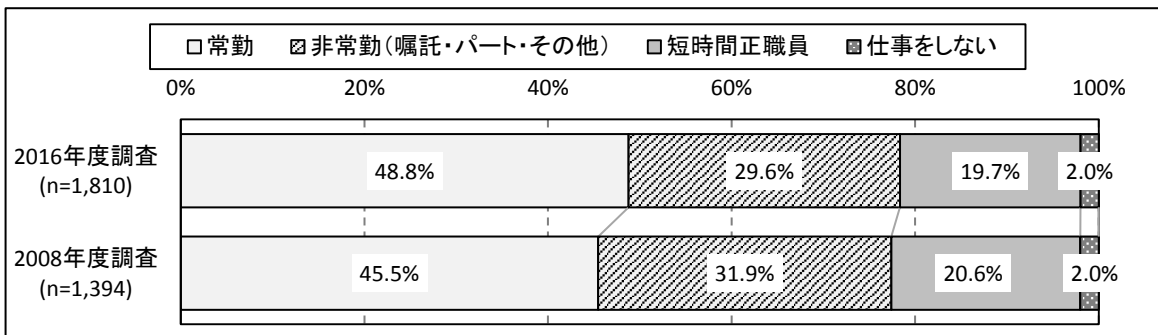


※1 その他の具体的な回答としては、「大学院生だから・研究を主としているから」（128件）、「研修医・後期研修医だから」（98件）、「医局・勤務先の都合で」（62件）、「働きやすさを考えて」（61件）、「他院でも勤務しているため」（50件）などがあった。

※2 2008年度調査では選択肢に「家庭と育児」が設けられていたが、2016年度調査と比較するため、その回答者を「育児」と「家庭」の複数を回答したとみなして算出した。

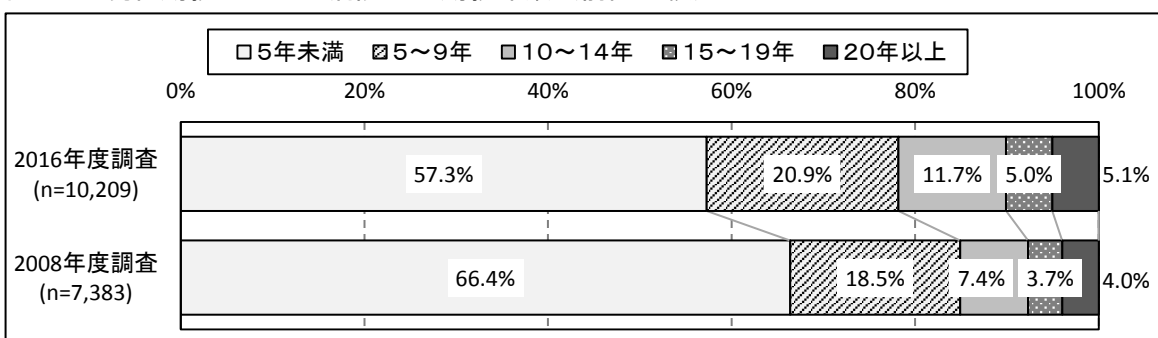
（無回答を除く）

図 9 将来希望する勤務形態（前回比較）【勤務形態について非常勤または短時間正職員と答えた方に】



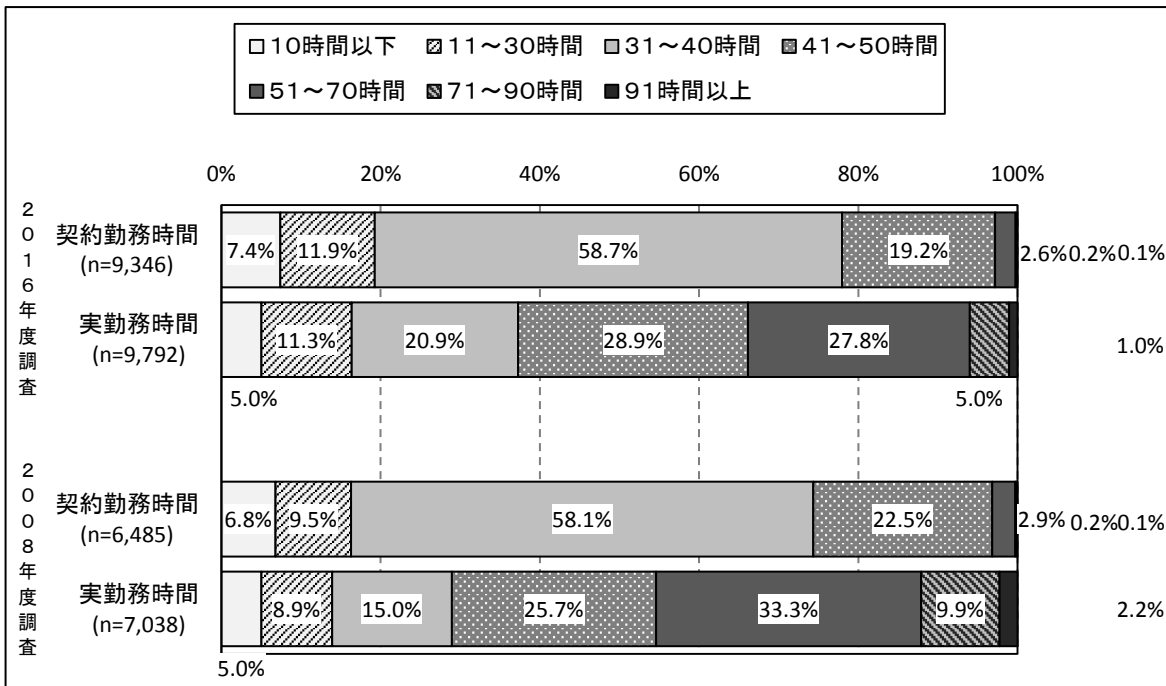
（無回答を除く）

図 10 現在勤務している病院での勤務年数（前回比較）



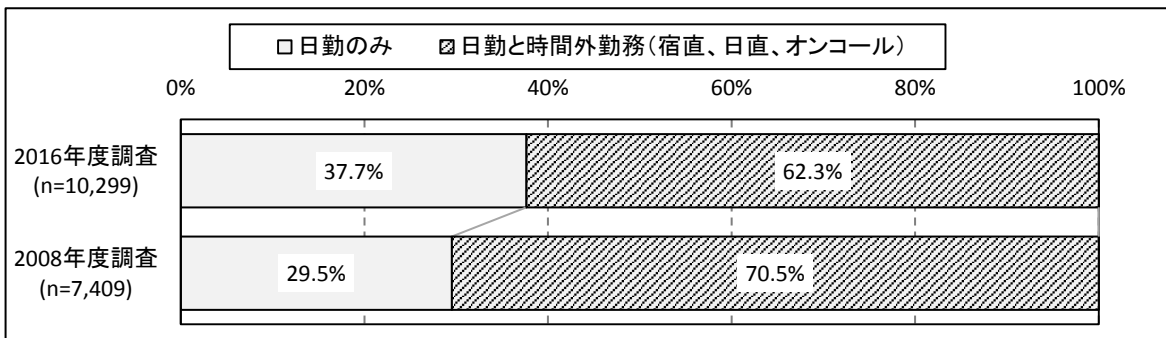
（無回答を除く）

図 11 一週間の契約勤務時間と実勤務時間（前回比較）



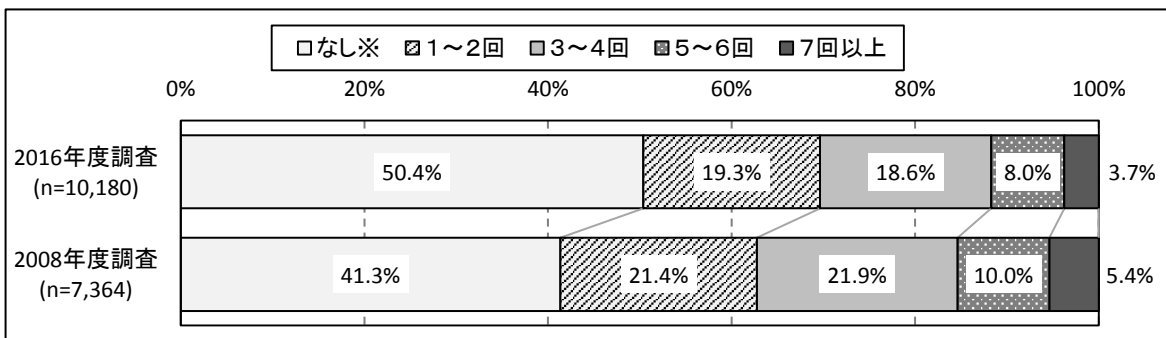
（無回答を除く）

図 12 勤務状況（前回比較）



（無回答を除く）

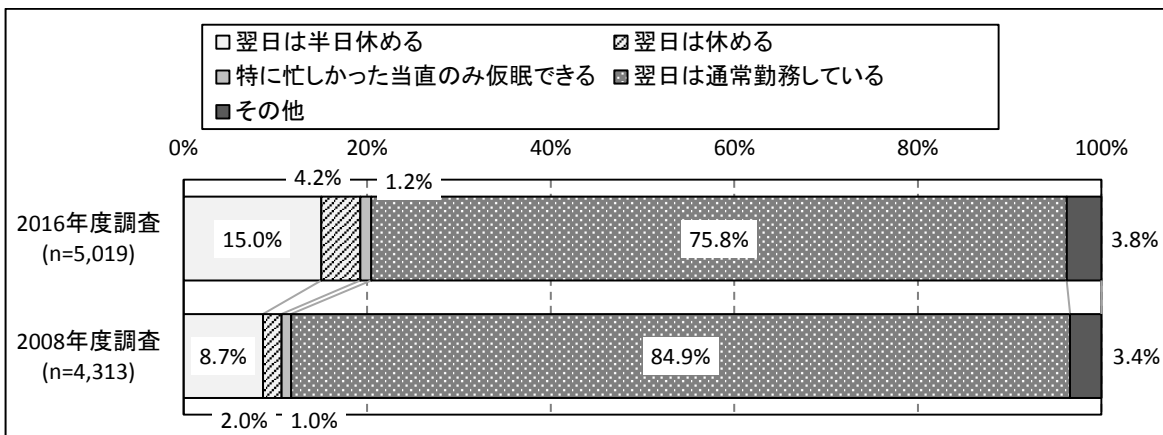
図 13 1ヵ月の宿直回数（前回比較）



※2008年度調査と比較するため、2016年度調査の「なし」には、前問で勤務状況が「日勤のみ」と回答したためにこの質問の該当者にはならなかった人（3,879人）も含めて集計した。

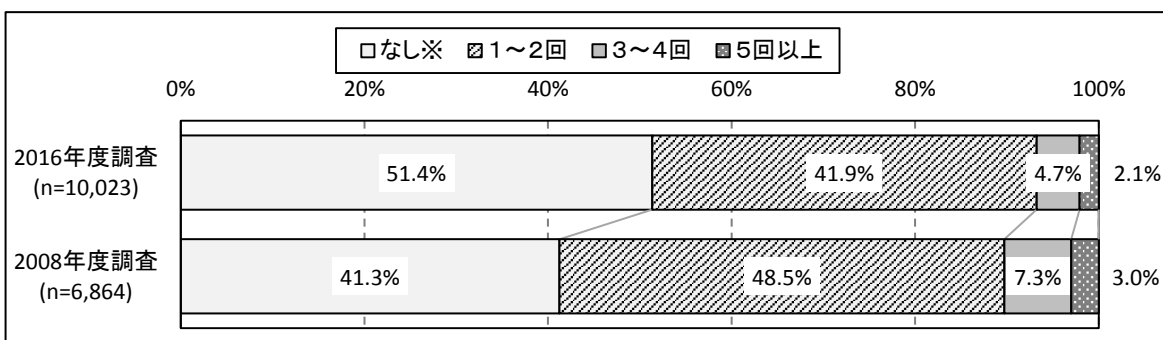
（無回答を除く）

図 14 宿直翌日の勤務状況（前回比較）【1ヵ月の宿直回数が1回以上と答えた方に】



(無回答を除く)

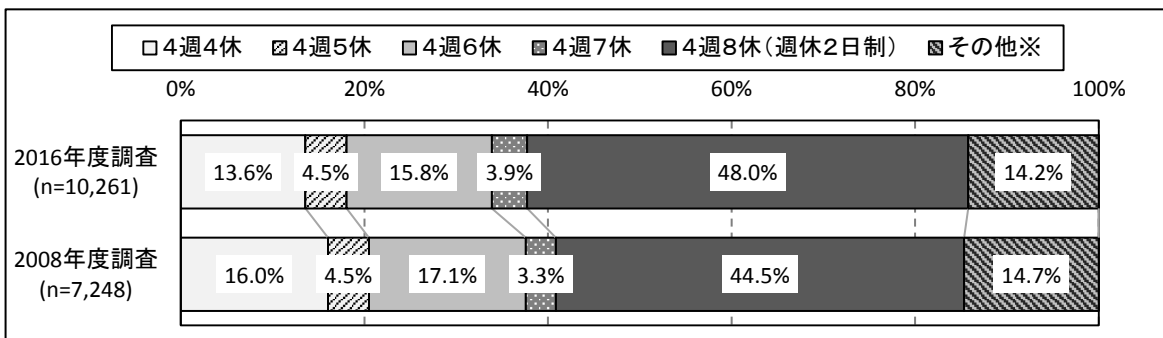
図 15 1ヵ月の日直回数（前回比較）



※2008 年度調査と比較するため、2016 年度調査の「なし」には、前問で勤務状況が「日勤のみ」と回答したためにこの質問の該当者にはならなかった人（3,879 人）も含めて集計した。

(無回答を除く)

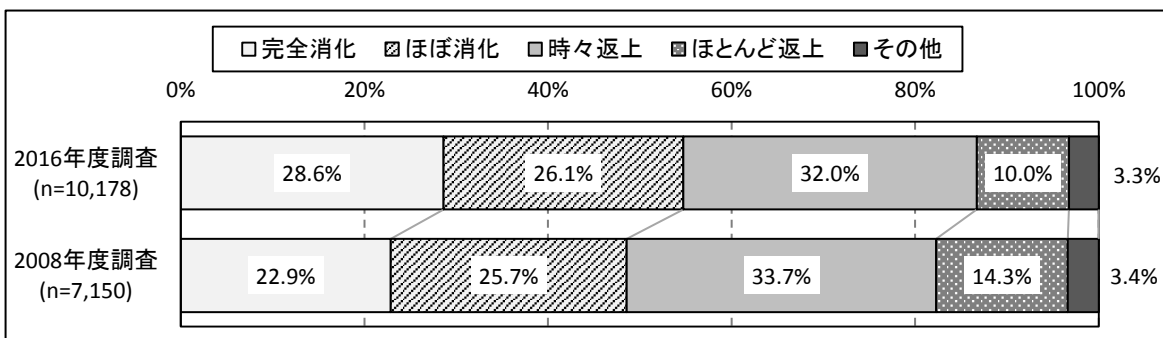
図 16 1ヵ月の休日数（前回比較）



※その他の具体的な回答としては、「休日はほとんどない」(106 件)、「4週1~3休」(320 件)、「4週9~12休」(492 件)、「4週13休以上」(254 件) などがあった。

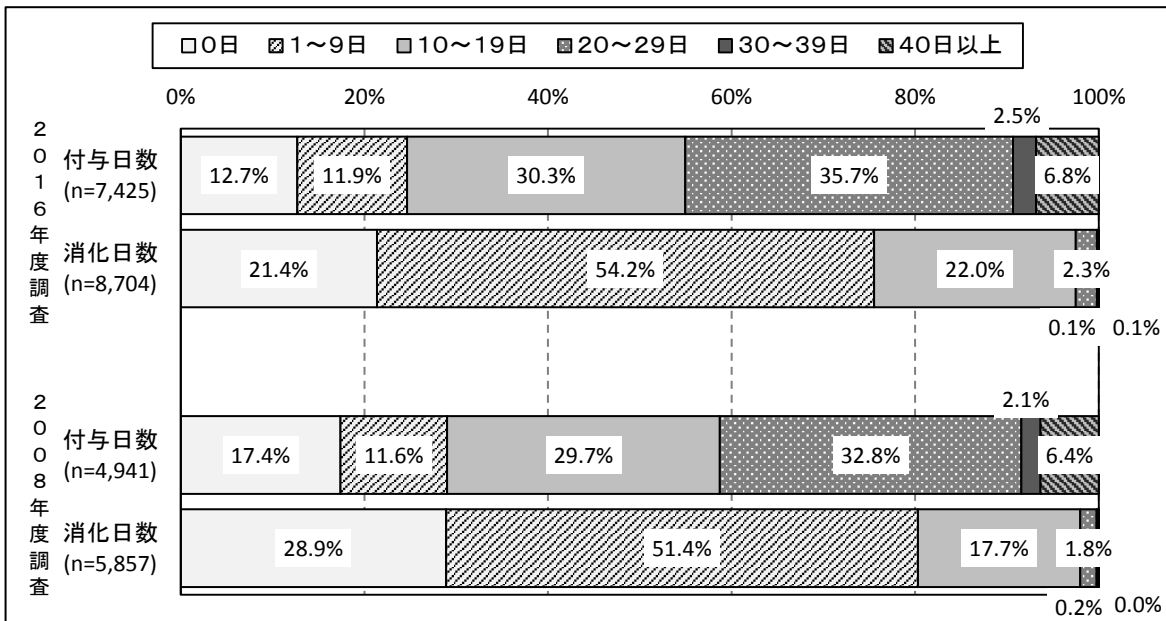
(無回答を除く)

図 17 月休 [1ヵ月の休日] の消化状況（前回比較）



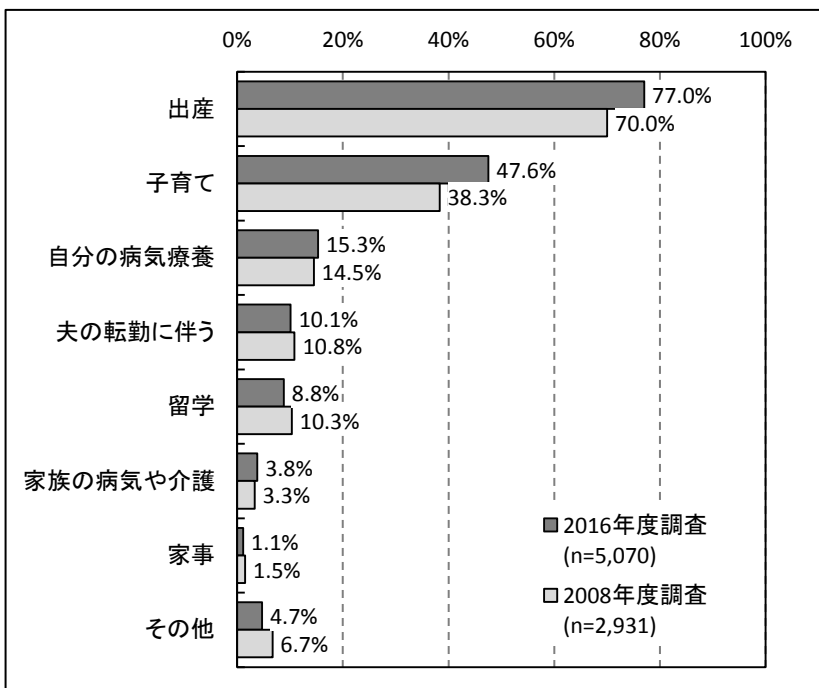
(無回答を除く)

図 18 年次有給休暇の付与日数・年間消化日数（前回比較）



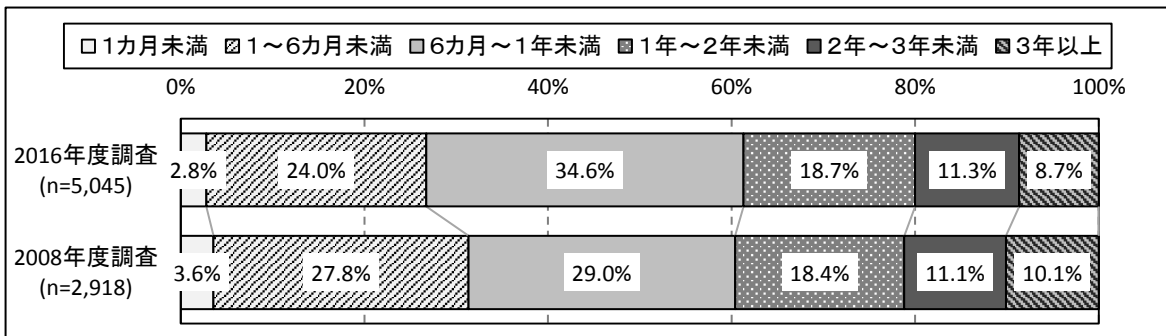
(無回答を除く)

図 19 休職・離職の理由（前回比較）【複数回答／休職・離職したことがあると答えた方に】



(無回答を除く)

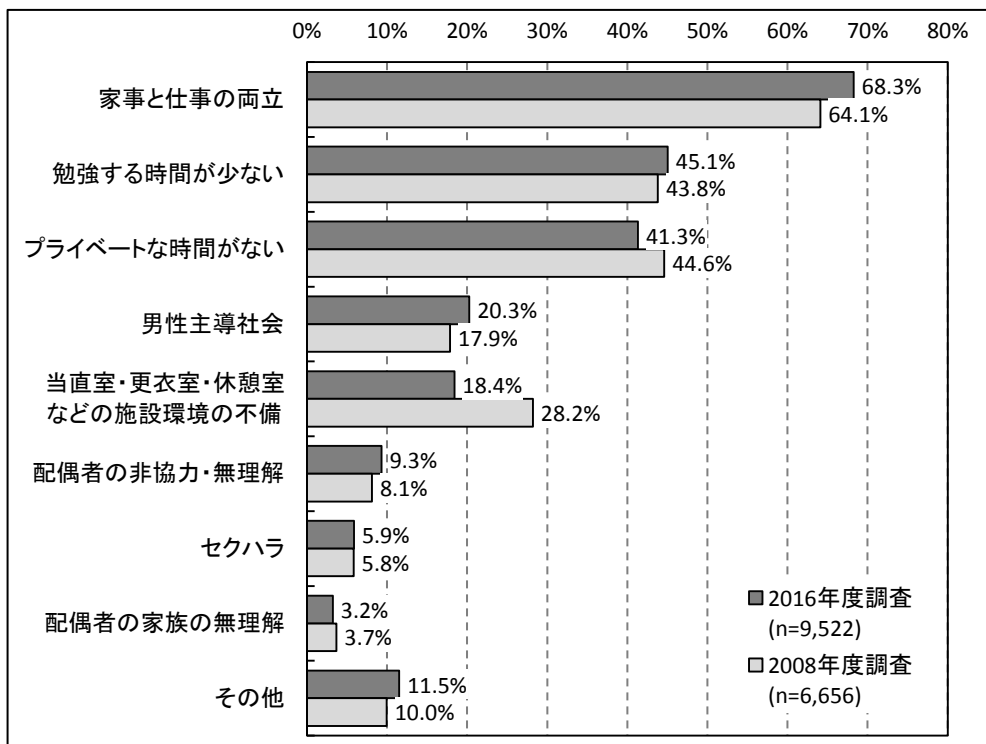
図 20 休職・離職の期間（前回比較）【休職・離職したことがあると答えた方に】



(無回答を除く)

2-3. 女性医師の職場環境

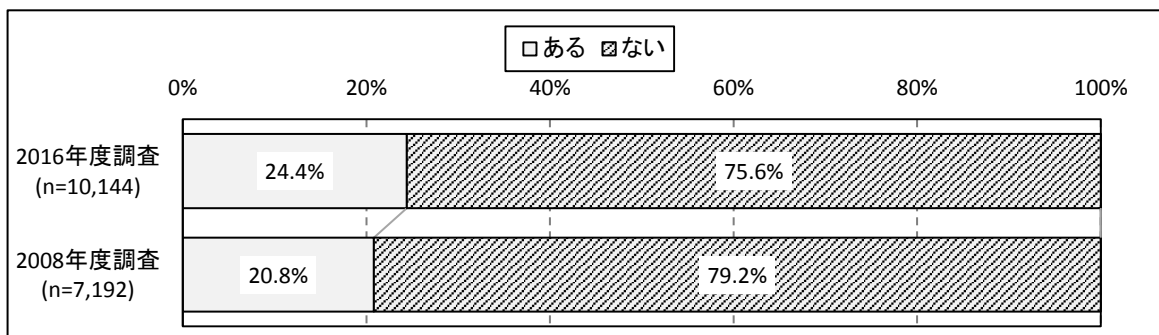
図 21 女性医師としての悩み（前回比較）【複数回答】



※その他の具体的な回答としては、「業務量・勤務形態・評価・給与など」(191件)、「育児と仕事の両立」(163件)、「職場の理解・人間関係」(153件)、「キャリア形成・スキルアップ」(137件)、「ハラスメント・いやがらせ・女性蔑視」(137件)、「出産・妊活・不妊治療」(112件)、「健康面・体力面」(108件)などがあった。

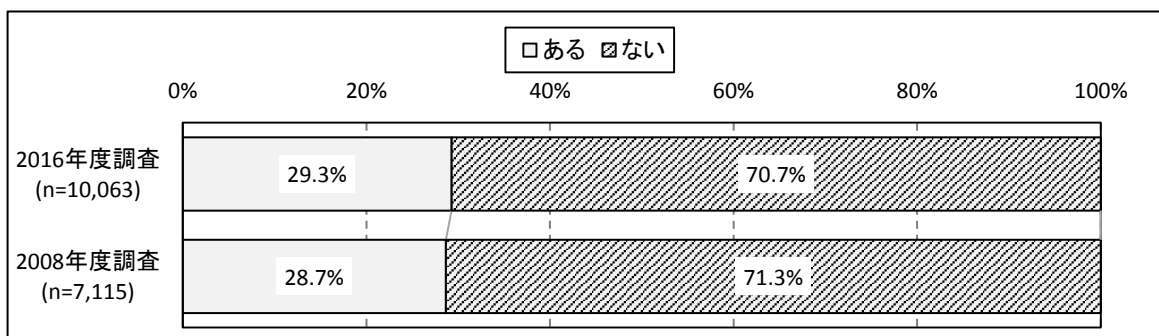
(無回答を除く)

図 22 同性の医師に対して不満を感じる事（前回比較）



(無回答を除く)

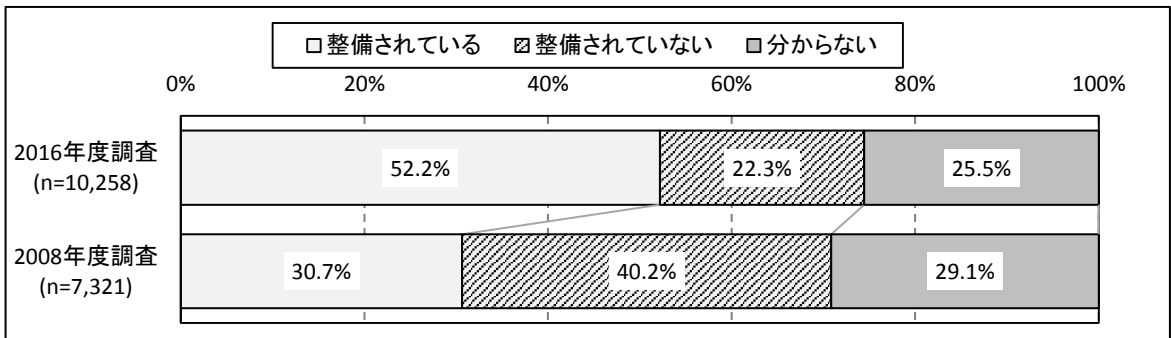
図 23 男性の医師に対して不満を感じる事（前回比較）



(無回答を除く)



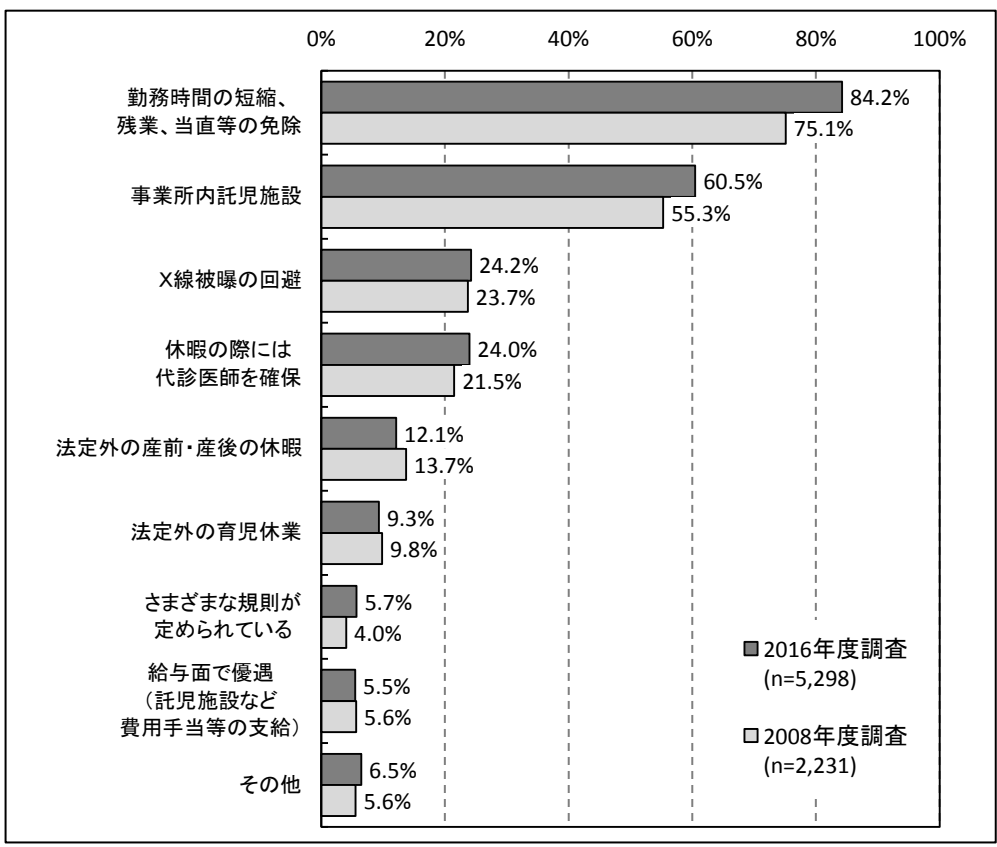
図 24 仕事と家庭生活を両立させるための就労環境や規則の整備状況（前回比較）



（無回答を除く）

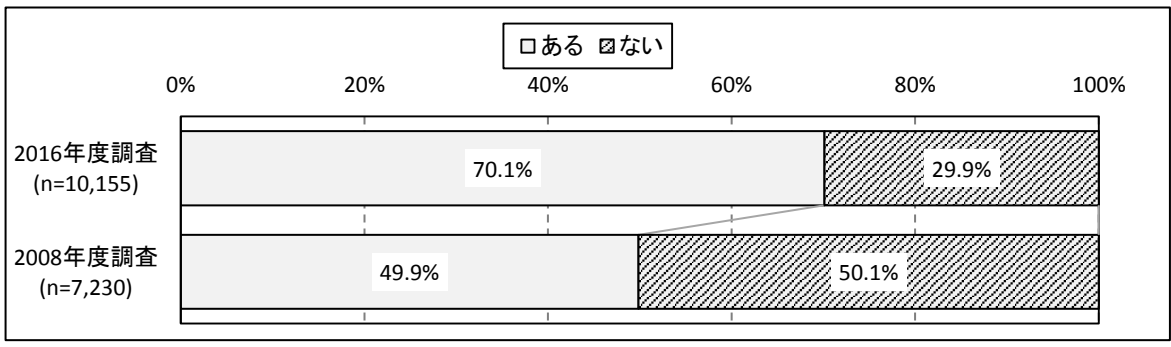
図 25 仕事と家庭生活を両立させるための就労環境や規則として整備されている内容

（前回比較）【複数回答／仕事と家庭生活を両立させるための就労環境や規則が整備されていると答えた方に】



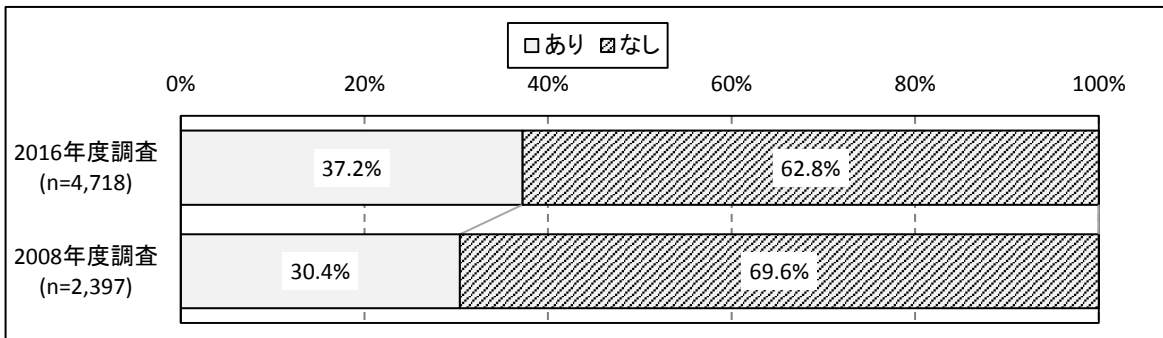
（無回答を除く）

図 26 職場における保育所・託児所の有無（前回比較）



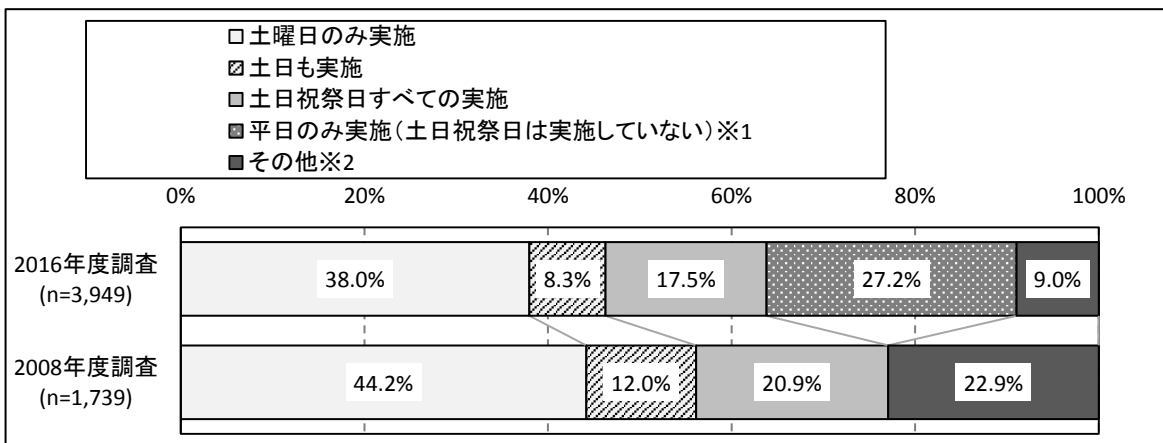
（無回答を除く）

図 27 職場の保育所・託児所の24時間対応の有無（前回比較）【職場に保育所・託児所があると答えた方に】



(無回答を除く)

図 28 土日祝祭日の保育実施状況（前回比較）【職場に保育所・託児所があると答えた方に】

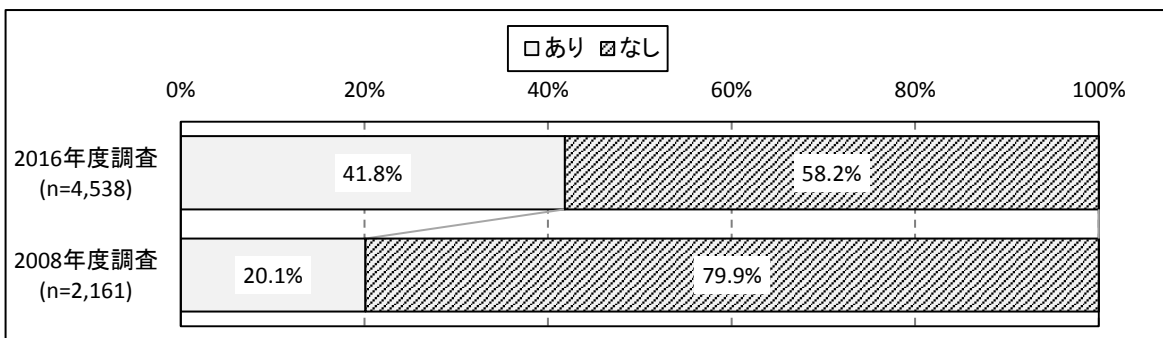


※1 2016年度調査で新しく選択肢を追加した。

※2 その他の具体的な回答としては、「毎週ではないが土日祝祭日にも実施」(161件)、「病院開院日に合わせて土日祝祭日にも実施」(54件)、「申込・必要に応じて土日祝祭日にも実施」(36件)などがあった。

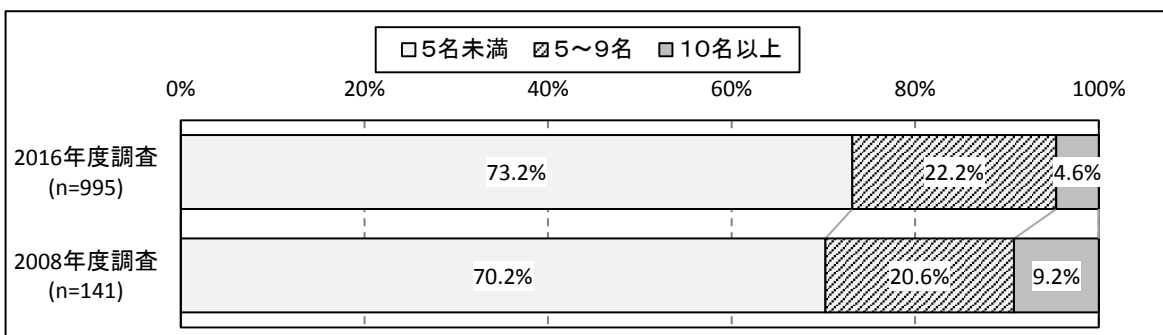
(無回答を除く)

図 29 病児保育の有無（前回比較）【職場に保育所・託児所があると答えた方に】



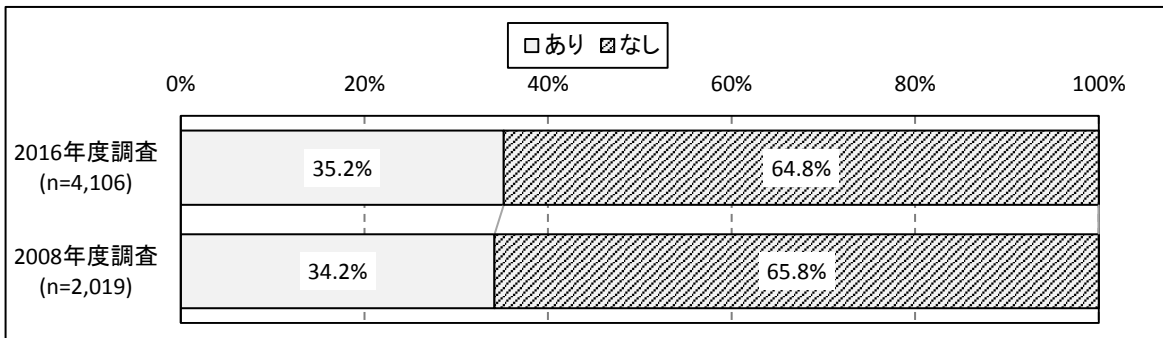
(無回答を除く)

図 30 病児保育の定員（前回比較）【職場に病児保育があると答えた方に】



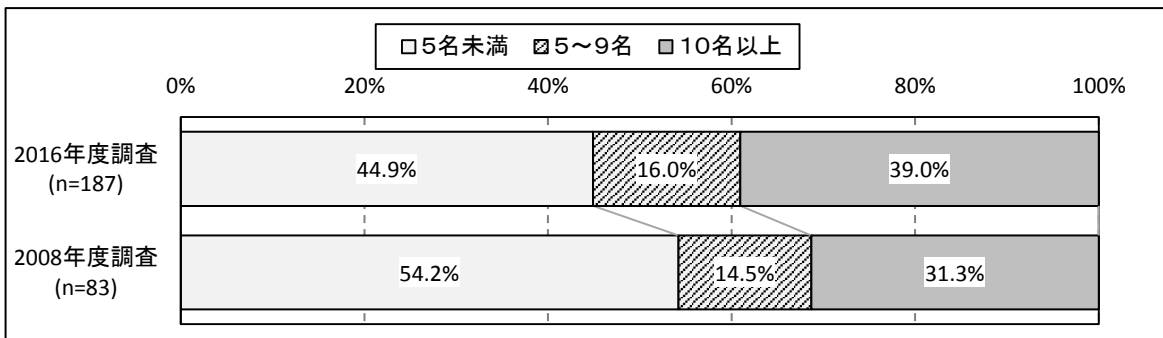
(無回答を除く)

図 31 一時 [緊急時] 保育の有無 (前回比較)【職場に保育所・託児所があると答えた方に】



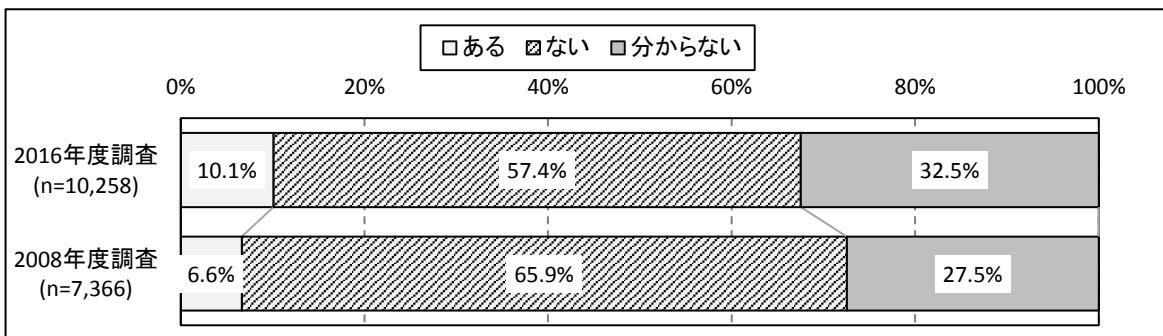
(無回答を除く)

図 32 一時 [緊急時] 保育の定員 (前回比較)【職場に一時 [緊急時] 保育があると答えた方に】



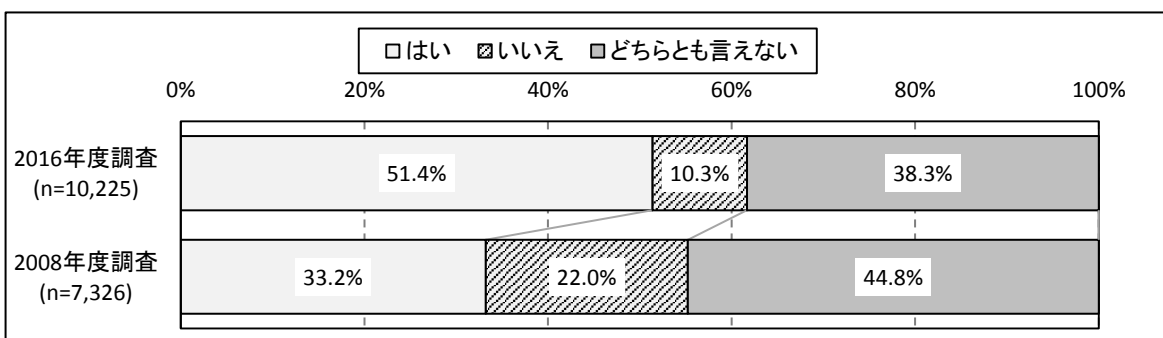
(無回答を除く)

図 33 代替医師制度の有無 (前回比較)



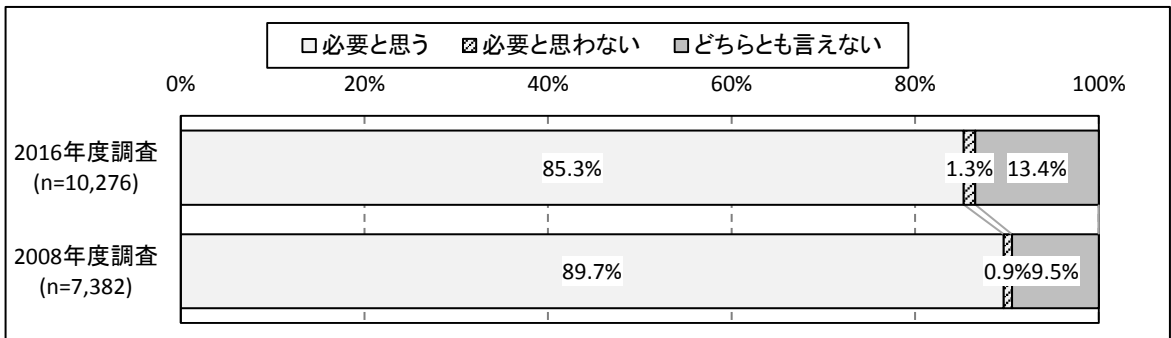
(無回答を除く)

図 34 職場環境は子育てに協力的か (前回比較)



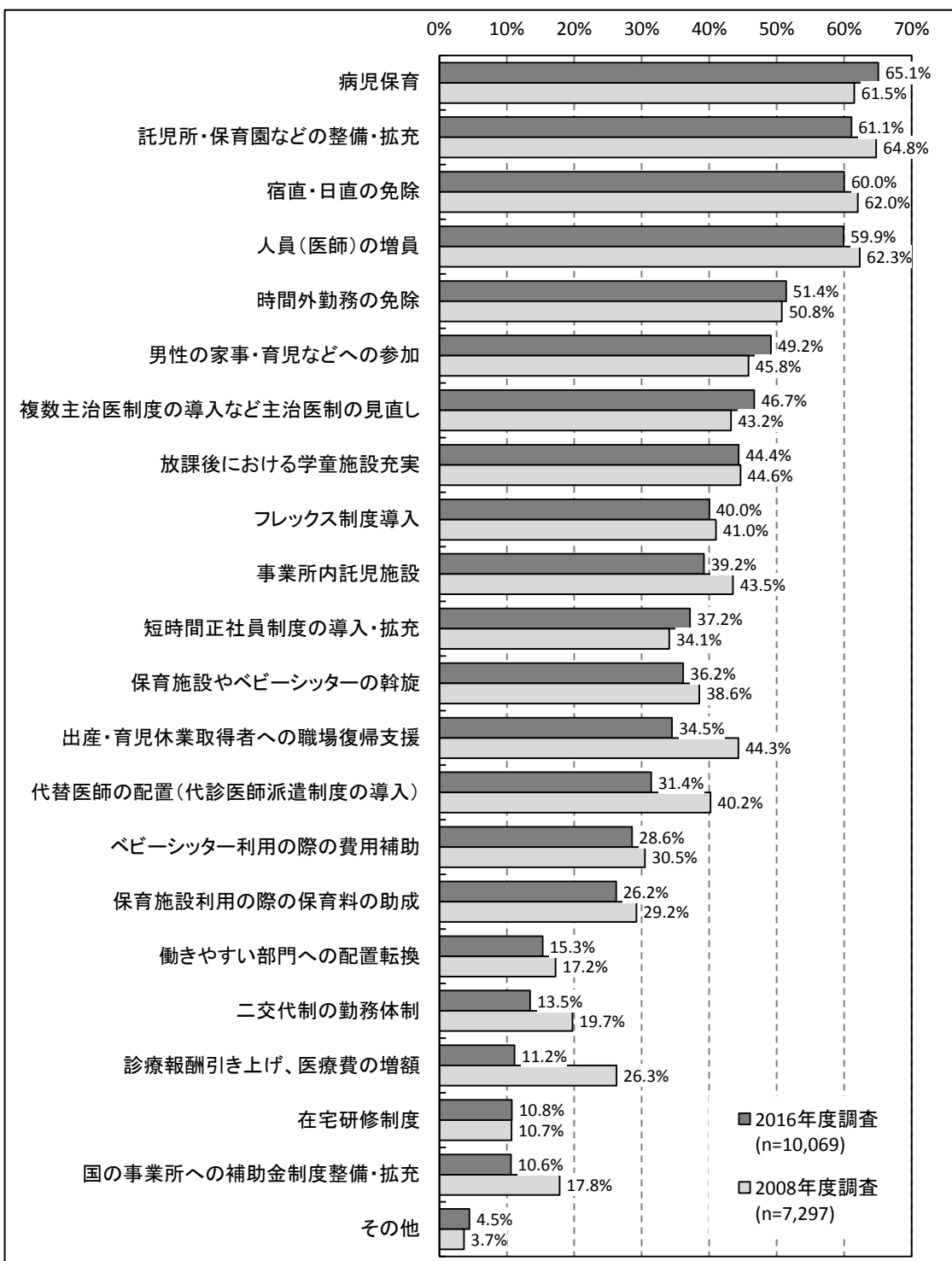
(無回答を除く)

図 35 妊娠・育児中の勤務時間軽減の必要性（前回比較）



（無回答を除く）

図 36 仕事を続ける上で必要な制度や仕組み・支援対策（前回比較）【複数回答】

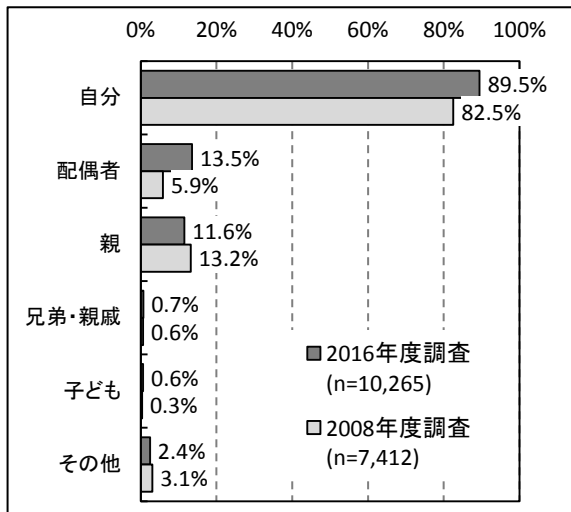


（無回答を除く）

2-4. 自宅での家事担当者

図 37 自宅での「食事調理」担当

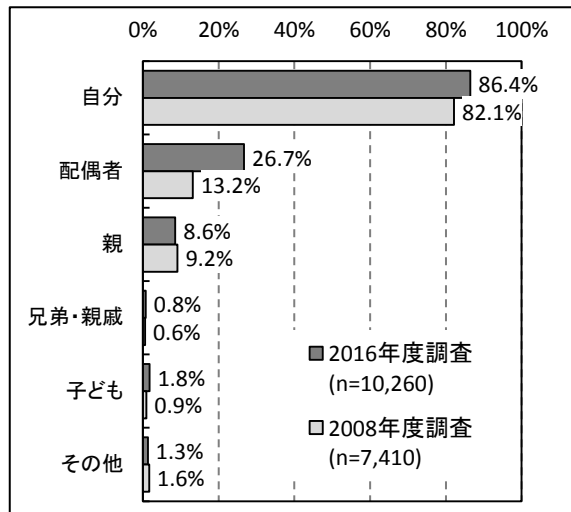
(前回比較)【複数回答】



(無回答を除く)

図 38 自宅での「食事の後片づけ」担当

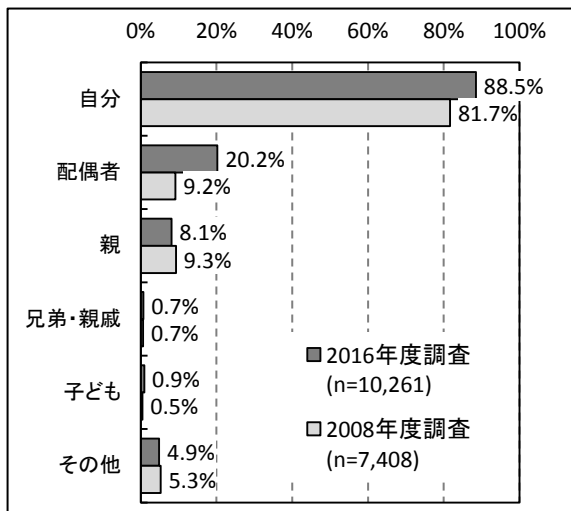
(前回比較)【複数回答】



(無回答を除く)

図 39 自宅での「掃除」担当

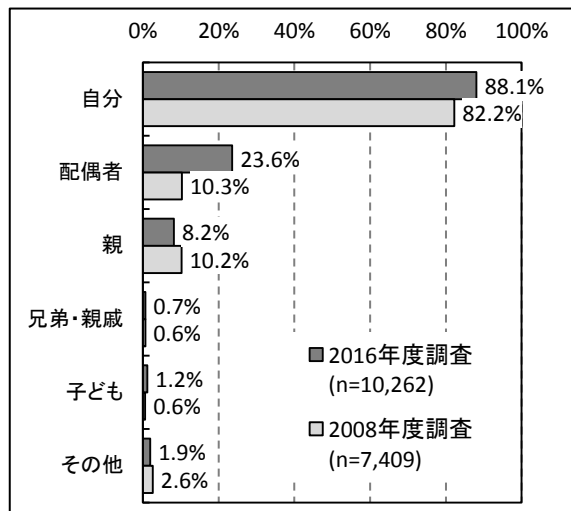
(前回比較)【複数回答】



(無回答を除く)

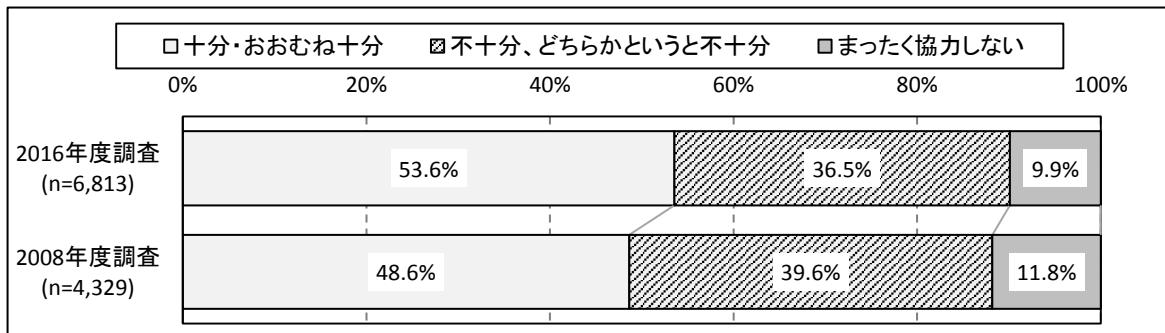
図 40 自宅での「洗濯」担当

(前回比較)【複数回答】



(無回答を除く)

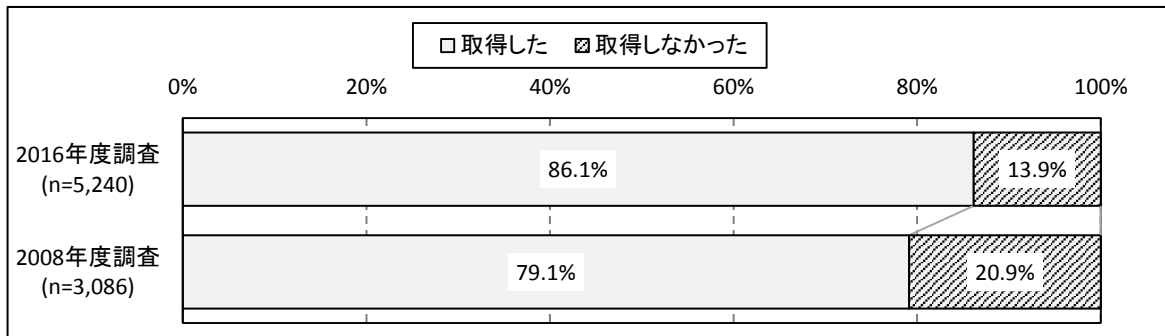
図 41 配偶者の家事・育児への協力度 (前回比較)



(無回答を除く)

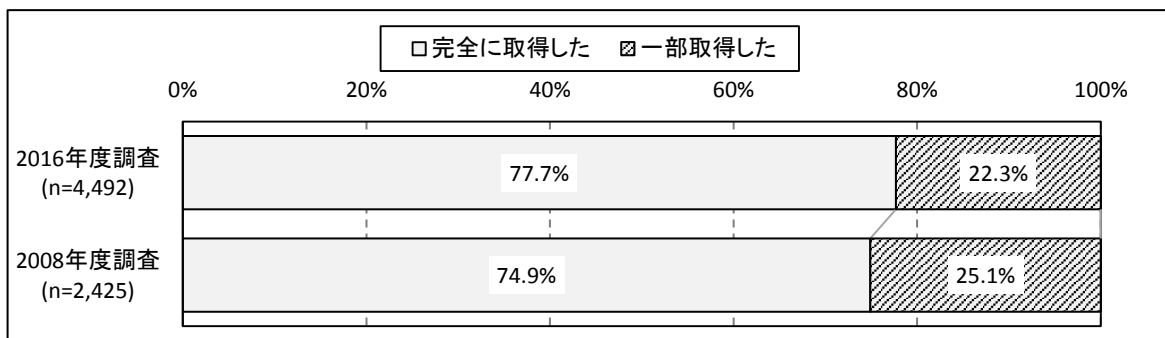
2-5. 出産・育児中の働き方

図 42 産前・産後休暇の取得の有無（前回比較）【出産経験があると答えた方に】



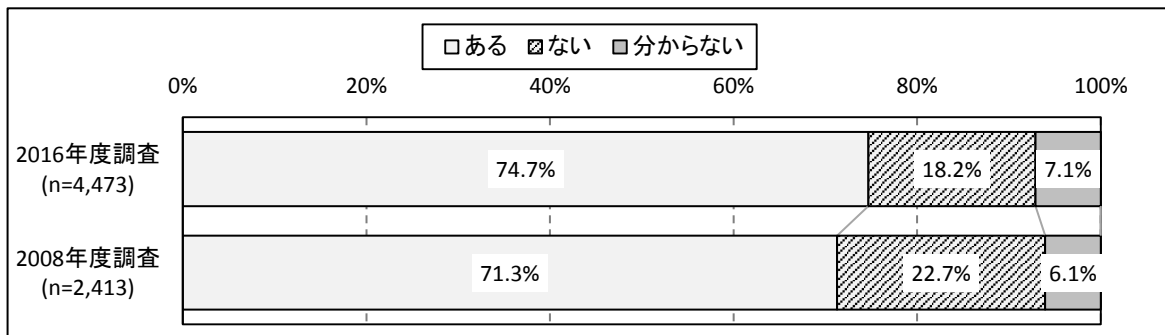
(無回答を除く)

図 43 産前・産後休暇の取得状況（前回比較）【産前・産後休暇を取得したと答えた方に】



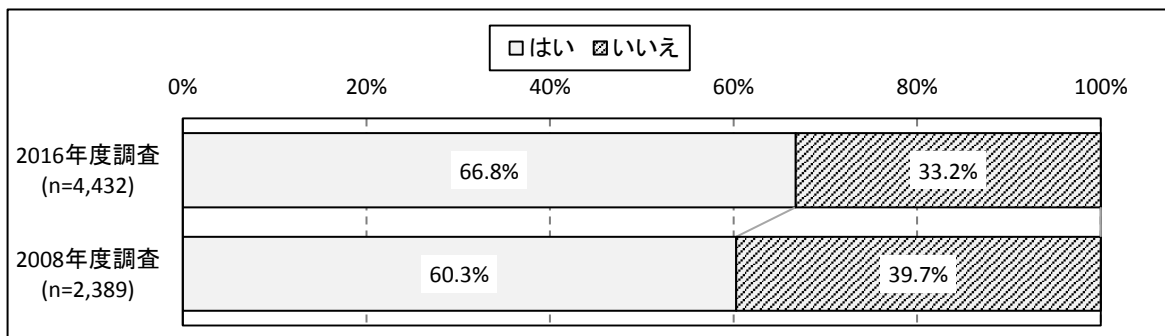
(無回答を除く)

図 44 産前・産後休暇中の身分保障（前回比較）【産前・産後休暇を取得したと答えた方に】



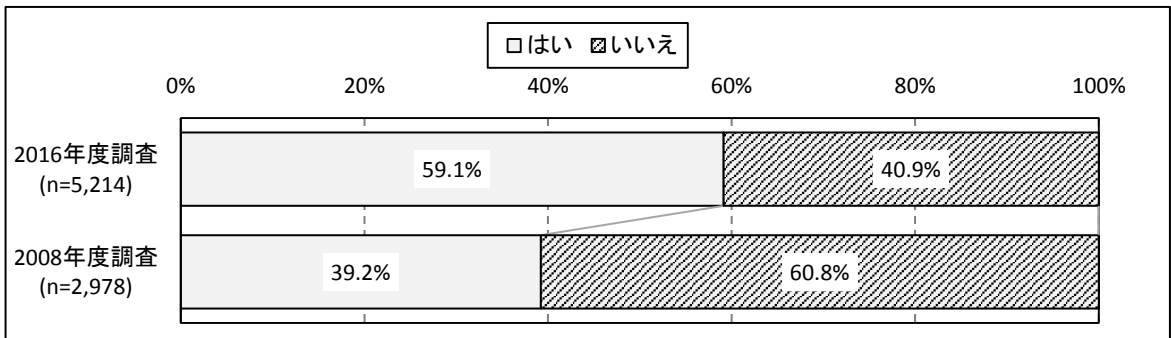
(無回答を除く)

図 45 産前・産後休暇中の給与支給（前回比較）【産前・産後休暇を取得したと答えた方に】



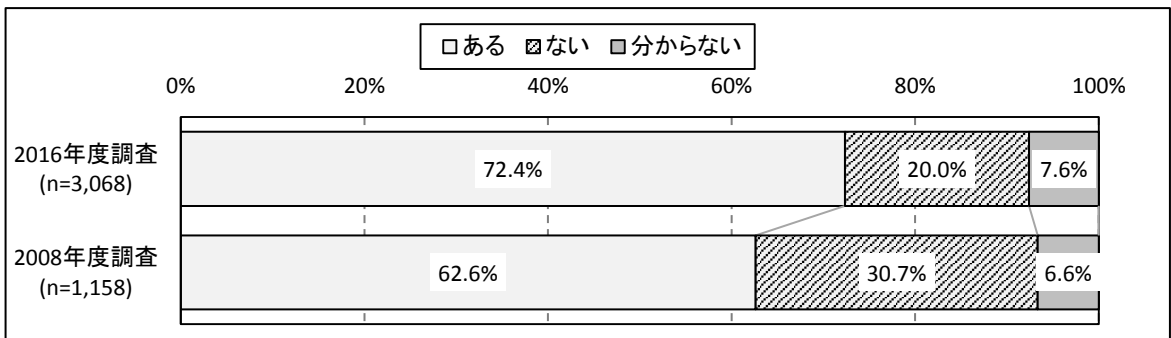
(無回答を除く)

図 46 育児休業の取得の有無（前回比較）【出産経験があると答えた方に】



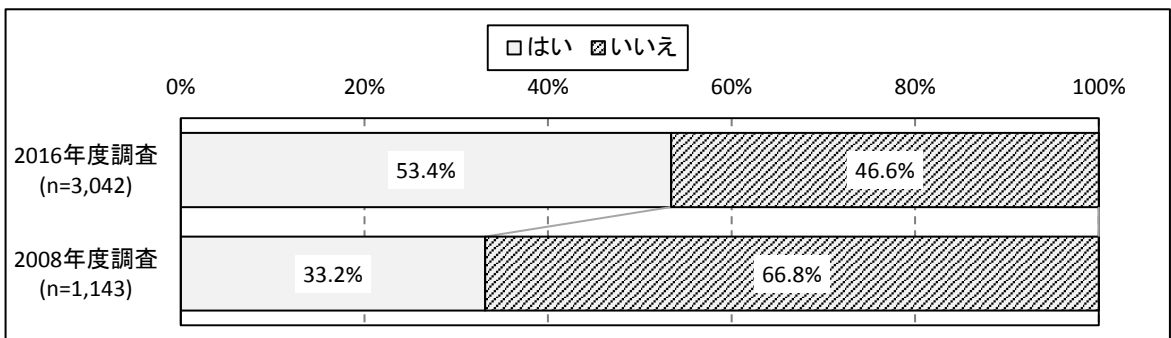
(無回答を除く)

図 47 育児休業中の身分保障（前回比較）【育児休業を取得したと答えた方に】



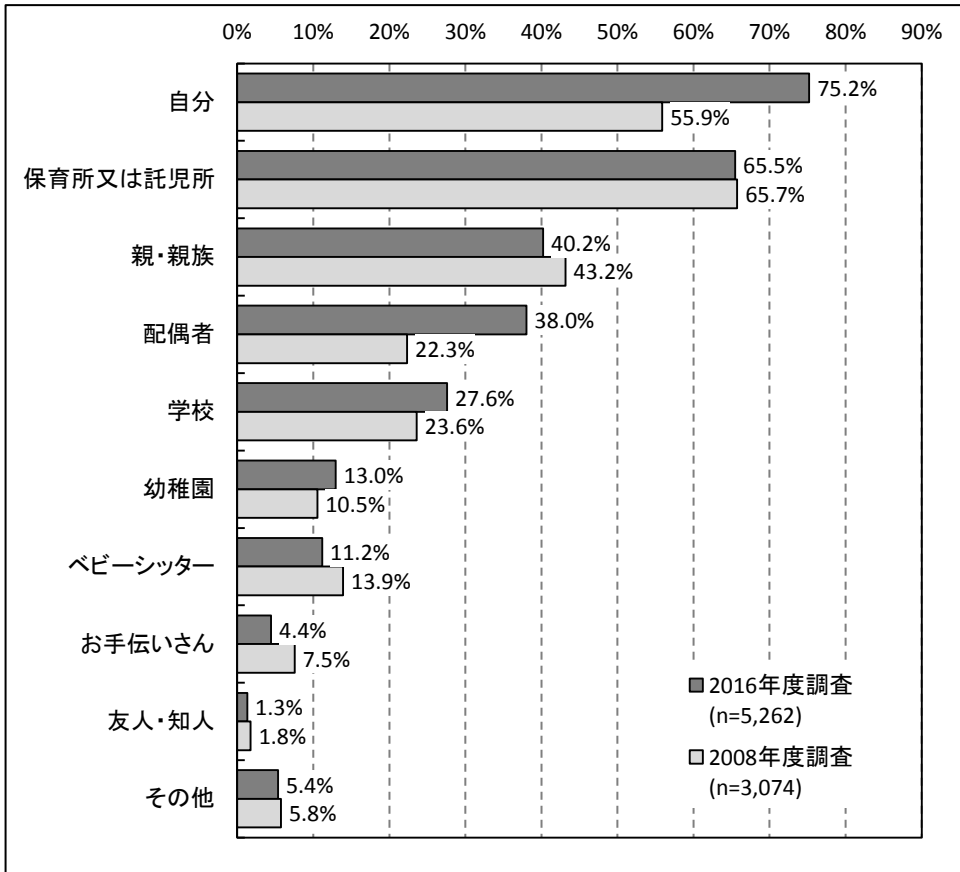
(無回答を除く)

図 48 育児休業中の給与支給（前回比較）【育児休業を取得したと答えた方に】



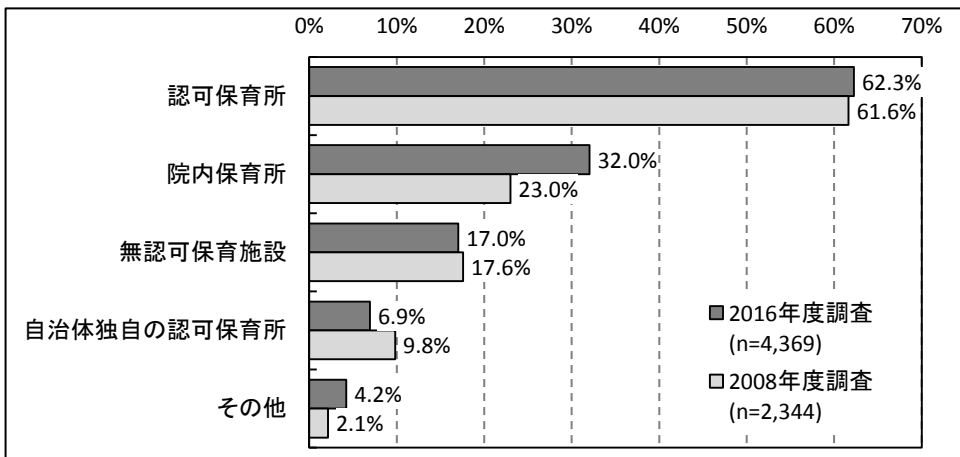
(無回答を除く)

図 49 普段子どもの面倒を見ている人（前回比較）【複数回答／出産経験があると答えた方に】



(無回答を除く)

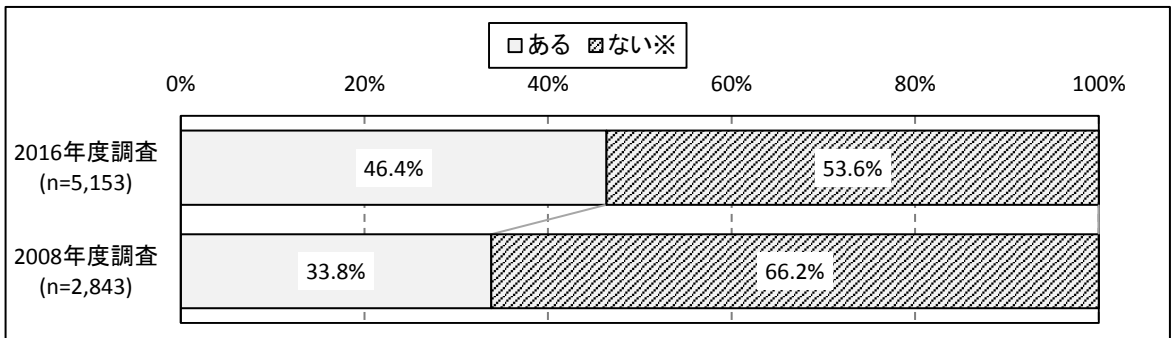
図 50 利用している保育施設（前回比較）【複数回答／出産経験があると答えた方に】



(無回答を除く)



図 51 院内保育所の利用経験（前回比較）【出産経験があると答えた方に】

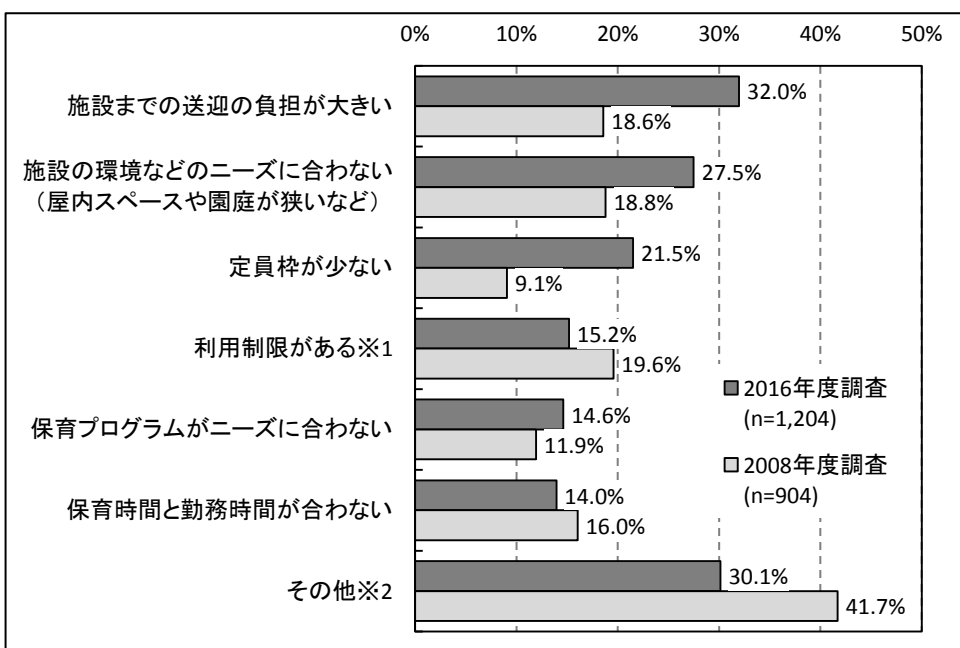


※2016年度調査の選択肢は、「1. ある」「2. 職場に院内保育所はある（あった）が利用したことはない」「3. 職場に院内保育所はない（なかった）」の3つだったが、2008年度調査との比較のため2と3を合計した。

（無回答を除く）

図 52 院内保育所を利用しない理由（前回比較）

【複数回答／職場に院内保育所はある（あった）が利用したことはないと答えた方に】



※1 利用制限の具体的な内容は、「職種による制限」（83件）、「子どもの年齢による制限」（49件）、「雇用形態による制限（正規職員・常勤職員のみなど）」（18件）などがあった。

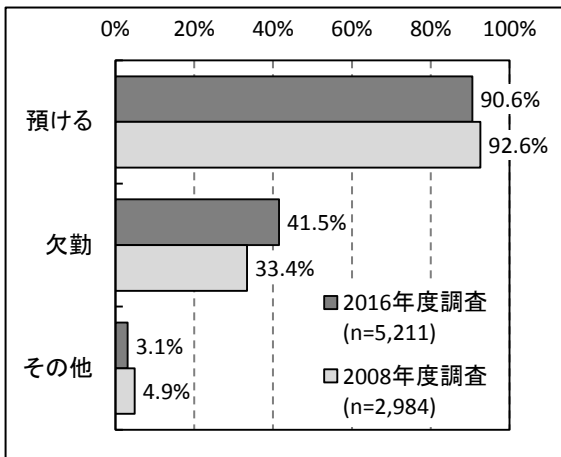
※2 その他の具体的な内容は、「他の施設に入所できたから・すでに預けていたから」（94件）、「勤務先が家から遠いから・家の近くで預けたほうが便利だから」（53件）、「家族が子どもを見ていたから」（42件）、「院内保育所がよくなかったから（給食がない・料金が高いなど）」（40件）、「転勤・転職のときに退園しなければならないから」（21件）、「年齢制限があるから・きょうだいで入所できないから」（20件）などがあった。

（無回答を除く）

図 53 病気や予定外の保育が

必要な時の対応 (前回比較)

【複数回答/出産経験があると答えた方に】

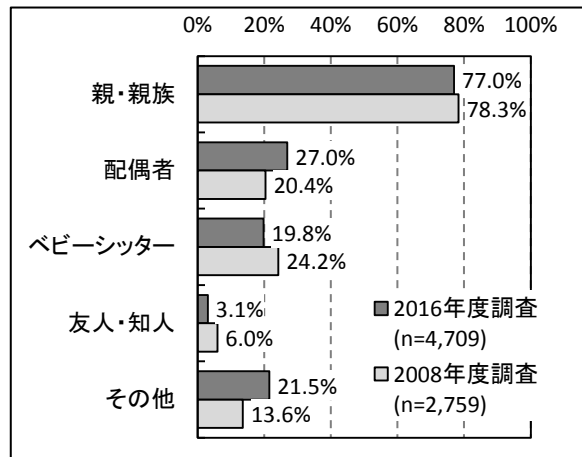


(無回答を除く)

図 54 病気や予定外の保育が

必要な時の預け先 (前回比較)

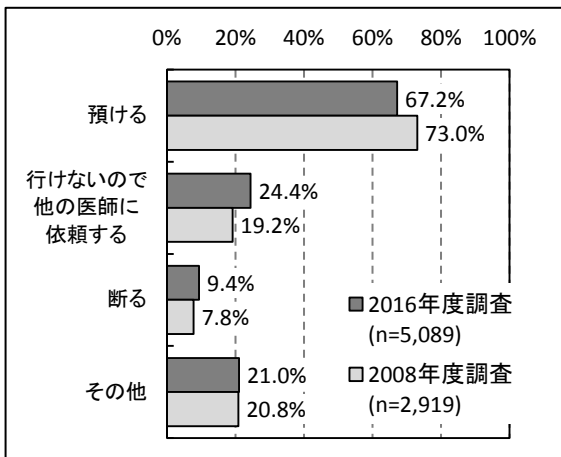
【複数回答/預けると答えた方に】



(無回答を除く)

図 55 緊急呼び出しの時の対応 (前回比較)

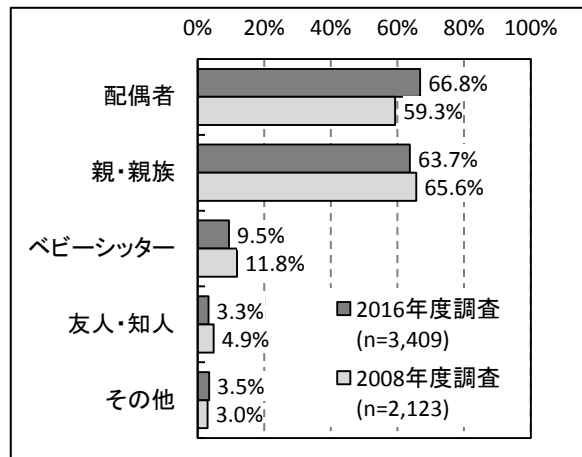
【複数回答/出産経験があると答えた方に】



(無回答を除く)

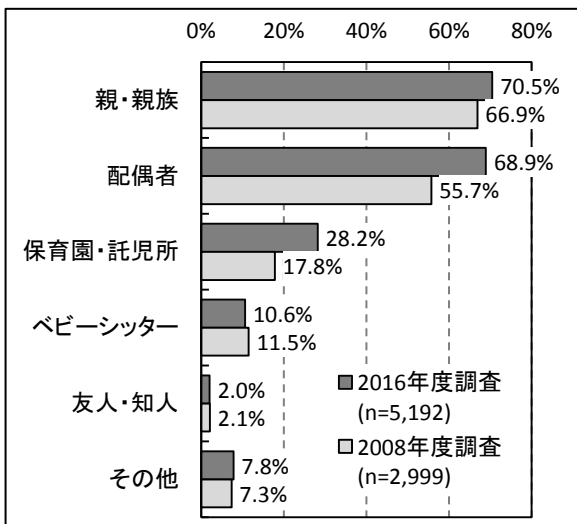
図 56 緊急呼び出しの時の預け先 (前回比較)

【複数回答/預けると答えた方に】



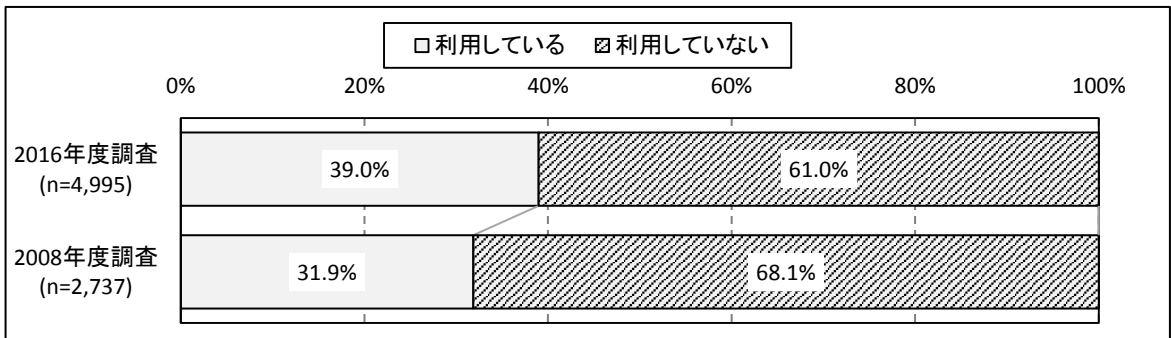
(無回答を除く)

図 57 学会、出張、日直、当直の時に子どもをみる人 (前回比較) 【複数回答/出産経験があると答えた方に】



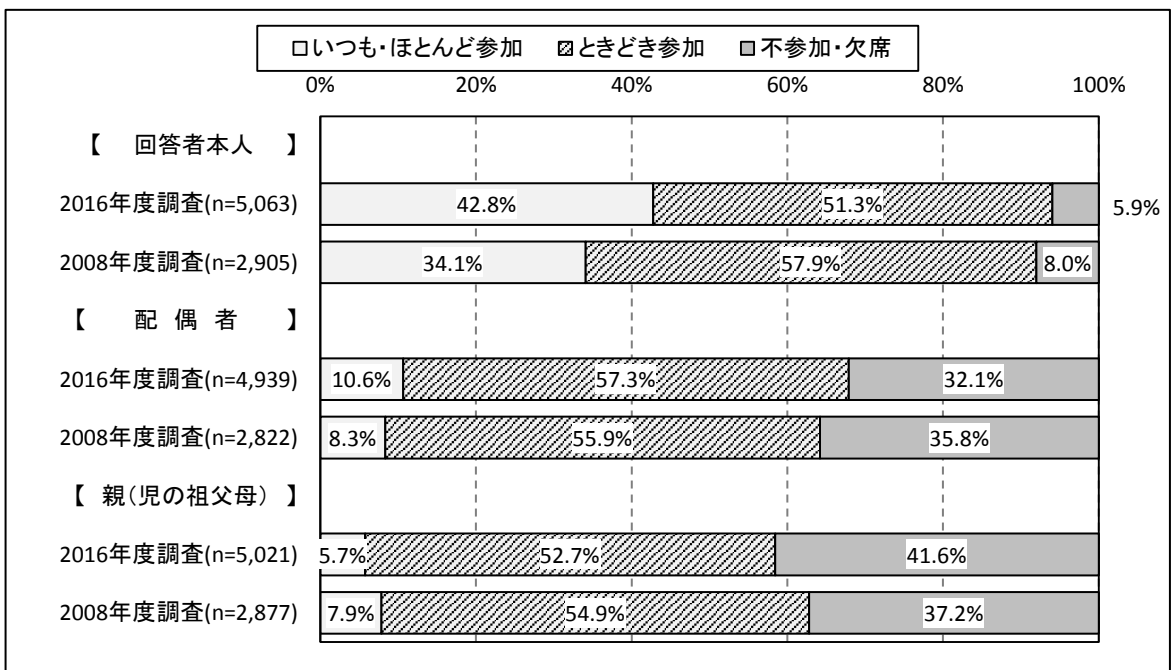
(無回答を除く)

図 58 学童保育の利用状況（前回比較）【出産経験があると答えた方に】



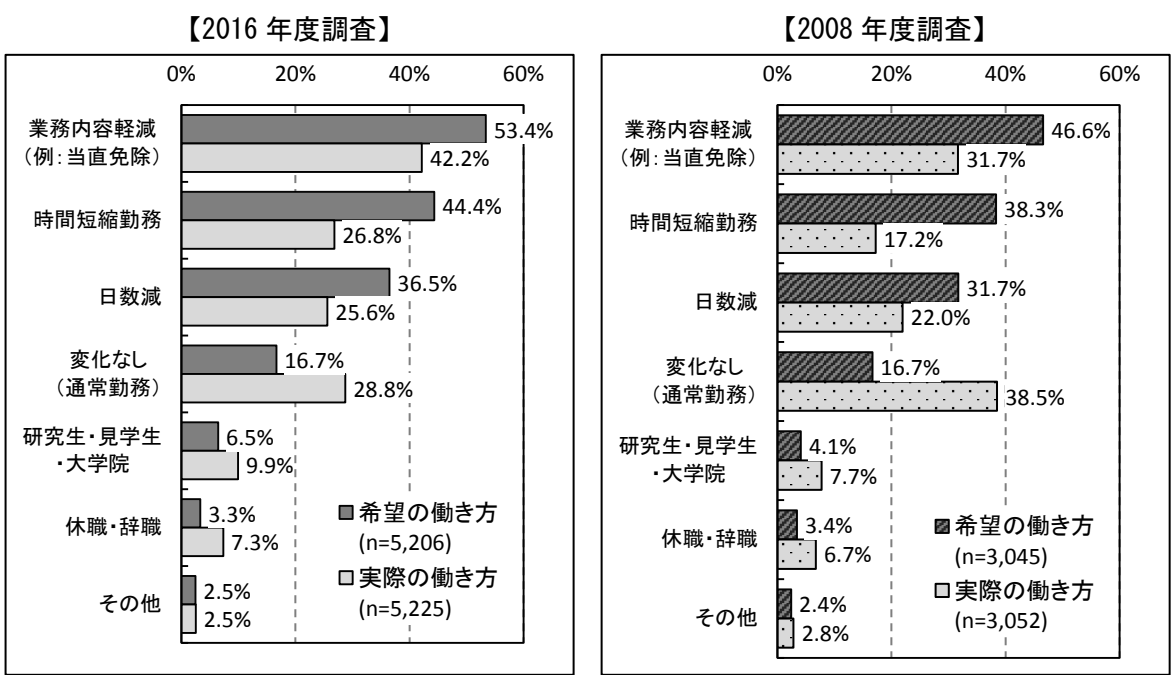
(無回答を除く)

図 59 施設や学校の行事への参加状況（前回比較）【出産経験があると答えた方に】



(無回答を除く)

図 60 子育て中における希望の働き方と実際の働き方（前回比較）【複数回答／出産経験があると答えた方に】

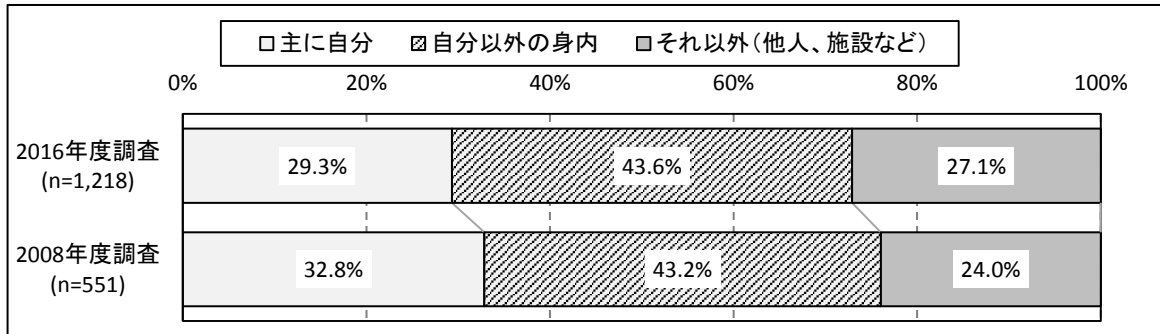


(無回答を除く)

(無回答を除く)

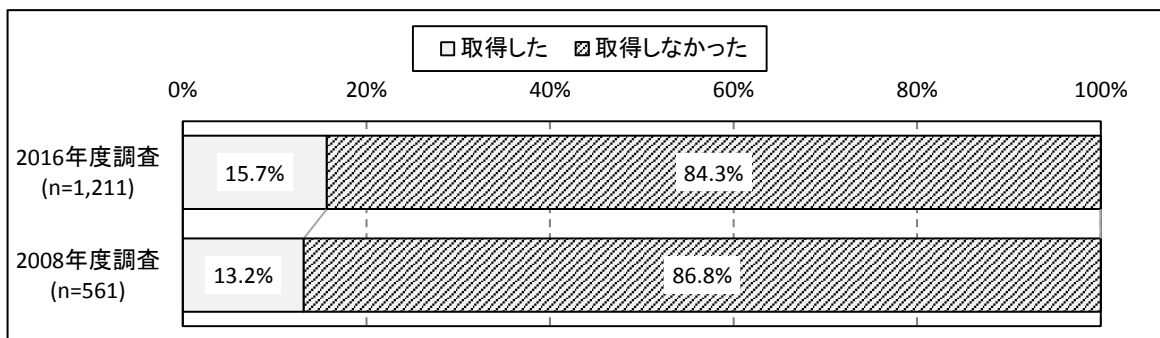
2-6. 介護中の勤務環境

図 61 介護の際に身の回りの世話を主にしている人（前回比較）【介護経験があると答えた方に】



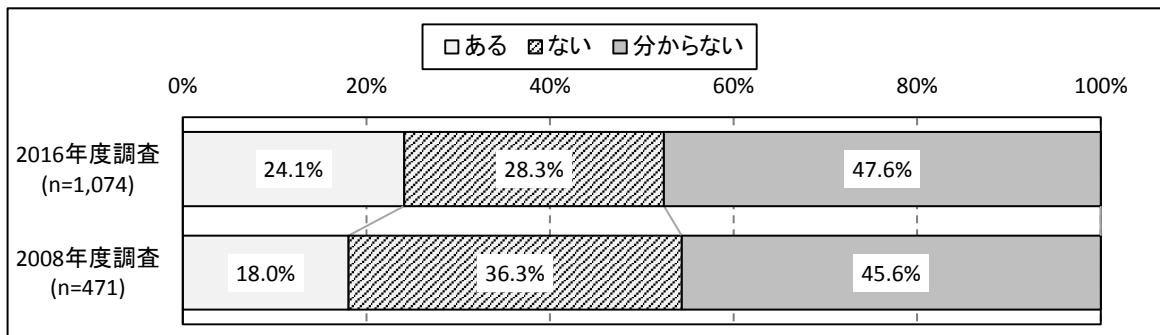
(無回答を除く)

図 62 介護の際の休暇取得（前回比較）【介護経験があると答えた方に】



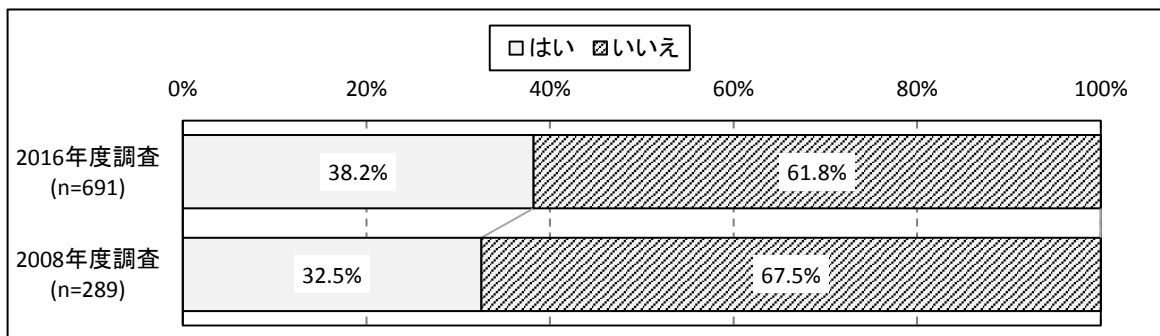
(無回答を除く)

図 63 介護休業中の身分保障（前回比較）【介護経験があると答えた方に】



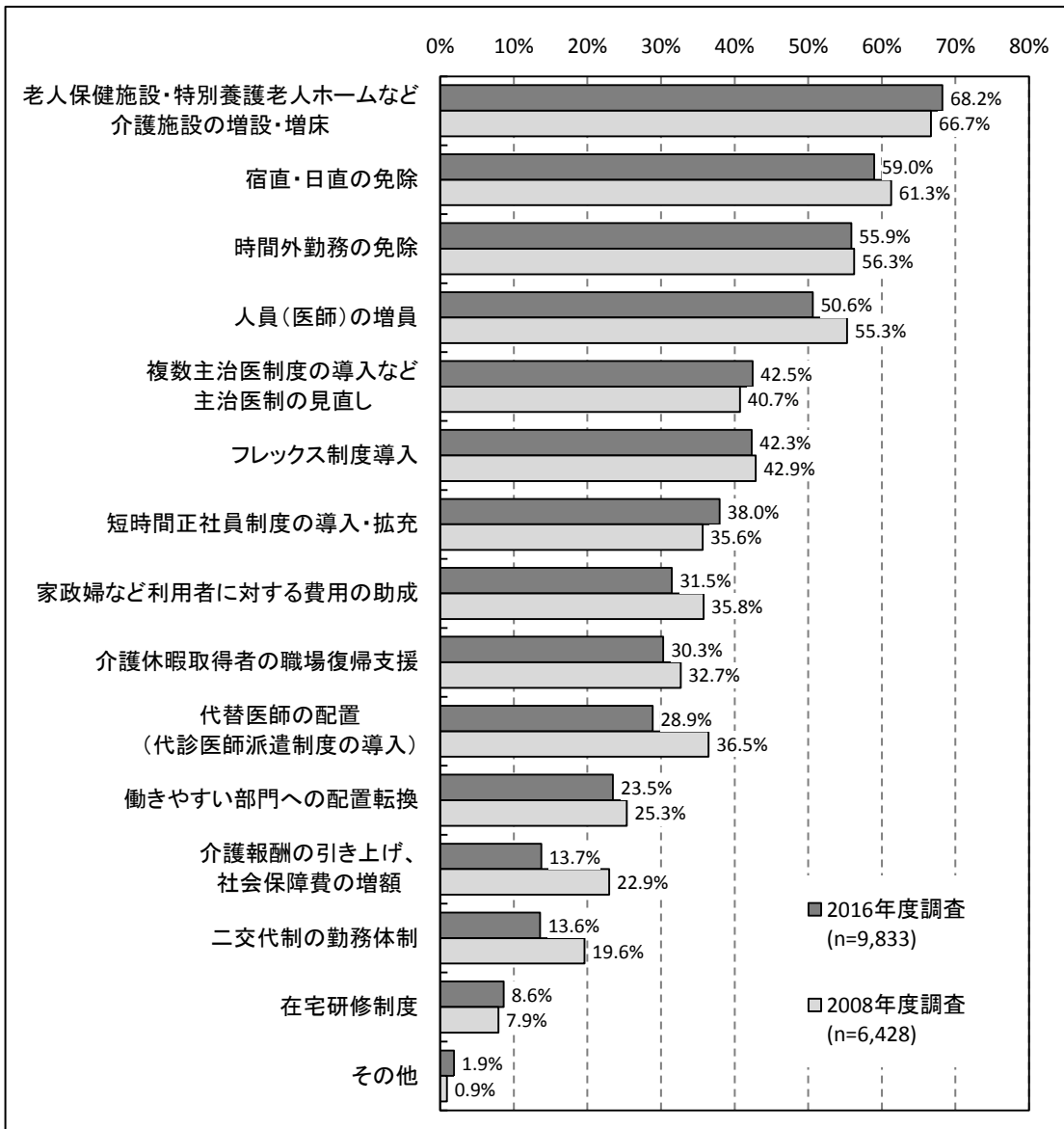
(無回答を除く)

図 64 介護休業中の給与支給（前回比較）【介護経験があると答えた方に】



(無回答を除く)

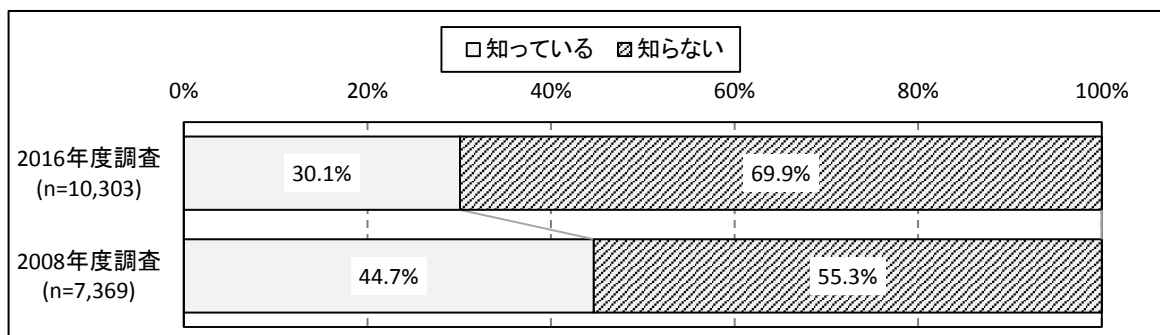
図 65 仕事と介護の両立を図る支援対策（前回比較）【複数回答】



(無回答を除く)

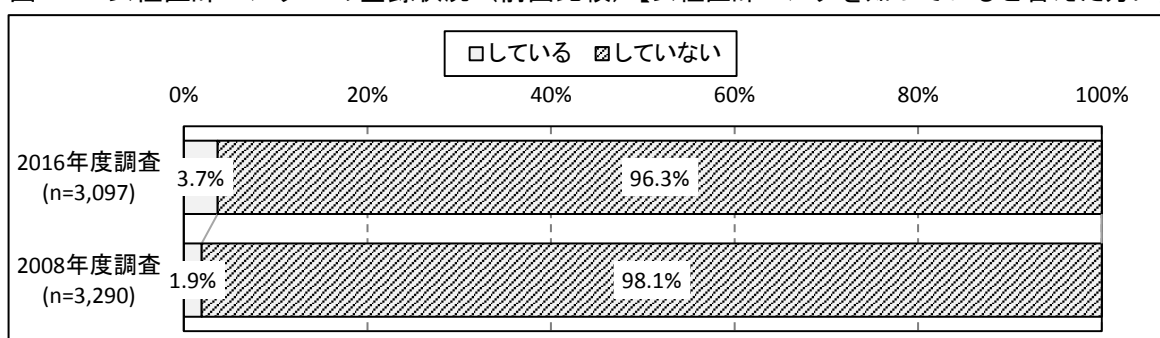
2-7. 女性医師バンクについて

図 66 女性医師バンクの認知度（前回比較）



(無回答を除く)

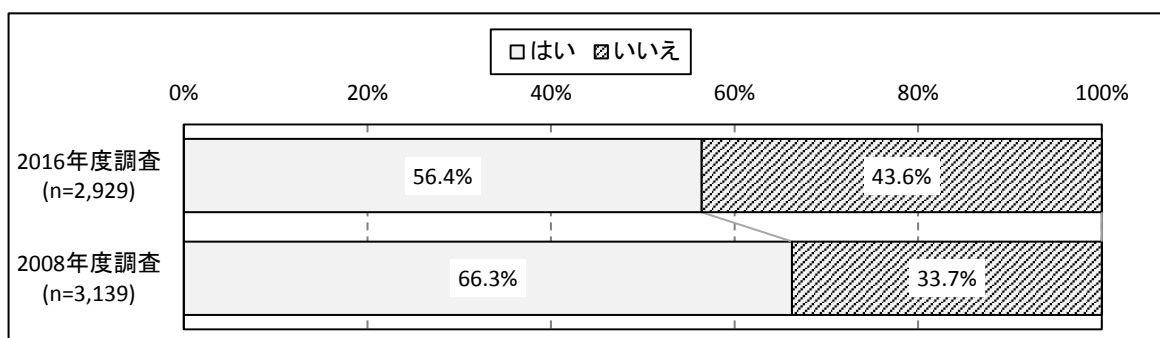
図 67 女性医師バンクへの登録状況（前回比較）【女性医師バンクを知っていると答えた方に】



(無回答を除く)

図 68 状況に応じて女性医師バンクへの登録を考えるか（前回比較）

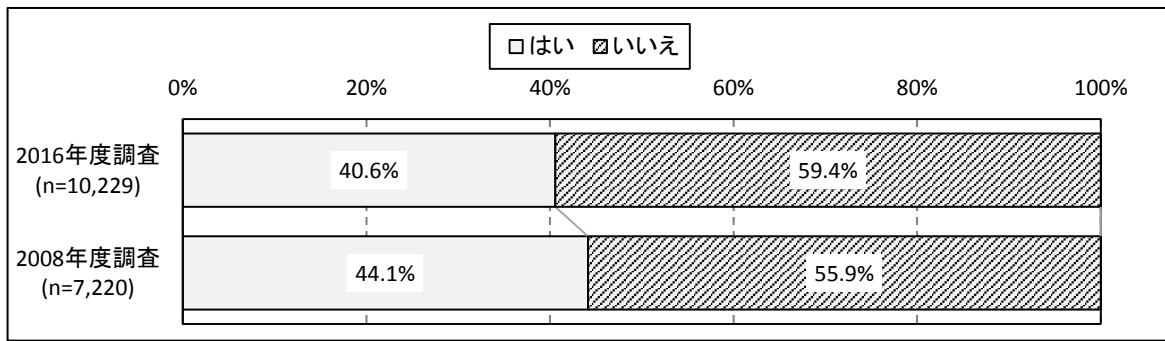
【女性医師バンクに登録していないと答えた方に】



(無回答を除く)

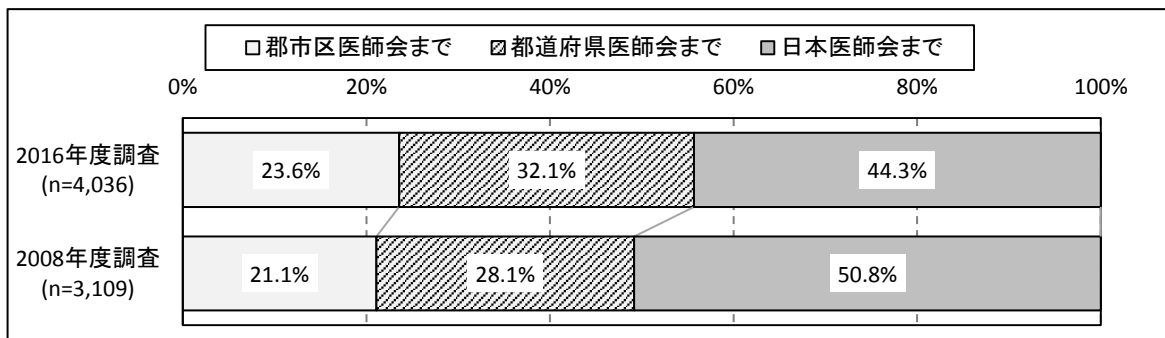
2-8. 医師会の活動について

図 69 医師会への加入の有無（前回比較）



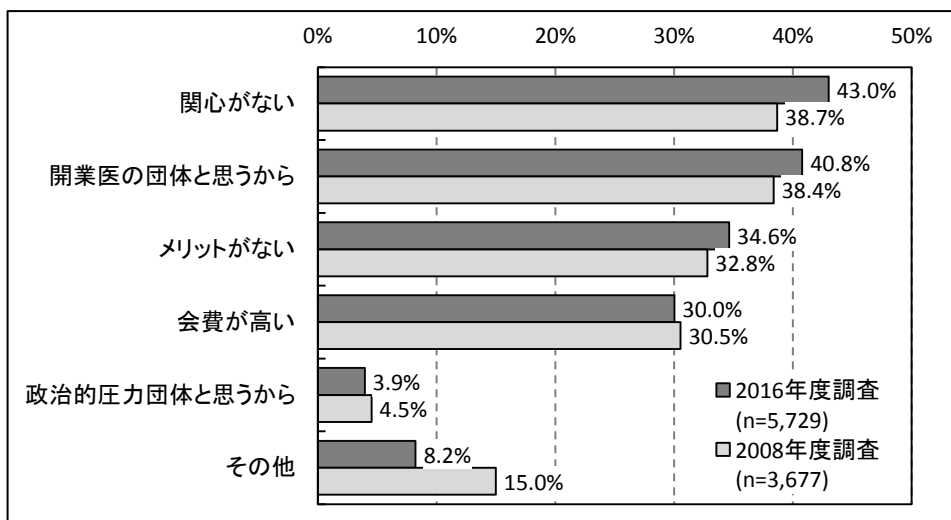
(無回答を除く)

図 70 医師会への加入状況（前回比較）【医師会に加入していると答えた方に】



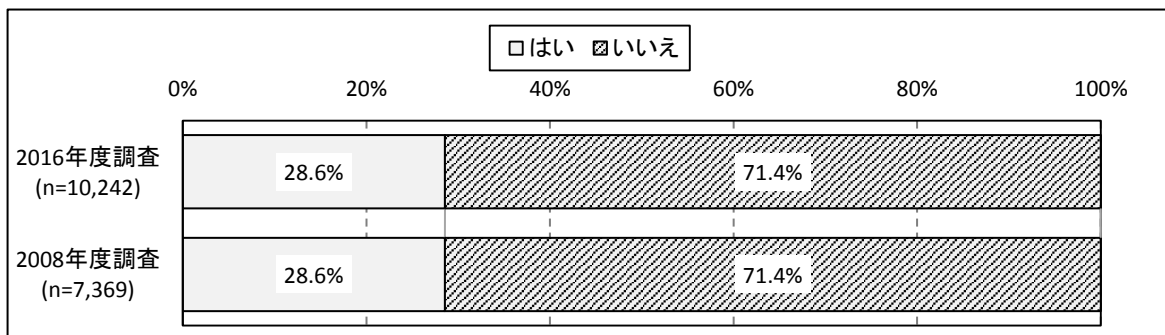
(無回答を除く)

図 71 医師会未加入の理由（前回比較）【医師会に加入していないと答えた方に】



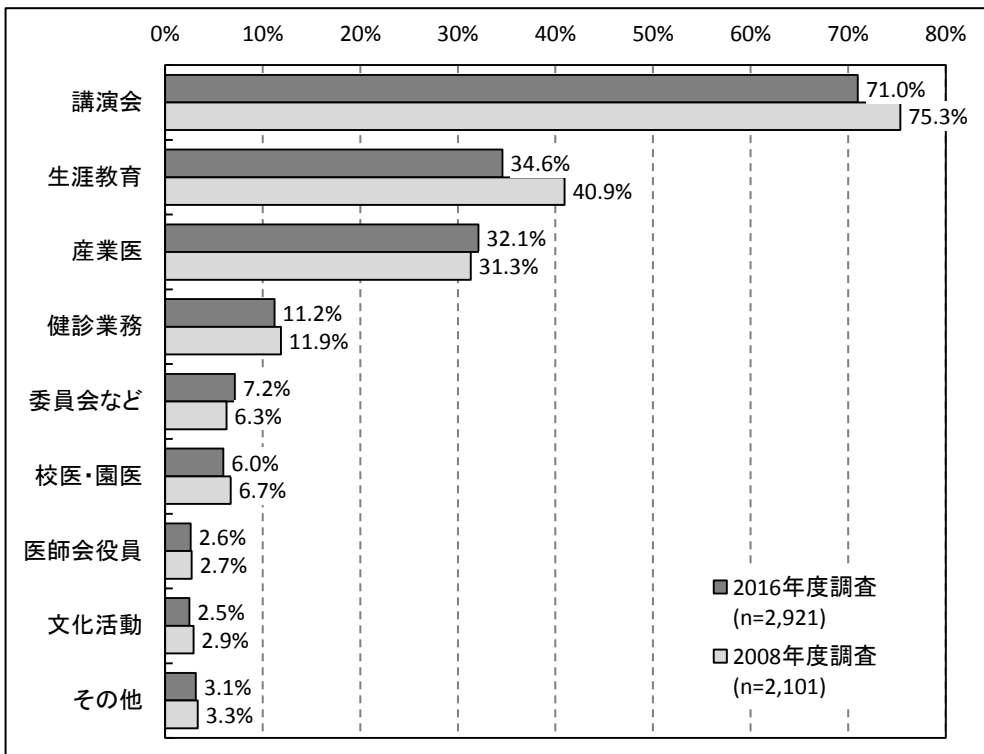
(無回答を除く)

図 72 医師会の行う催しや活動への参加状況（前回比較）



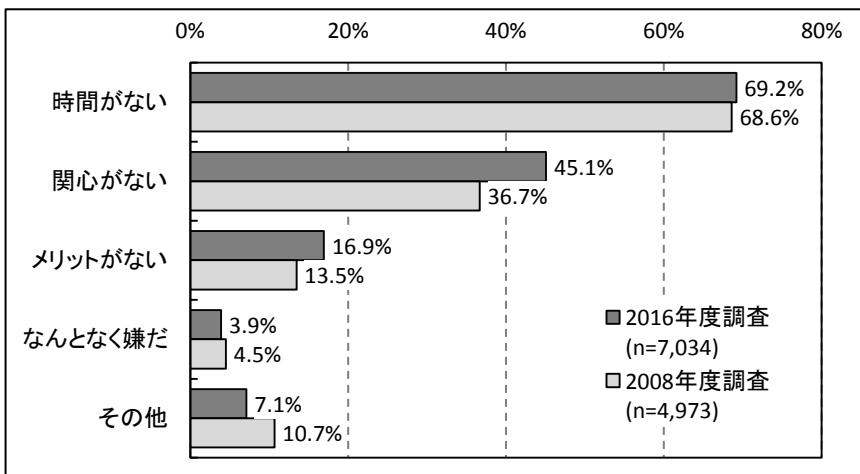
(無回答を除く)

図 73 参加している催しや活動（前回比較）【催しや活動に参加していると答えた方に】



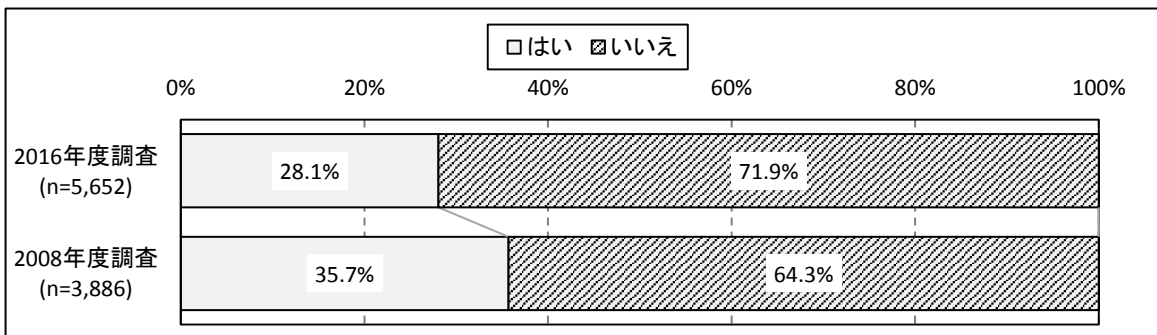
(無回答を除く)

図 74 催しや活動に参加していない理由（前回比較）【催しや活動に参加していないと答えた方に】



(無回答を除く)

図 75 催しや活動への今後の参加意向（前回比較）【催しや活動に参加していないと答えた方に】



(無回答を除く)



iii 関連資料

医師数の年次推移（各年 12 月 31 日現在の人数）

	三師調査 医師総数	三師調査 女性医師総数	三師調査 病院勤務者総数	三師調査 病院勤務女性	
平成 20(2008)年	286,699	51,997	174,266	33,369	※平成 20(2008)年 12 月 ～平成 21(2009)年 1 月 実施の勤務環境現況調査の 有効回答数 7,467
平成 22(2010)年	295,049	55,897	180,966	36,367	
平成 24(2012)年	303,268	59,641	188,306	39,107	
平成 26(2014)年	311,205	63,504	194,961	41,919	※平成 29(2017)年 2～3 月 実施の勤務環境現況調査の 有効回答数 10,373

※医師・歯科医師・薬剤師調査（三師調査）より引用

---

女性医師の勤務環境の現況に関する調査報告書

平成 29 年 8 月

日本医師会男女共同参画委員会  
日本医師会女性医師支援センター

---

この報告書についてのお問い合わせは、下記あてにご連絡ください。

日本医師会女性医師支援センター

〒113-8621 東京都文京区本駒込 2-28-16

TEL 03-3942-6512

FAX 03-3942-7397

E-mail [jmawdbk@jmawdbk.med.or.jp](mailto:jmawdbk@jmawdbk.med.or.jp)